

ヲ公選ニ依ッテヤルト云フコトハ、其必要ヲ認メナイト云フ議論デアリマス、又中ニハ斯様ナ説ヲ爲サル方モアルヤニ承ッテ居ル、現在ノ府縣若クハ幾部分府縣ノ併合ヲ致シテ、之ヲ自治體トスルコトハ宜イ、併ナガラ國ノ事務トシテハ、更ニ範圍ヲ大キクシテ數府縣ヲ聯合シタルモノ、例ヘバ北海道トカ、東北トカ、九州トカ、中國ト云ツタ如キ、數府縣ヲ聯合シタルモノニ官選ノ知事ヲ置イテ、國家行政ヲ取扱ハセ、而シテ現在ノ府縣或ハ多少ノ併合ヲ致シタル府縣ニ於テハ、公選シタル知事ヲ以テ其自治ノ事務ヲ取扱ハシムルガ宜イト云フ議論モ承ッテ居ル、吾々ハ必シモ數府縣ヲ聯合シテ國政ヲ取扱フベキ、即チ官吏トシテ任命シタル知事ヲ置クコトニハ反對スル者デハナイ、是ハ認メテモ宜シイ、要スルニ完全ナル自治體トシテ府縣ヲ認ムル以上ハ、知事ヲ公選スルト云フコトハドウシテモ、到著スベキ自然ノ結論デアルト信ズルノデアリマス、ソレカラ又第四ノ反對説ニハ、成程亞米利加ノ如ク州ト云フモノガアツテ、聯邦政治デアツテ、非常ニ面積ノ廣イモノデハ、自治制ヲ置イテ知事ノ公選ヲスルト云フコトガ適當デアルカモ知レナイガ、我國ノ如ク面積ノ小サイモノニ於テハ、矢張中央集權ガ適當デアツテ、之ヲ自治團體トシテ府縣知事ノ公選ヲスルト云フコトハ適當デナイト云フ反對論モアルコトヲ承ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ米國ノ州ト云フモノハ、我國ノ府縣トハマルデ根柢カラ發生ノ事實カラ、其歴史カラ、總テガ悉ク異ッテ居ルノデアリマス、ソレデ彼ノ廣漠タル廣イ面積ヲ持ッテ居ッテ、之ニ矢張公選知事ヲ置イテモ、之ヲ自治體ト見テ居ッテモ、米國ノ國ノ固メト云フモノニハ、更ニ何等ノ危險ヲ感ジテ居ルノデハナイ、我國ハ徳川時代、封建時代ニ所謂三百諸侯ナルモノガアツテ、各兵馬ノ權ヲ持ッテ居ル、謂ハハ今ノ支那ノ督軍ト稍相似寄ツタモノデアツタガ故ニ、明治維新ノ大改革ニ當ッテハ、即チ廢藩置縣ヲ致シ、郡縣政治ト致シテ強キ統一、而モ劃一的ノ行政ヲ全國ニ行ハナケレバナラヌト云フ必要ガアツタノデアリマス、然ルニ爾來郡縣政治カラ今日立憲政治トナリ、一方ニ此自治制ト云フモノガ既ニ發達シ、餘程ノ經驗ト訓練ヲ經テ居ルノデアアル、故ニ最早今日ハ之ヲドウシテモ地方自治ニ致サナケレバナラナイ、我國ノ面積ハ狹シト雖モ、北ノ端カラ南ノ端ニ至ル間ニハ、餘程氣候、風俗、人情、生活狀態ガ異ッテ居ルノデアアルカラ、必シモ之ヲ劃一的ノ制度

ノ下ニ於テ治メルト云フコトハ、地方ノ發達ヲ阻礙スル、地方ノ進運ヲ妨ゲル願ヒハ無シトシナイノデアアル、各府縣ノ自治ニ委セテ各特色アル發達ヲ爲サシメ、其府縣ニ於ケル利害ハ、其府縣民直接ノ取扱ニ依ッテ適當ニ考慮セシメ、處理セシムルト云フコトガ、最モ適切ナル處置デアルト私ハ信ズルノデアリマス、故ニ此論ヲ以テ反對サレルト云フコトハ、理由無キモノト信ズルノデアリマス、ソレカラ其次ニハ公選ト云フコトニ對シマシテハ、府縣知事ノ適材ヲ得ルコトガ困難デアアル、矢張是ハ内務大臣ガ選任スルト云フ方ガ適材ヲ得ラル、ト云フ議論デ、反對サレルト云フコトモ承ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ此思想ハ少數ナル者ガ選任ヲ致セバ良イ人ガ得ラレ、多數ノ人ニ委シテハ、良イ人ガ得ラレナイト云フコトハ、之ヲ事實問題ノ上カラ見テ如何デアルカト云フト、是迄區長ノ如キ、或ハ戶長ノ如キ者ガ、官選デアツタ時代ト、今日市町村長ガ公選トナツテ、其職務ヲ執ッテ居ル者トノ上ニ於テ、ドレダケ差等ガ付イテ居ルカ、以前ノ方ガ適材ヲ得ラレ、今日ノ市町村長ニハ適材ヲ得ラレナイト論ズルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、若シ斯様ナ議論カラ推シテ行ケバ、市町村長モ勿論之ヲ自治體ニ選舉セシムルコトガ不適當デアルト云フコトニ到著シナケレバナラナイ、尙ホ此思想ヲ擴メテ行ケバ、少數ノ内閣員デ政治ヲスルト云フコトガ適當デ、議會ナドヲ設ケテ立憲政治ヲ用ユルト云フコトハ甚ダ宜シクナイト云フコトニ、擴メテ行ケバサウ云フ思想ニナル成程多數デアル場合ハ必シモ最上ノ政策ガ行ハレルトハ行カナイ、ソレハ賢人ガ其局ニ當ッテ專制政治ヲヤレバ、成程ソレハ立派ナ政治ガ出來ル、併シ賢人ハ常ニ得ルコトガ難イカラ、所謂立憲政治、多數ノ合議ニ依ッテ國家ノ政務ヲ處理シテ行クト云フ制度ガ茲ニ起ツタノデアリマス、一モンデスキューラガ曾テ議會政治ヲ批評致シテ、議會政治ハ多クノ智慧者ヲ集メテ、一人ノ愚人ノ爲ス仕事ヲスルモノダト批評シタコトガアル、成程是ハ一面ノ眞理ガアル、ドウモ得テ世ノ中ノ有様ト云フモノハ、ドウシテモ上策、中策、下策トアツテ、國家ニ最上ノ政策ガ行ハレタト云フコトハ古往今來甚ダ稀デアアル、中策ガ行ハレタラ甚ダ結構、事ニ依ルト愚策ガ行ハレントスル、併ナガラ議院政治ト云フモノハ、最上ノ策ガ行ハレナイトシテモ、中策ハ行ハレル所謂惡策、愚策ヲ行ッテ國家ヲ害フト云フ危險ハ無イノデアリ

マス、故ニ立憲政治ガ尊重セラレ、自治制ガ尊重セラレル以上ハ、内務大臣ノ考慮デアラナラハ
 適材ヲ得ラレ、之ヲ公選ト致セバ適材ヲ得ルコトガ出来ナイト云フ議論デ、府縣ヲ自治制ニスル
 ト云フコトヲ否認スルト云フコトハ、甚ダ謂ハレナキ議論デアルト言ハナケレバナラナイノデ
 アリマス、ソレカラ今一ツハ、若シ此府縣知事ヲ公選ト致シ、府縣ヲ自治制ト見ルトキニ於テハ、
 有力ナル政黨ノ勢力ニ依テ府縣ノ仕事ガ左右セラレル、或ハ府縣ノ官吏ガ左右セラレテ、政黨
 的ノ色彩ガ濃厚トナツテ、自治制刷新ト云フ上ニ非常ナル障碍ヲ來スノデハナイカト云フ議論ガ
 アルコトハ多少考慮スベキモノデアルト信ジマスルガ、併ナガラ是ハ獨リ府縣ノミデハナイ、先
 刻モ申シタ通り市町村ニ於テモ同一ニ此憂ヲ持ツテ行カナケレバナラナイノデアアル、然ルニ全國
 ノ市町村ヲ見渡シテ、タマニ斯ノ如キ事柄ガナイデモナイガ、多クハ左程之ヲ以テ自治制ヲ否認
 スル程有力ナル弊害ハ起ツテハ居ナイノデアリマス、況ヤ此府縣知事ヲ選舉スルト云フコトモ、
 吾々ノ見ル所デハ此複選ニ致サズシテ、之ヲ直接選舉ニ致スト云フコトニスレバ、此弊害ノ大部
 分ヲ除キ得ルト信ズルノデアリマス、況ヤ又唯ソレノミデ放置スル譯ニハ行カナイ、今日此選舉
 法ニ於キマシテモ、利益ヲ提供シテ選舉人ノ意思ヲ誘惑スルトカ、或ハ或ル暴力ヲ加ヘテ壓迫ス
 ルト云フコトハ、立憲政治運用ノ上ニ於テ極テ恐ルベキ事トシテ、選舉法ハ之ヲ禁止シ、之ヲ罰
 シテ居ルノデアリマス、然ラバ矢張或ル政黨ガ非常ナル暴威ヲ逞シクシテ、府縣ノ自治制ヲ危險
 ニスルト云フガ如キコトガ生ズル、例ハ道路路デアルトカ、學校デアルトカ、或ハ港灣デアルト
 云フガ如キ地方的問題ヲ以テ、之ニ非常ナル弊害ガ生ジテ、或ハ甲ノ黨ニ屬スル者ヲ乙ノ黨ガ壓
 迫ヲスル、己レノ黨ニ入黨シナケレバ、此地方問題ヲ打消ストカ、反對スルト云フガ如キコトハ、
 實ハ是迄我國ニ於テハ、隨分行ハレテ來タコトデアリマス、是ハ法律ノ不備デアツテ、矢張斯様ナ
 者ニ對シテハ地方自治ヲ紊ルベキ、或ハ人ノ數十年間所屬シタ黨派ノ者ヲ壓迫シテ、變節改論セ
 シメルガ如キコトハ、國民道德ノ上カラ申シテモ許スベカラザルモノデアアルカラシテ、之ヲ罰ス
 ベキ相當ノ法律ヲ制定スルト云フコトハ、必要デアルト信ズルノデアリマス、斯ノ如クニシテ此
 弊害ハ防ギ得ルノデアリマス、故ニ吾々ハ反對スベキ議論トシテハ、之ヲ阻止スベキ有力ナルモ

ノト之ヲ認ムルコトガ出来ナイノデアリマスカラ、ドウシテモ是ハ時代ノ要求ニ應ズル組織ヲ
 造リ立テナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、是マデ世ノ中ノ法律制度ト云フモノガ、神ナラ
 ス人間ノ造ッタモノデアアル以上ハ、長所ノミ有ツテ短所ノ無イト云フモノ、造リ上ゲラレル譯ハ
 ナイノデアリマス、唯其短所ニ向ツテ之ヲ救済スベキ方法ヲ講ジテ、之ヲ實行シテ時代ノ要求ニ
 副フベク制度ヲ改善スルト云フコトガ、最モ必要ナル事柄デアルト信ズルノデアリマス、國ノ非
 常ニ興隆スル時代ニ於テハ、寧ロ制度ガ國民ノ程度ヨリモ進歩シテ居ル、ソレカラ國ノ停滯スル
 時分ニハ、制度ト國民ノ程度ガ稍雁行致シテ居ル、國ノ頽廢スル時分ハ其法律制度ト云フモノガ
 國民ノ進歩ヨリ非常ニ遅レテ居ルト云フコトハ、古今東西爭フベカラザル是ハ事實デアリマス、
 我國モ明治初年ノ如キハ、隨分制度ト云フモノガ非常ニ進歩シタモノデアアル、吾々ハ人民ノ進歩
 ヨリ進ンダルモノヲト必ズ要求スルノデハナイ、現在ノ民心ノ上ニ顧ミ、現在我ガ國民ノ自治制
 度ノ即チ程度、政治上ノ覺醒ノ程度カラ見テ、時代ノ要求ニ痛切ナル、即チ府縣ヲ自治制ト府縣
 知事ヲ公選ニスルト云フコトヲ實現ニ努メタイト存ズルノデアリマス、尙ホ又之ニ就テハ各種
 考慮スベキ事柄モアル、他ノ制度ヲ考慮シテ相當ノ施設ヲ爲スベキ事モアリマスカラ、此邊ハ政
 府當局ニ一任ヲスルト云フ考デアリマス、尙ホ各派ノ諸君ニ於カレテモ、種々ノ御高見モアルコ
 ト、信ジマスカラ、吾々ハ出來得ル限りノ協調ヲ保ツテ、此實現ヲ期シタイト存ズルノデアリマ
 ス、幸ニ滿場ノ御賛成ヲ願ヒタイト存ジマス

清水留三郎君ハ質疑ヲ爲シ小橋藻三衛君之ニ應答ス

清水留三郎君ノ質疑

提案者ニ對シテ極ク簡單ニ質疑ヲ致シタイト思フノデアリマス、今日地方ノ政治ガ公平ヲ缺イ
 テ居ルト云フノハ、明カナ事實デアリマス、公平無私デナケレバナラヌ所ノ地方長官ガ、動トモ
 スルト或ル政黨ノ傀儡トナリマシテ、偏頗不公平ノ行動ヲ爲シテ居ルト云フノハ、爭フベカラザ

ル事實デアリマス、之ヲ私共ノ群馬縣ニ就テ見マスルノニ、或ル政黨ノ札附知事ガ三年有餘在任シテ居リマシタトキニ於テハ、或ハ其知事ノ官舎ト云フ風ナモノハ、某政黨ノ出張所ナルカノ觀ヲ呈シテ、其知事ハ某政黨ノ支部長ナルガ如キ觀ヲ呈シマシテ、何事ニ依ラズ其黨派根性ニ依テヤツテ居ッタデアリマス、昨年現内閣ガ設立セラレマシテ以來、知事ガ更迭シタ、今回ノ知事ハ比較的公平ナ知事デアリマシタ、比較的公平ナ知事デアアルコトガ却テ某政黨ノ幹部ノ逆鱗ニ觸レマシテ、今日ハ反對ニ其知事ヲ排斥セントスルヤウナ形勢ガアル、ソレハ何デアルカ、官吏ガ公平ニヤルナラバ職ガ務マラス、不公平偏頗デアルナラバ、却テ職ガ務マルト云フノハ、是ガ今日ノ實況ト言ハナケレバナラヌ、此制度是ハ何デアルカ、現在ノ制度ノ缺陷デアアル、故ニ本員ハ昨年ノ四十五議會ノ當時ニ於キマシテ、府縣制中改正法律案ガ議題トナリマシタトキニ、此知事民選ノ問題ニ付テ内務大臣ニ質疑ヲ致シマシタ、ソレハ今日内閣ガ更迭スルナラバ知事ガ變動スル、知事ガ變動スルト云フト總テノ政治方針ガ變ル、或ハ不急ノ事業ヲ起ス所ノ知事モアレバ、必要缺クベカラザル事業ヲ中止スル所ノ知事モアル、知事ト云フモノハ恰モ渡リ鳥ノ如キモノデアアルカラ、何等痛痒ヲ感ジナイデアリマセウガ、迷惑ヲ蒙ル者ハ是等府縣ノ住民デアアル、故ニ知事公選ハ吾々ノ理想デアアル、之ニ就テドウ云フ考デアアルカト云フコトニ付テ、昨年ノ議會ニ床次内務大臣ニ承リマシタ所ガ、床次君ノ答辯ハ今日ニ於テ知事公選ニ付テハ何等考慮シテ居ラヌト云フ風ナ答辯デアリマシテ、然ルニ其後ニ於テ、或ハ地方官會議ニ於ケル問題トナリ、府縣會議長會議ニ於ケル問題トナリ、遂ニ今回ノ革新派ノ知事公選ノ建議トナッタデアリマス、而シテ此知事公選ニ付キマシテ私ガ特ニ御伺致シタイノハ、其公選ノ方法如何ニスルヤ、或ハ現在ノ日本ノ市長選舉ノ如ク市會ニ代ルベキ府縣會ニ於キマシテ、三人ノ候補者ヲ選定シテ、而シテ御裁可ヲ仰グヤウナ方針ニ出ルカ、或ハ亞米利加ノ「ガバーナー」選舉ニ於ケル如ク、一般投票ニ依ッテ之ヲ決メル、何レノ方針ヲ御採用ニナル御考デアアルカ、若モ現在ノ市會ニ於テ市長ヲ選ブガ如ク複選制度デアアルナラバ、或ハ今日以上ノ弊害ヲ生ズルカモ知レナイ思切ッテ公選ヲ爲スダケノ御考デアアルカ、更ニ其任期ニ付テ、或ハ衆議院議員ノ任期ノ如ク四箇年ニ限定スルカ、又

亞米利加ノ「ガバーナー」選舉ノ如ク之ヲ二箇年ニスルカ、其公選ノ方法、或ハ年限等ノ問題ニ付テ、提案者ニ私ハ質疑致シタイト思フデアリマス

小橋藻三衛君ノ應答

御答ヲ致シマス、只今第一ニ御尋ニナリマシタ、現在ノ府縣知事ハ政黨的色彩ニ依ッテ弊害ノ生ズルト云フコトノ御尋デアッタヤウデアリマスガ、是ハ吾々モ、御同感デアリマス、此公選ト致セバ却テ政黨ニ左右セラル、ト云フ反對論ガ政府部内ノ一部ニアルヤニ承ッテ居リマスガ、ソレハ吾々ハ現在ノ赴任制度ニ於テスラ是マデ屢感ジタ事ナデアリマス、甲ノ黨ヲ背景トシ、若クハ甲ノ黨ノ中カラ出タ者ノ多クガ内閣ヲ組織セラレ、其内務大臣ト云フモノガ地方官ヲ任命スルト致シマスレバ、是ガ乙ノ政黨ヲ背景トシタル内閣ト代ッタルトキニ於テハ、又内務大臣ハ地方官ヲ取替ヘルト云フヤウナコトデ、隨分今マデ弊害ト云フコトモ認メタコトデアリマス、故ニ之ヲ選舉ニ致セバ府縣ノ多數ノ、即チ信望ヲ負ヒシ其府縣内ノ或人ガ出テ來ル譯デアリマスカラ、唯官吏ガ赴任スルトハ違ヒマシテ、己レノ骨ヲ其地方ニ埋メルト云フノデアリマスカラ、深切ナ仕事ガ出來ルデアリマス、故ニ私ハ只今ノ第一ノ御質問ニ付テハ、却テ自治團體トシテ公選シタ方ガ弊害ガ尠シト認メテ居ルデアリマスソレカラ第二ノ御質問ニ對シテハ、先刻説明中ニ述ベテ置キマシタガ、即チ直接選舉ニ致シタイト云フ此一言デ盡キテ居ルト思ヒマス、任期ノ事ハ如何様トモ諸君ト御協議ノ上デ決メマスガ、先ヅ今日世界各國ノ狀態カラ見マシテモ、大抵四年ト云フコトハ考ヘテ居ルデアリマス、是ダケヲ御答ヲ致シテ置キマス

次テ本案ハ床次竹二郎君外十一名提出行政及稅制ノ整理ニ關スル建議案(五〇)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

九三 農務省新設ニ關スル建議案

國力ノ發展充實ヲ圖リ國際經濟上我カ國產業ノ地位ヲ確保シ以テ世界ノ大勢ニ順應セムトスルニハ産業ノ改善發達ニ俟タサルヘカラサルハ言フ要セス然ルニ之カ國策ノ遂行ヲ掌ル現農商務省ハ廣汎繁多ナル商工業ト農業トノ事務ヲ兼ネ統ルノ結果從來農業ニ對スル周到ナル施設ヲ缺クノ嫌ナキ能ハス殊ニ最近食糧問題小作問題等農政上甚々重要ナル事項續出シ之カ適切ナル根本的解決ヲ期スルニハ農務省ノ新設ヲ以テ最大急務ナリト信ス依テ政府ハ本議會ニ於テ農務省新設ニ關スル豫算ヲ提出シ以テ之カ實現ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年二月十三日高草美代藏君外二名之ヲ提出ス三月十四日本案及(九五)案ノ二案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者(高草美代藏君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上程サレマシタ農務省新設ニ關スル建議案ハ、既ニ第四十一議會ニ於キマシテ滿場一致デ可決シタル案デアリマス、其後又第四十四議會ニ於テハ工務省或ハ商務省、農務省、此三省ニ分離ヲシテ、各建議トナツタ案デアリマス、尙ホ御承知ノ通り昨四十五議會ニ於キマシテハ、農務省新設ノ建議案ガ是亦滿場一致デ通過シタノデアリマス、併ナガラ政府ハ未ダ之ヲ現實ニ致シマセヌノデ、洵ニ本員等ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、想フニ戰後世界各國ガ最モ努力シ、最モ盡力致シテ居ル所ノモノハ何デアアルカト言ヒマスルト、是モ皆様御承知ノ通り教育ノ改善向

上ト、而シテ産業ノ發達進歩トデアルノデアリマス、然ルニ我國ニ於キマシテハ、果シテ斯ノ如キ事業ニ對シマシテ、所謂世界ノ大勢ニ順應セル企畫經營ヲ行ヒツ、アルカト申シマスレバ、遺憾ナガラ國家ノ大策、國家ノ長計ト致シマシテ別ニ見レベキモノガナイト私共信ズルノデアリマス、而シテ教育方面ノ事ハ姑ク措キマシテ、先ヅ産業中ノ就中全國民ノ約六割五分ヲ占メテ居リマス所ノ其農業者ニ對シマシテ、戰後ノ經營ト致シマシテ、又目下ノ對策ト致シマシテ、如何ナル經綸ト如何ナル抱負ヲ持テ、如何ナル觀念ヲ政府ハ持タレテ居ルノデアリマセウカ、此際政府ハ何ト致シマシテモ現在ニ於ケル應急ノ對策ト、更ニ將來ニ於ケル永遠ノ對策トヲ講ジナケレバナラヌノデアリマス、尙ホ之ヲ言換ヘテ申シマスルト、農民ノ事業上ニ於ケル所ノ利益ト、而シテ農民ノ思想上ニ於ケル所ノ對策ヲ講ジマセヌケレバ、今後年ト共ニ農業ハ次第ニ衰へ、隨テ私共思ヒマスルニハ、商工業モ亦悲ムベキ結果ヲ來スデアラウト考ヘマス、而シテ此農業者ニ對シテ施設經營スベキ所ノ事項ハ成程多々アリマスケレドモ、然レドモ私共之ヲ大別致シマスレバ、先ヅ三項ノ方法ニ外ナラヌト思フノデアリマス、其第一ハ立法上ヨリ施スモノト、其第二ハ經濟上ヨリ行フモノト、其三ハ教育上ヨリ之ヲ爲スモノトノ區別ガアラウト思ヒマス、成程政府ト致シマシテハ、以上三方面ヨリシテ從來種々ナル施設經營モ無イコトハアリマセヌ、併ナガラ眞ニ徹底シタル方策ガ無イノデアリマス、尙ホ是モ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、政府ガ現在行ヒツ、アル所ノ方法以外ニ於キマシテ、更ニ施サナケレバナラヌ事項ガ澤山アルノデアリマス、例ヘバ單ニ此立法上ヨリ之ヲ論ジテ見マシテモ、現ニ政府ガ目下行ヒツ、アル所ノ農業倉庫法デアルトカ、或ハ耕地整理法デアルトカ、或ハ開墾助成法デアルトカ、或ハ農會法デアルトカ、或ハ水面埋立法デアルトカ云フ以外ニ於テ、更ニ吾々共ハ小作法若クハ小作保護法、或ハ自作農維持獎勵法、並ニ産業組合ノ改善、或ハ同業組合ノ改善等其他幾多ノ法令ヲ制定スルノ必要ヲ認ムルノデアリマス、且又經濟的方面ニ於テモ、或ハ教育的方面ニ於テモ、幾多改善ヲ要シ、新ナル施設ヲ要スルノ案件數限リモナクアルト認ムルノデアリマス、斯ク論ジテ見マスレバ、農業上ノ對策ハ現在ニ於テモ、將來ニ於テモ、前途多端ナリト謂フベキデアリマス、然ルニ政府ノ處置ハ甚

ダ吾ミノ見ル所ニ依リマスレバ緩慢ニシテ、動モスレバ是ガ眞ノ對策ヲ忘レタルガ如ク、現ニ今
 同我ガ革新俱樂部カラモ建議案トシテ提出シ、又政友會ノ諸君カラモ法律案ト致サレマシテ提
 出致サレタル例ノ中央金庫法ノ如キ、此重要ナル法案ノ如キハ、實ハ吾ミ議員ノ側ヨリ提出ヲ致
 スノヲ俟タズシテ、宜シク政府ハ夙ニ民衆ノ意思ヲ察シ、所謂農民ノ輿論ニ聽イテ、政府自ラ之
 ヲ御提案ニナツテコソ、是ガ即チ爲政家ノ正ニ努ムベキ當然ノ職務デアルト私ハ信ズルノデアリ
 マス、又是ガ善良ナル政治デアルト私共思フノデアリマス、然ルニ政府ノ爲ス所ヲ見マスレバ、
 一トシテ農民ヲ善道スルコトヲセズシテ、大抵ノ事ハ却テ民衆ニ引摺ラレテ居ルノデアリマス、
 斯ノ如キハ返ストタモ吾ミ農業界ノ爲メ洵ニ遺憾千萬ニ存ズル次第デアリマス、サレバ政府ヲ
 シテ完全ニ是等總テノ法律ヲ行ハシメント欲スレバ、必ズ先ツ第一ニ現在ノ如キ廣汎繁多ナ
 ル事務ヲ執リツ、アル所ノ彼ノ農商務省ヨリ、更ニ農務專門ノ事務ヲ執ル所ノ所謂今同提案致
 シマシタル農務省ヲ新設シナケレバナラヌト思フノデアリマス、今試ニ農商務省ノ官制第一條
 ヲ見マスルニ「農商務大臣ハ農商工水産林野鑛山及地質並工場法施行ニ關スル事務ヲ管理ス」斯
 ウアルノデアリマシテ、其事務ノ廣汎ナル到底一省一大臣ノ能ク主管シ得ル所デナイト吾ミ共
 ハ信ズルノデアリマス、現ニ本月六日デアリマシタカ中央金庫法案ガ貴族院ニ上程ノ際ニ、藤村
 男爵ハ政府ハ本案ヲ必要ナル案トシテ同意セラレタガ、若シ緊急缺クベカラザルモノナリトセ
 バ、何故政府自ラ之ヲ提出シナカッタカト云フ質問ニ對シテ、荒井農務大臣ハ斯ウ答ヘテ居ル
 ノデアリマス、政府トシテハ其處マデ力ガ及バナシトシテ同意シタルデアアル、然ルニ恰モ此案ノ衆議院ニ提出
 セラレタルコトハ、最モ機宜ニ適シタルモノトシテ同意シタルデアアル云々、斯ウ言ウテ居ルノデ
 アリマス、即チ機宜ニ適シテ居ルコトハ認メツ、力及バナシト云フ答辯ハ、即チ農商務省ノ所
 管ガ餘リ廣汎煩雜ニ過ギマスルノ結果ニ外ナラヌノデアリマス、サレバ農務大臣ガ此間ノ消
 息ヲ最モ明白ニ裏書シタルモノト私共ハ思フノデアリマス、尙ホ之ヲ外國ノ例ニ見マシテモ、英
 米、佛、伊、其他二十餘箇悉ク農業專門ノ政務ヲ掌ル所ノ農務省ト相成ツテ居ルノデアリマス、私
 共思フノデアリマスルガ、現ニ陸海軍兩省ノ外將來ニ於テハ或ハ更ニ單獨ニ航空省ト云フヤウ

ナ獨立致シタルモノ、必要ナル時期ガ來ルノデハナイカト密ニ思フテ居ルノデアリマス、之ヲ英
 米ノ例ニ見マシテモ、英國ノ如キ既ニ御承知ノ通り、食糧省ノ如キ一省ガ出來テ居ルコトハ皆様
 是モ御承知デアリマセウ、斯ノ如ク世ノ進歩ニ從ヒマシテ、又時勢ノ發展ニ伴ヒマシテ、專門的
 ノ事務ヲ分離シ、サウシテ研究シテコソ初テ、徹底セル方策、完全ナル方法ガ行ヘルト思フノデ
 アリマス、勿論之ヲ新設シヨウト思ヒマスレバ、幾何カノ費用ノ要ルコトハ是ハ勿論論ヲ俟タヌ
 話デアリマスケレドモ、併ナガラ前ニ申述ベマスルガ如ク、全國民中ノ約六割五分ノ多數ヲ有ス
 ル、殊ニ現在ノ如ク農業者ガ洵ニ悲惨ナル運命ヲ呈シテ居ル、此際ニ當リマシテハ假令幾何カノ
 費用ガ要ルト申シマシテモ、之ヲ徹底的ニ解決セント致シマスレバ、斯クノ如キ費用ハ當然ノ事
 ナリト私共信ズルノデアリマス、サレバ此建議案ニ對シマシテハ、所謂此農民多數ノ希望デアリ
 又農政家多年ノ輿論デアリマスルガ故ニ、何卒前年ト同様相變ラザル諸君ノ御贊成ノ下ニ、今回
 ハ政府モ速ニ此民意ノアル所ヲ御察シニナリマシテ、所謂戰後ノ經營トシテ、又農民發展ノ大策
 ト致シマシテ、此案ノ現實ニ努力セラレンコトヲ希望シテ已マヌノデゴイマス、是ガ此案ノ大體
 ノ理由デアリマス、其次ニハ農業用機械輸入稅免除ニ關スル建議案デアリマス、是モ御承知ノ通
 リ昨年滿場一致ヲ以テ本案ハ通過シタ案デアリマス、私ハ其際ニ於キマシテ、餘程詳シク御說明
 致シテアリマスルカラ、別ニ今日ハ說明ハ略シマスル、唯々併シ私ハ今日農業者ガ資本家所謂地
 主モ、小作モ共ニ非常ニ悲惨ナ運命ヲ持ツテ居リマスルノデ、之ヲ救ヒマスルニハ、先キニモ申シ
 マシタ如ク、先ヅ經濟的ノ施設ト致シマシテハ、機械ヲ使ハスル、成ベク機械ヲ多ク利用サスト云
 フコトハ、是ハ頗ル機宜ニ適シタコト、思フテ居リマス、故ニ政府ニ於テモ是ハ獎勵助長ニ努メ
 ラレテ居リマスルガ、現在ノ政府ガ獎勵セラレテ居リマスル其上ニ於テ、私ハ一大矛盾ヲ發見致
 シテ居リマス、ソレハ何デアアルカト云ヒマスルニ、即チ使ヘヨト云ヘバ成ベク之ノ安ク買ッテサ
 ウシテ使ハスノガ宜イノデアリマス、然ルニ昨年モ申シマシタ如ク、先ヅ收納調製機械ノ如キハ
 百「キロ」以上二百「キロ」以内ニシテ、目方五十貫ノモノデ所謂代價ガ二百圓内外ノモノデ、關
 稅ガ六七十圓ヲ要スルコトニナツテ居ルノデアリマス、又耕耘機械ノ方ハ二百五十「キロ」以上千

「キロ」以下ノモノデアリマシテ、斯ノ如キモノガ非常ニ關稅ガ掛カルト云フコトハ、一方ニ獎勵ヲシ、一方ニ高ク買ハスト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、私ハ一大矛盾ト申スノデアリマシドウ致シマシテモ斯ノ如キモノハ、此關稅ヲ免除致シマシテ、成ベク多數ヲ使ハスト云フ方針ニ出デナケレバナラヌト思フノデアリマス、現ニ私ノ岡山縣ノ上道郡ノ金田村ト云フ處ハ、從來名高キ小作爭議ノ土地デアッタノデアリマス、然ルニ村ノ當局ガ地主ト非常ニ奔走致シ、妥協致シマシテ、地主ガ近年小作ニ色ミ斯ノ如キ機械ヲ買ヒ與ヘマシテサウシテ、ヤリマシタ所ガ今日ハ實ニ非常ナ成績ヲ得マシテ、サウシテ地主ト小作ノ争ハ何處カニ全ク影ヲ没シマシテ、實ニ立派ナ成績ヲ得テ居ルト云フコトニナツテ居リマス、故ニ私ハ本當ニ一ツ政府ガ之ニ努力サレテ、サウシテ之ヲ免除セラレテ、益此機械ノ應用ヲ盛ニセラレンコトヲ希望スルノデアリマス、ドウカ滿場ノ諸君ノ此兩案ニ御賛成アラントヲ希望致シマス

次テ第一案ハ政府提出小作調停法案(三八)外三件委員ニ、第二案(九五)ハ林田龜太郎君外一名提出明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(三)外九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ孰レモ報告ヲ經ルニ至ラザリキ

九四 農業用機械發明獎勵ニ關スル建議案

現今農業經營上ノ一大難問題ハ農業勞力缺乏ノ對策ニシテ其ノ方法ハ種々アルヘキモ可及的精良ナル器具機械ヲ利用スルヲ最徑捷トス然ルニ現在ノ農具ハ小規模ナル勞力的集約農法用ノ極メテ簡單ナルモノニシテ改良セル組織經營ニ適セサルヲ以テ政府ハ特殊ノ獎勵法ヲ設ケ農業用

機械ノ研究發明ヲ促進スヘシ

右建議ス

右ハ十二年二月十三日野溝傳一郎君外一名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(野溝傳一郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

此建議案ハ既ニ前議會ニ於テ可決ニナツテ居ルノデアリマスガ、併シ政府ハ之ニ對シテ此建議案ノ趣旨ニ副フヤウナ、何等ノ施設モマダ執ツテ居ラナイノデアツテ、此事ハ甚ダ遺憾ト存ズルノデアリマス、今日農村ガ非常ナ萎靡不振ニ陥リ、是ガ救濟ノ聲ガ喧シク叫バレルヤウニナツテ來タノハ、色々ノ原因ガアルト思フノデアリマスガ、政府ノ常路者ガ此方面ニ對スル力ノ盡シ方ノ足ラナイト云フコトモ、亦見遁スコトノ出來ナイ事實デアリマス、今日此農業ノ經營ガ著シク不利ニ陥ツテ參ッタト云フノハ、要スルニ此經營ノ方法ガ時代ニ適應シナイト云フ點ニ在ルカト思フノデアリマス、即チ現在ノ産業組織カラシマスレハ、今マデノヤウナ家庭的ナ、一家族的ノ小規模ノ經營法デハ、最早立行カレナイコトニナツタ、之ニ代フルニドウシテモ合同的ノ大規模ノ組織デ、サウシテ今マデノヤウニ唯人ノ勞力ヲ當ニセズシテ、機械力ヲ之ニ用ユルト云フ行方ニシナケレバナラヌト云フコトニナツテ來テ來ルノデアリマスケレドモ、此事ガ十分ニマダ行ハレテ居ラナイ、其爲ニ矢張農業ノ經營ガ不利益ニナツテ居ルト思フノデアリマス、所ガ其機械力ヲ應用スルト云フコトニ付テハ、現在ハマデ遺憾ナガラ甚ダ其發達ガ遅々トシテ居ル、此要求ニ促サレテ、現在ニ於テハ弗々新式ノ機械ノ發明モ出來テ來テ居ルノデアリマスケレドモ、併ナガラソレハ多クハ其名ガ立派デアツテ、實ガ之ニ伴ハヌト云フヤウナ譯デ、實用上トシテハ尙ホ不十分ナ點ガ澤山アルノデアリマス、之ヲ補フガ爲ニ外國ノ機械ヲ輸入シテ、サウシテヤツテ行カウト致シマシテモ、之ニ就テハ中々農民ニ取ツテハ非常ナ負擔ニナル所ノ資本ヲ要スル事デアリマス、

デアカカラ之ヲ救フガ爲ニハ輸入税ノ免除ヲスルガ必要デアラウトシテ、輸入税ノ免除ト云フコトガ既ニ唱ヘラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ之ニ對シテモ矢張其實行ガ望マレナイ、現ニ農業振興ニ關スル委員會ニ於テ、政府委員ノ説明スル所ニ依リマスレバ、其輸入税ヲ免除スルト云フコトハ、色々ナ關係上不可能ナル事デアルト言ハレタノデアリマス、若シサウデアルトシタナラバ、一層此國內ニ於ケル機械農具ノ發明獎勵ト云フコトハ、非常ニ急ヲ感ジテ來ルコトニナルノデアリマス、幸ニシテ本年ハ單リ此農具ダケニ止マラズ、モット廣イ範圍ノ機械發明獎勵ニ關スル建議案ガ、既ニ各派共同ヲ以テ出サレテ居ルト云フヤウナ場合デアリマスカラシテ、ドウカ此要求ヲ充スガ爲ニ、速ニ此建議案ヲ可決シ、政府ハ又此建議ヲ容レ、一日モ速ニ適當ノ施設ヲ行ツテ、サウシテ農村振興問題ノ根本ノ解決ニ盡サレンコトヲ望ンデ已マヌノデアリマス

次テ本案ハ安達謙藏君外四名提出農村振興ニ關スル建議案(四七)外十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

九五 農業用機械輸入税免除ニ關スル建議案

商工業ノ發展ニ伴ヒ農村ノ労働者ヲ吸收シ農村ノ勞力缺乏ノ結果ハ生産能率ノ減退ヲ來シ爲ニ小作問題ノ如キハ其ノ解決一層困難トナリツツアリ其ノ對策トシテ可及的經營ノ規模ヲ大ニシ機械ヲ應用スルヲ最善ノ方法トス然ルニ現在各地方ニテ試用セラレツツアル小形發動機械ハ殆ト歐米ヨリノ輸入ニシテ多額ノ輸入税賦課ノ爲非常ノ高價トナリ資本ニ缺乏セル多數ノ農家ハ之ヲ購入シ得サル狀況ニ在リ依テ政府ハ是等農村ニ於ケル勞力問題小作問題乃至ハ食糧問題等

ヲ解決スルノ一助トシテ特ニ農業用機械ノ輸入税ヲ免除スヘシ
右建議ス

右ハ十二年二月十三日高草美代藏君外一名之ヲ提出ス三月十四日本案及(九三)案ノ二案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者(高草美代藏君)ハ趣旨ヲ辯明セリ
(趣旨辯明、委員會ノ經過及結果ハ本項(九三)參看)

九六 岩日鐵道速成ニ關スル建議案

山口縣岩國ヲ起點トシ島根縣日原ニ於テ山陰縱貫線ニ接續スル線路ハ陰陽ノ連絡上必要ナルノミナラス中國西部ノ交通ヲ完全ナラシムル上ニ於テ重要ノ價值アルモノナリ依テ政府ハ速ニ該線路ノ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

九七 廣濱鐵道速成ニ關スル建議案

廣濱鐵道ハ廣島縣廣島ニ起リ加計ヲ經テ島根縣濱田港ニ達スル鐵道ニシテ陰陽連絡上主要ナル

ノミナラス朝鮮及西比利方面ニ對スル通商上極メテ樞要ナル線路ナルヲ以テ政府ハ速ニ該線路ノ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十二年二月十三日島田俊雄君外三名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ兩案ハ矢野丑乙君外三名提出八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案(一八)外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三七)參看)

九八 朝鮮多獅島築港速成ニ關スル建議案

多獅島ハ朝鮮平安北道龍川郡ノ南端郭串嘴ヲ距ル千四百二十間ノ處ニ在リ安東及新義州ヲ距ルコト水路二十六哩陸路二十一哩餘ニ位シ曾テ日清日露ノ兩戰役ニ際シ皇軍上陸ノ爲ニ數十隻ノ艦船投錨シタル所ニシテ爾來多獅島錨地ト稱セラレ現ニ二千噸乃至五千噸級ノ商船出入シ國

境貿易ノ要港トシテ且同方面唯一ノ不凍港トシテ近時漸ク中外ノ認ムル所トナレリ然レトモ物資ノ吞吐港タル安東及新義州ト該錨地トノ連絡ハ鴨綠江水路ニ依リ解船ヲ以テ輸送スルノ外ナク潮水ノ干満ヲ利用スルニ非サレハ航行自由ナラサルノ有様ニテ往復ニ三日乃至六日ヲ要スヘク而モ濤筋及淺瀬ノ變化頻々トシテ起リ危險少カラス從テ本船及解船ノ運賃モ亦甚シク高率ナルヲ免レヌ殊ニ冬季四箇月間ハ江流水結シ運航杜絶スルヲ以テ製造貿易運輸等ノ諸業始ト休止若ハ操短ノ已ムナキニ陥リ國境ニ於ケル產業貿易ノ發達ヲ阻害スルコト詢ニ尠少ナラサルモノアリ故ニ多獅島ヲ築港トシ新義州ト同港間ニ鐵道ヲ敷設シテ海陸ノ連絡ヲ完カラシムルコトハ極メテ緊要ノコトニ屬ス而シテ本建議ハ第四十五回帝國議會ニ於テモ大多數ヲ以テ本院ヲ通過セリ依テ政府ハ速ニ適當ナル計劃ヲ樹テ之ニ必要ナル豫算案ヲ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月十三日牧山耕藏君外七名之ヲ提出ス二月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(阪上真信君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デアリマスカラ自席カラ意見ヲ述ブルコトノ御許ヲ願ヒマス——多獅島ハ朝鮮平安北道龍川郡ノ南端郭串嘴ヲ距ル千四百二十間ノ處ニ在ル港デアリマシテ、安東及新義州ヲ距ルコト水路二十六哩、陸路二十一哩餘ノ處ニ在ルノデアリマス、此港ハ曾テ日清、日露ノ兩戰役ニ於キマシテハ、我が皇軍ガ上陸致シマシタ地點デアリマシテ、數十隻ノ戰艦ハ常ニ此所ニ投錨ヲ致シテ

居ッタノデアリマス、然ルニ今日ニ於キマシテハ、國境貿易ノ要港トシマシテ同方面唯一ノ不凍港トシテ、近時漸ク中外ノ認ムル所トナリマシタガ、港ノ經營ハ何等ヤッテナイノデアリマス、現在ハ安東及新義州ト該地トノ連絡ハ鴨綠江ノ水路ニ依リマシテ、僅ニ舢舨ヲ以テ輸送スルノ外ハナイ狀況ニ在ルノデアリマス、斯様ナル狀況デアリマスルガ故ニ、此鴨綠江ハ潮水ノ干満ヲ利用スルニアラザレバ、航行自由ナラザル有様デアリマシデ、往復ニ數日ヲ要シマス、之ガ爲ニ貿易上甚ダ困難ナ狀況ニ在ルノデアリマス、殊ニ冬期四箇月ト云フモノハ、全ク鴨綠江ガ結氷致シマスノデ、貿易ヲ營ムコトガ出來ナイト云フ狀況ニ在ルノデアリマス、朝鮮ノ産業ヲ盛ニシ、若クハ國境貿易ヲ伸展致シマス上カラ見マシテモ、ドウシテモ此港ヲ新築シ、新義州ト同港間ニ鐵道ヲ敷設シテ、海陸ノ連絡ヲ完カラシムルコトハ極テ緊要ノ事デアリマシテ、昨年即チ四十五議會ニ於キマシテハ、本院ニ建議案ヲ提出致シテ、本院ハ既ニ之ヲ決定致シテ居ルノデアリマス、ドウカ斯様ナ事情ガアリマスルガ故ニ、此建議案ノ趣旨ヲ御熟讀ノ上御賛成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ阪上貞信君外四名提出植民政策確立ニ關スル建議案(三三)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ハ本項(二八)參看)

九九 水道補助費補助範圍擴張ニ關スル建議案

文化ノ施設ハ帝國目下ノ急務ニシテ殊ニ地方ノ實情ハ一層其ノ施設ヲ促ス急ナルモノアリ而シテ水道敷設ノ如キハ方ニ時代ノ要求ニシテ國家ハ宜シク此ノ敷設ニ對シテ普ク補助費ヲ與ヘ以テ其ノ速成ヲ期スヘキ事項タリ然ルニ現行補助規程ハ單ニ其ノ範圍ヲ市及大都市接續附近ノ町村ノミニ止メ一般町村ニ及ホササルハ誠ニ甚シキ缺陷事ニシテ地方振興上忽諸ニ付シ能ハサル問題タリ依テ政府ハ速ニ水道補助費ノ補助範圍ヲ擴張シテ市町村同一規程ノ下ニ普ク其ノ補助ヲ爲サムコトヲ望ム

右建議ス

右八十二年二月十三日八田宗吉君外二名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(八田宗吉君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本建議案ニ關シマシテハ簡單ニ説明ヲ致サウト存ジマス、此建議案ノ趣旨ハ、内務省ガ現在水道補助費トシテ與ヘツ、アル所ノ自治體ハ、市ノミニ限リマシテ町村ニ至ツテハ水道ヲ敷設スルトモ、補助費ヲ與ヘナイ取扱ニナツテ居リマスノデアリマス、之ニ關シマシテ本建議案ヲ提案致シタル古林新治君ハ、特ニ苦ガキ經驗ヲ爲シテ居ラレル爲ニ、即チ自分ノ居住セル町ニ於テ二十萬圓ノ水道敷設ヲ爲スニ當ツテ、内務省ハ此起債ヲ爲スベキ認可ヲ與ヘタケレドモ、何等補助ヲ與ヘナカツタト云フコトニ付テ、悲痛ナル叫ビヲ此議會ニ致シテ、サウシテ今後ハ此規定ハ取換ヘシムル必要ガアルト云フコトヲ述ベラル、ガ爲ニ、本日此案ノ説明ヲセラル、コトニナツテ居ッタノデアリマスルガ、本日ハ事故御缺席デアリマスカラシテ、私ガ代ッテ説明ヲ爲スニ至ツタノデアリマス、何卒暫時御清聴ヲ煩シタイト存ジマス、今期議會ノ大問題トナリマシタル農村問題ハ、何ガ爲ニ斯様ナル大問題ニナツタカト云フコトヲ申シマスルト、申シマス迄モナク從來ノ此政治ガ専ラ都市本位ニ取扱ハレタル結果、郡部ニ屬スル所ノ此町村ガ、自治體ニ於キマシテモ財源モ甚ダ乏シク、農業經營者ニ致シマシテモ、其費シタル生産費ヲ償フダケノ收益ガ無イト云フヤウナ今日ノ米價ノ狀態、其他總テノ上ニ於テ悲痛ナル叫ビヲ中央ニ致シマシタル結果、此帝國

議會ヲ動カシテ、上下兩院ノ大問題トナツタノデアリマスルガ、要スルニ從來ノ取扱タル所ノ政治が甚ダ公平デナカッタコトニ基因スルト、私ハ斷案ヲ下ス者デアリマス、ソレデ都會地ノ人ハ、動モスルト農村ノ叫ビ聲ガ甚ダ高イヤウデアアルガ、彼等ハ大分良イ生活ヲスルヤウニナツタチヤナイカ、非常ニ近來百姓ガ驕ルチヤナイカト云フヤウナ聲ヲ放ツ者ガアリマスルガ、洵ニ其無情ナルニ呆レザルヲ得ナイノデアリマス、第一私ハ茲ニ政治ノ不公平ナル活キタル證據トシテ、其取扱ノ不公平ナル活キタル證據トシテ、此水道補助費ナル問題ヲ提出シ、當ニ吾々ニハ考一考スベキ所ノ不公平ナル活キタル證據デアルト、私ハ茲ニ躊躇ナク斷言スル者デアリマス、何が故ニ今日市街地ガ益繁榮シテ、農村ガ衰ヘツツアルカト申シマスルト云フト、言フ迄モナク、文化ノ施設等ニ於テ農村ガ甚シク劣リ居リ、而シテ農村ノ青年ガ娛樂機關モ乏シク、文化施設ノ少キ農村ニ居ツテ、無味寂寞タル天地ニ棲息スルコトヲ厭ツテ、文化施設ノ盛ナル所ノ都市ニ來ツテ、此文明、文化ニ憧レル思想ガ益盛ニナツテ來テ、日ニ々々市街地ニ走ルノ結果農村ガ衰頹スル原因トナツテ來ルノデアリマス、要スルニ文化ノ施設ニ於テ、市街地ニ比シテ缺クル所ガアルト云フコトニハ原因スルモノト考ヘルノデアリマス、此點カラ考ヘテモ此水道ノ敷設ノ事ニ對シテ、公平ニ取扱ハナケレバナラヌト云フコトハ言フ迄モナイ事デアリマスルガ、一面此農民ノ負擔カラ申シマス農業者ト負擔ハ市街地ニ比スルト非常ニ重イ、是ハ帝國農會ガ既ニ發表シタル所ノ農業者ト商工業者トノ負擔比較資料ト云フ此冊子ガ明ニ示シテ居リマス、其内容ヲ省略シテ之ヲ簡單ニ申シテ見マスト、愛媛縣ニ於ケル同ジ程度ノ收益アル農業者、商業者、工業者ガ統計ノ示シマス所ニ依リマス、農業者ガ百ノ負擔ヲスルト、商業者ハ四十五、工業者ハ二十八ト云フ統計ヲ示シテ居リマス、如何ニ農村ノ負擔ガ重クシテ、彼等ガ悲痛ノ叫ビノ聲ヲ發スルノハ無理モナイコトヲ立證シテ居リマス、又兵役ノ負擔カラ申シマシテモ、農村ノ居住者ハ強健ナル身體ヲ持ツ所ノ農業者デアリマスカラ、兵役ノ義務ヲ澤山ニ彼等ニ依ツテ果サレツ、アルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、統計ニ依ツテ陸軍ノ發表シタル數字ニ依リマシテモ、其「パーセント」カラ見マスト、農村ニ兵役ノ義務ヲ果ス壯丁ガ多數アルコトハ、私ガ申上ゲルマデモナイ明カナル事デアリマス、又選

舉權ノ不公平ナル事ニ至リマシテハ、市街地ニ於テハ三萬ノ人口ガアレバ、直ニ一名ノ代議士ヲ出スコトガ出來ルガ、農村ニ於キマシテハ、十三萬人ナケレバ、一名ノ代議士ヲ出スコトガ出來ヌト云フヤウナ、權利ノ上ニ於テモ斯様ナ不公平ヲ受ケテ、義務ヲ盡スコトガ以上ノ通りデアリマスコトハ、農村ガ日ニ々々衰頹スル原因ガ此邊ニ理由スルコトヲ私ハ信ズル者デアリマスト、今私ハ以上簡單ナル二三ノ理由ヲ示シマシテ、活キタル證據ト致シマス、此水道補助費ニ對スル問題ノ如キハ、私ハ農民ガ何ガ故ニ今日マデ此叫聲ヲ揚ゲナカッタト云フコトニ付テ、彼等ガ憐レナルコトヲ考ヘ來ルト、一滴同情ノ涙無キ能ハズデアリマス、彼等ハ叫聲ヲ揚ゲル術ヲ知ラナイ、彼等ハ從順ニ已ムヲ得ヌモノデアルト云フコトヲ考ヘテ、始終黙ツテ居リマスカラ、ソレ切リニナツテ、市街地ノ人民カラ見ルト、彼等百姓ハ奢ツテ來タト云フ、動モスルト誤レル殘酷ナル論者ガ出來ル、生産者側ヲ見ズシテ消費者側ノ立場ニ立ツテ、言論界ノ總テノ新聞紙、其他ノ言論機關ハ多ク生産者側ヲ見ズシテ、消費者側ノ立場カラ論ゼラル、ノデ、今日ノ政治ノ弊害ハ私ハ此邊ニアルコトヲ平素痛切ニ考ヘテ居ル者デアリマス、此點ヨリ申シマシテモ、内務省ノ取扱ナルモノハ既ニ其町村ニ水道ヲ施設シナケレバナラヌ、非常ニ惡水デアアル、シボ水ガ澤山湧イテ之ヲ飲用スルコトガ衛生上ニ害ガアルカラ、町ガ起債ヲシテ此水道ヲ起スコトヲ已ムヲ得ズトシテ、認可ヲ與ヘタシノニ對シテ、其必要ヲ認メタルモノニ對シテ何等補助ヲ與ヘヌト云フ、其取扱ヲ異ニスルコトハ、實ニ聖代ノ奇怪事デアルト考ヘル者デアリマス、今後私ハ内務省ハ宜シク法律案デモ提案シテ、何等ノ區別無ク、市部町村皆水道敷設ヲセザルベカラズト認メタル所ニ對シテハ、同一ナル待遇ヲ以テ補助費ヲ齊一ニ取扱フベキモノデアルト存ジマス、斯様ナル見地ヨリ此提案ヲ爲シタ者デアリマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ濱田國松君外八名提出市制中改正法律案(三七)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十四日本案及(一四〇)、(一四五)、(一九八)、(二一六)案ノ五案ヲ一括シテ院議ニ付シ委員

長嶋山一郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

簡單デアリマスカラ此席ヨリ報告ヲ致シマス、日程第五十ヨリ第五十四ニ至ル五ツノ議案ハ別ニ御報告致スベキ質問應答モゴザイマセヌ、委員會ハ本會ニ於テ可決スベキモノト、全會一致ヲ以テ議決致シマシタ、此段御報告致シマス

院議異議ナク各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一〇〇 舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方救濟金下付ニ關スル建議案

舞鶴軍港カ突然廢止セラレタル結果軍港地在住三萬ノ商工民ハ餘リニ急激ナル變化ニ對シ施スノ術ヲ知ラス又事實上對策ヲ講スルノ餘裕ナクシテ生活ノ安定ヲ失ヒ將ニ破産ノ狀態ニ陥レリ依テ軍港地タル京都府加佐郡新舞鶴町中舞鶴町倉梯村ノ二町一村ニ對シ政府ハ相當ナル救濟金ヲ下付セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月十五日山道襄一君之ヲ提出ス三月十三日本案ヲ院議ニ付シ賛成者(清水留三郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

御承知ノ如ク華府會議ノ結果ト致シマシテ、我ガ海軍軍備ハ根本的ニ改廢セラレマシタ、大艦巨

砲ノ廢棄ト共ニ軍港ノ改廢ヲ生ジタノデアリマス、華府會議ノ影響ト致シマシテ最大ノ犠牲ヲ拂ウタモノガ舞鶴デアリマス、舞鶴軍港ガ廢止サレマシテ、一要港部ト化シ去リマシタガ爲ニ、舞鶴三萬ノ住民ハ全ク掌中ノ珠ヲ奪ハレタ如ク、今日路頭ニ迷ウテ居ルノデアリマス、元來舞鶴町ハ一寒村ニ過ギナカッタノデアリマスガ、三十年前軍港ガ開設サレマシテカラ長足ノ進歩ヲ致シマシタ、海軍本位ノ町デ、他ニ何等特産物ノアル町デハゴザイマセヌ、殊ニ第四十二議會ニ於キマシテ、八八艦隊ノ案ガ通過サレマシタ當時、海軍ノ當局ニ於キマシテハ、舞鶴方面ノ各自治團體ニ伺ヒマシテ、八八艦隊ガ決定シタト共ニ、軍港ハ當然擴張セナケレバナラヌ、隨テ多數ノ人ガ移住スルカラ、町ニ於テモ住宅ノ増設、學校校舍ノ擴張、上下水工事ノ改善道路橋梁ノ改廢等ヲ斷行セラレテ、移住者ニ對シ不便ナク、快感ヲ與ヘラレタイト云フコトヲ警告懲慝サレタノデアリマス、其結果大正九年ニ於キマシテ、新舞鶴町、中舞鶴町、倉梯村ノ二町一箇村ニ於マシテハ町村債金六十四萬三千二百圓ヲ起シマシテ、海軍當局ノ希望ニ副ヘタノデアリマス、而シテ昨年即チ大正十一年末迄ニ金三十一萬五百餘圓ダケハ銷却致シマシタガ、尙ホ三十三萬二千七百餘圓殘ッテ居リマス、若シ鎮守府ガ從來ノ如ク存在シテ居リマスラバ、今後四五年ノ間ニ之ヲ銷却スルコトハ舞鶴トシテハ決シテ困難デハナカッタノデアリマス、所ガ急轉直下軍港廢止トナリマシタ結果、人口ハ著シク減少致シ、商賣ハ衰退シ中ニハ破産ヲスル者モ頻々トシテ起ッタノデアリマス、故ニ町村債ヲ圓滿ニ返濟スルノ途ハ全ク絶エタノデアリマス、八八艦隊ノ聲ニ脅カサレ、海軍當局ノ要求ガナカッタナラバ、今日ノ如キ窮境ニハ陥ラナカッタノデアリマス、故ニ其責任ノ一端ハ政府ガ負フノガ當然ナリト本員ハ信ズルノデアリマス、元來本員ハ舞鶴ニ對シマシテ何等ノ緣故アル者デハアリマセヌ、唯關係町村民困憊ノ實情ヲ聞キマシテ、同情ニ堪ヘナイカラデアリマス、願クハ政府ニ於キマシテモ、町村債ノ殘額ヲ負擔シ、不用土地建物ヲ無償若クハ實費ニテ拂下ゲ、以テ海軍軍備縮小ノ犠牲トナリマシタ二箇町一箇村ヲ救濟セラレルコトヲ希望スルノデアリマス、軍備縮小ニ因ル退職軍人ヲ救濟スル以上ハ、同じ意味ニ於テ犠牲トナリマシタ舞鶴町ノ此町民ヲ救濟セラレンコトヲ私ハ希望スルノデアリマス、冀クバ諸君ノ御贊

成ヲ望ミマス

次テ本案ハ大島實太郎君外二名提出舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方善後ニ關スル建議案(六)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ修正スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會ノ結果ハ本項(六)、議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一〇一 福山三次間鐵道速成ニ關スル建議案

廣島縣福山ヨリ蘆品郡府中甲奴郡上下ヲ經テ雙三郡三次ニ至ル鐵道ハ鐵道敷設法別表中ニ編入セラレ居ルノミナラス地方産業上交通上極メテ重要ナル線路タリ依テ政府ハ速ニ之カ敷設完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一〇二 嚴島ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案

廣島縣嚴島ヲ中心トスル國立公園ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十二年二月十五日永屋茂君外三名之ヲ提出ス三月十日兩案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ第一案ハ矢野丑乙君外三名提出八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案(一八)外一件委員ニ、第二案ハ日野辰次君外三名提出霧島山國立公園設置ニ關スル建議案(九)外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日(第一案)、三月二十一日(第二案)報告書ヲ議長ニ提出セリ

(第一案(一〇一)ニ對スル議事ノ經過及結果ハ本項(三七)參看)

(第二案(一〇二)ニ對スル議事ノ經過及結果ハ本項(九)參看)

一〇三 平小名濱間鐵道速成ニ關スル建議案

福島縣平小名濱間鐵道ノ敷設ハ海陸ノ連絡ヲ完ウシ常磐炭ノ輸出ニ利便ナルノミナラス磐越線竝常磐線沿道ノ物資ヲ小名濱港ニ吞吐セシムルト共ニ小名濱港附近ニ産スル海產物米麥肥料清酒等ノ物資輸送上最必要ナル施設ナリトス政府ハ速ニ其ノ計畫ヲ定メ之カ完成ヲ期シ以テ地方産業ノ啓發ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

二千百八十六

一〇四 石川植田間鐵道速成ニ關スル建議案

福島縣石川ヨリ植田ニ至ル鐵道ハ運輸交通ノ利便ヲ開キ沿道ニ於ケル豐富ナル資源ヲ啓發スル上ニ於テ最必要ナル線路ナリ政府ハ速ニ之カ計畫ヲ立テ其ノ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一〇五 須賀川長沼間鐵道速成ニ關スル建議案

福島縣須賀川ヨリ長沼ニ至ル延長十三哩ノ沿道ハ沃野相連リ各種ノ農産ニ富ミ殊ニ長沼町ハ地方物資ノ集散地ニシテ夫ヨリ以西湯本村ノ山林ハ良材ニ富ミ薪炭石材ノ産出甚々多シ本線ノ敷設ハ地方交通ノ利便ト産業ノ發展ヲ期スル上ニ於テ重要ナル線路ナリト認ム依テ政府ハ速ニ之カ敷設ノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右三案ハ孰レモ十二年二月十七日白井博之君外五名之ヲ提出ス三月十日三案ヲ一括シテ院議ニ付

シ提出者(白井博之君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

議案輻湊ノ折柄デアリマスルカラ、極テ簡單ニ提案ノ理由ヲ説明致シマス、平小名濱間鐵道速成ニ關スル建議案ハ曩ニ數回本院ヲ通過シタノデアリマスカラ、殊更ニ詳細ノ説明ノ必要ハナイト存ジマス、唯本線路ハ岩越線ノ延長デアル、殊ニ近來小名濱港修築ノ問題ガ、識者間ニ盛ニ論議セラレ高唱セラル、所ニ依ッテ見マス、特ニ其急設ノ必要ノ感ズルデアリマス、次ニ石川植田間ノ鐵道、本線路ハ東北本線ノ郡山驛ヨリ茨城縣大宮ヲ經テ水戸ニ通ズル、即チ水郡鐵道ノ一驛タルベキ石川町ヨリ常磐海岸線ノ植田ニ通ズル延長三十一哩ノ線路デアリマス、石川町ハ福島縣南部ノ物資ノ集散地デアリ、商工業ノ中心地點デアリマス、此石川町方面ヨリ常磐海岸方面ニ對シテハ、古來ヨリ御在所街道ニ依ッテ交通ヲ開始セラレテ居ッタノデアリマス、而シテ商業上人事上、總テノ關係ガ甚ダ密接デアリマス、又其沿道ニハ石炭鑛區其他ノ鑛產物ニ富ンデ居リマス、又石川町ヨリ東南ニ互ル所テ有方里ニ互ル所ノ大ナル森林ハ、殆ト無盡藏ナル林產物ヲ産シテ居ルデアリマス、又米、麥、繭、生絲、石灰、林產物等ヲ多量ニ産スルデアリマス、此鐵道ノ建設ハ此地方ノ各種ノ産業ヲ啓發シ、人文ノ發達ニ資スルコト決シテ尠カラザルモノアルヲ信ズルデアリマス、次ニハ須賀川長沼間ノ鐵道、本線路ハ東北本線ノ須賀川ヨリ長沼ニ通ズル線路デアリマス、此沿道ハ沃野相連リトデモ申シマセウカ、多量ノ農產物ヲ産シテ居リマス、長沼町ノ以西湯本村ノ山林ハ、千年斧鉞ヲ加ヘザル所ノ大ナル林產物ノ包藏シテ居ルデアリマス、將來ハ更ニ西ニ進ンデ南會津郡ノ田島町ニ通ジマシタナラバ、即チ栃木縣ヨリ南會津郡ノ田島ニ通ズル所ノ線路ニ聯絡致シマシテ、福島縣南部ニ於ケル所ノ數十方里ノ廣大無邊ノ地域ニ包藏スル總テノ遺利、之ヲ開發スルヤウニナリマシタナラバ、實ニ國家ノ産業ニ資スル所甚ダ大ナルモノアルヲ信ズルデアリマス、之ヲ要スルニ以上申述ベマシタ三線路ハ、延長甚ダ短イノデアリマス、長キハ僅ニ三十一哩、短キハ九哩ニ過ギナイデアリマス、從テ之ニ要スル費用モ甚ダ尠イ、併ナガラ只今申上ゲマシタ通り、此線路ノ敷設ト云フコトハ、國家ノ經濟、産業人文等

ノ發達進歩甚大ナル效果ヲ奏スルモノデアルト信ズルガ故ニ、此建議案ヲ提出シタ次第デマス、詳細ハ委員會ニ於テ説明致シマス、何卒諸君ノ御賛成ヲ請ヒマス

次テ三案ハ中野寅吉君外三名提名柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(一)外十件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六六)參看)

一〇六 北海道漁港修築政策確立ニ關スル建議案

北海沿岸線一千五百五十四里ノ環海ハ魚族ニ富ミ世界三大漁場ノ一ト稱セラレ現ニ水産總額九千萬圓乃至一億圓ニ達シ本邦水産總額約四億圓ノ四分ノ一ヲ占ム而モ之レ概ネ沿岸漁業ノ成果ニシテ沖合漁業ハ殆ト閑却セラレタリ而シテ沿岸漁業ハ今既ニ其ノ頂點ニ達シ之レ以上發ノ展ノ餘地ナキニ反シ沖合漁業ノ將來ハ最多望ニシテ前途ノ發展實ニ洋洋タリ故ニ國家ノ力ニテ依之カ助成ヲ計ルトキハ眞ニ國民ノ生活ニ資シ國家ノ經濟ヲ補益スルコト測ルヘカラキルモノアリ然ルニ北海道ノ沿岸ハ天然ノ錨地ニ乏シク爲ニ漁民ノ遭難連年頻出ス而シテ沖合漁業ノ發達ヲ助クルニハ漁港ノ修築ヨリ急ナルハナシ殊ニ漁港ノ要地ハ頗ル多キニ拘ラス今日漸ク其ノ一

三ノ成ルヲ見ルノミニシテ未タ漁港政策ノ確立ヲ見サルハ洵ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリトス依テ政府ハ速ニ漁港ノ根本計畫ヲ定メ之カ實施ニ旃メラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年二月十七日黒住成章君外七名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(黒住成章君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上程サレマシタル北海道漁港修築政策確立ニ關スル建議案ノ趣旨ヲ極テ簡單ニ申上ゲマス、本案ハ北海道ノ沿岸ニ水産ノ增收ヲ期スル爲ニ、道民ノ要望致シマスル漁港修築政策ノ確立ヲ政府ニ要望スルノデアリマス、諸君生活ノ不安ヨリ近時食糧問題ノ研究ハ漸ク熾烈ニナツテ參ッタノデアリマスガ、米麥ノ如キ炭水化合物食料品ニ關シマシテハ、朝鮮ノ研究モ相當盡サレ、政府ニ於キマシテモ施設ニ立法ニ、而シテ相當ニ金モ使ハレテ居ルノデゴザイマスガ、蛋白質食料品ノ方ニ付テハ、之ニ比シテ甚ダ其研究ト施設計畫ガ足ラザルコトヲ遺憾ニ思フノデゴザイマス、近頃諸多ノ形式ニ於テ、或ハ質問若クハ建議案ガ提出サレテ居ルノデゴザイマスカラ、相當政府モ御用意ハアラウトハ考ヘマスガ、何故ニ此蛋白質食料品ノ方ノ問題ヲ片手落ニ爲サルカ解シ兼ヌルノデアリマス、申ス迄モナク食糧問題ハ並行シナクテハナラヌノデアリマス、而シテ此蛋白質食料品ト申シマスレバ、鳥獸肉及ビ魚肉デゴザイマス、而シテ獸肉ニ屬スルモノハ昨日モ吉良君カラ建議案ガアリマシタル際ニ、即チ牧野法ノ建議案デ御述ニナツタ如ク、極テ貧弱デアル、日本ニハ農耕用ノ牛ヲ入レテ僅ニ百四十五萬頭シカナイノデアリマス、更ニ鳥肉ニ至リマシテハ一層貧弱デゴザイマス、而シテ從來日本人ノ長キ間用キ來リマシタル關係ト、又嗜好ノ上カラ研究ヲ致シマシテ、水産殊ニ魚肉ニ手ヲ染メナケレバナラヌト云フコトハ、極テ明白ナル事

デアアルノデアリマス、學者ノ研究スル所ニ依リマスルト年々、我が日本人ノ此魚肉ノ攝取量ハ殖エツ、アルノデアリマス、學者ノ統計ニ依リマスルト、一年毎ニ一人一日二匁宛殖エテ居ルト云フコトデアリマス、更ニ人口ハ毎年五六十萬人ノ増加ヲ來シテ居リマスルト云フ今日デアリマスルノデ今ヨリ十年ノ後ヲ考ヘマスルト、此蛋白質食料品ハ非常ナル需要高ニ達スルニ拘ラズ、此傾向ニ放任シテ置キマス、ト産額之ニ伴ハナイ、實ニ寒心スベキ問題ニ立至ルコト極テ明白ナル事デアリマス、故ニ國家食糧問題トシテ其政策ノ確立ヲ一日モ忽諸ニスル事ハ出來ナイト思フノデゴザイマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ、魚類ノ增收ヲ圖ルト云フコトハ、一ニ北海道産業ノミデナク、食糧問題トシテ重大ナル意義ヲ有シテ居ルデアリマス、而シテ北海道ノ沿岸ハ千五百五十餘里、環海魚族ハ頗ル豊富デアリマス、世間稱シテ世界三大漁場ノ一ト言ウテ居ルデアリマシテ、年産額ガ一億圓内外デアリマス、即チ帝國ノ産額四億圓ノ四分ノ一ヲ北海道ニ於テ收獲致シテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ從來主トシテ沿岸漁業ノ賜デアリマス、而シテ沿岸漁業ハ今日ハ最早絶頂デアリマス、更ニ有望ナノハ即チ沖合漁業デアアル、此沖合漁業ノ完成ヲ期スルニハ、申ス迄モナク漁港ガ極テ必要デアアルデアリマス、斯様ナ次第デアアルニ拘ラズ、一向ニ此政策ガ確立サレテ居ナイ爲、北海道ニ於テモ出來テ居リマスノハ、二ニ過ギナイト云フ状態デアアルノデアリマス、而シテ北海道ノ沿岸線ハ天然ノ錨地ニ頗ル乏シイノデゴザイマス、ドウシテモ漁港ノ修築ヲヤラナケレバナラス、此意味ニ於キマシテ本案ヲ提出致シタノデゴザイマス、政府ハ速ニ此問題ニ對シテ根本的ニ計畫ヲ立テラレ、吾々ノ要望スル漁港ノ修築ヲ完成セラレンコトヲ切望スル者デゴザイマス

次テ本案ハ阿部武智雄君外八名提出北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(六五)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六五)參看)

一〇七 露國政變及事變ニ關スル被害者救濟並對露貿易企業促進ニ關スル建議案

政府ハ露國政變及西比利亞事變並撤兵ニ際シ損害ヲ被リタル帝國臣民ニ對シ其ノ損害ヲ救済スルト共ニ對露企業貿易ノ促進ニ資スル爲速ニ適當ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月十七日川崎克君外六名之ヲ提出ス三月九日本案ヲ院議ニ付シ提出者(川崎克君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

露國ノ政變及西伯利ノ事變ニ關スル損害ニ對シテノ救濟問題ハ昨年ノ議會ニ於テ各派カラ提出ニナリマシテ、各派一致ノ意見ヲ以テ昨年ノ三月二十五日ノ議會ニ於テ、此建議案ガ可決致サレテ居ルノデアリマス、故ニ之ニ對シテハ政府ハ適當ナル案ヲ具シテ、此問題ニ對シテ解決ヲ與ヘナケレバナラスノヲ、今日尙ホ解決ガ與ヘラレテ居ナイ爲ニ、又再ビ此建議案ヲ提出スルニ至ッタデアリマス、此建議案中第二ノ貿易及企業ノ促進ニ關スル建議ト云フコトガ含マレテ居ルノデアリマスガ、是ハ西伯利撤兵後ノ對露政策ハ、貿易ノ促進ト企業ノ促進此問題ヲ解決シナケレバナラスト云フコトガ最モ焦眉ノ急務デアアルト信ズルノデアリマス、斯様ナ意味ヲ以チマシテ露西亞ノ政變及西伯利事變ニ對スル所ノ損害ノ救濟ヲ爲スコトガ一ツ、及ビ貿易企業ヲ促進ヲ速ニ致府ニ於テ爲サレナケレバナラスト云フコトヲ要求致スコトガ一ツ、此意味ヲ以テ此建議

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上提案及建議案

案ヲ提出致シタノデアリマス、詳細ナル事ハ委員會ニ於テ説明ヲ致シマス以上簡單ニ趣意ヲ申述ベマス

次テ本案ハ政府提出西比利亞引揚ノ爲損害ヲ被リタル者等ノ救恤ニ關スル法律案(四一)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末本案ハ(一一〇)案ト併合シテ一案ト爲シ表題ヲ「對露被害者救濟並企業貿易促進ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

對露被害者救濟並企業貿易促進ニ關スル建議

政府ハ露國政變及西比利亞事變並撤兵ニ際シ損害ヲ被リタル帝國臣民ニ對シ其ノ損害ヲ救済スルト共ニ對露企業貿易ノ促進ニ資スル爲速ニ適當ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム
右建議ス

三月二十四日本案及(一一〇)、(一一四)案ノ三案ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長麓純義君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

本席カラ報告ヲ御許シテ願ヒマス、日程第四十二第四十三ヲ合併シマシテ、委員會デハ質疑應答ヲ重ネマシテ可決、全會一致可決シマシタ次第デゴザイマスルガ、此問題ハ、問題ガ西伯利ニ

關係シテ居リマスルガ爲ニ、非常ニ熱心ニ討議御質問ヲ重ネラレタ次第デアリマス、其質疑應答ノ詳細ナコトハ速記録ニ依リマスルガ、政府ノ答辯ノ要領ヲ簡單ニ申上ゲテ置カウト思ヒマス、政府ハ通商貿易モ勞農政府承認モ成ベク早クヤリタイ、サウシテ政府ハ非常ニ努力シテ居ルノデアルト、斯ウ云フ事デゴザイマス、ソレカラ邦人ノ救済及企業ノ回復伸展ト云フコトモ政府ハ大ニ考慮シテ居ル、ソレ等ノ事柄ガ非常ニ必要ナ事ハ政府モ認メル、所ガ其方法ニ至ッテマダ確定シテ居ラヌノデアアル、方法ニ對シテハ政府ハ大ニ考慮シツ、アリ、研究シツ、アルノデアアルカ、其方法ガ決マレバ隨テ資金ノ問題ニナルノデアアルガ、其場合ハ低利資金デモ宜シイ、又必シモ低利資金ヲ俟タヌデモ、他ノ方法ニ依ッテデモ差支ナイコトデアルト斯ウ云フ事デゴザイマスノデ尙ホ勞農政府承認ノ問題ノ如キモ加藤總理大臣ハ機會ダニアレバ其機會ヲ逸セズニ承認ヲスル積リデアルト云フコトモ言明サレタノデゴザイマス、ソレデ總理大臣、外務大臣、大藏大臣ノ此建議案ニ對スル答辯ハ、委員會ノ速記録デ御承知ヲ願ヒタイノデゴザイマス、次ニ青島權災民ノ救恤ニ關スル事柄ハ、政府ハ救恤ハ最モ必要ナ事デ調査ヲ進メツ、アルト斯ウ云フコトデゴザイマス、是ハ建議案ニハアリマセヌガ、政府ハ建議案以上ニ範圍ヲ廣クシテ調査ヲ爲シツ、アルト云フコトデアリマスルノデ、是モ全會一致可決シマシタ譯デゴザイマス、詳細ハ委員會ノ速記録デ御承知ヲ願ヒマス

院議異議ナク本案及(一一〇)案ハ修正議決ヲ爲シ(一一四)案ハ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一〇八 西比利亞政變及撤兵ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル建議案

政府ハ西比利亞露支國境及東支鐵道沿線地方ニ在リタル帝國臣民ニシテ西比利亞政變及撤兵ニ

際シ引揚又ハ残留者ノ被リタル損害ニ對シ適當ノ方法ヲ以テ速ニ救恤ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年二月十七日川崎克君外六名之ヲ提出シタルモ三月二十三日撤回セリ

一〇九 西比利亞政變及撤兵ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル建議案

政府ハ西比利亞露支國境及東支鐵道沿線地方ニ在リタル帝國臣民ニシテ西比利亞政變及撤兵ニ際シ引揚又ハ残留セル者ノ被リタル損害ニ對シ適當ノ方法ヲ以テ速ニ救恤ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月十七日矢野丑乙君外五名之ヲ提出シタルモ三月二十三日撤回セリ

一一〇 對露被害者救濟並企業貿易促進ニ關スル建議案

政府ハ露國政變及西比利亞事變並撤兵ニ際シ損害ヲ被リタル帝國臣民ニ對シ其ノ損害ヲ救濟スルト共ニ對露企業貿易ノ促進ニ資スル爲速ニ適當ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月十七日矢野丑乙君外六名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(矢野丑乙君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ此前ニ可決ニナリマシタ、只今川崎君カラ御説明ニナリマシタモノト同一デアリマシテ、唯其文字ガ少シク變ッテ居ルニ止マル譯デアアル、故ニ簡單ニ説明ヲ致シマスガ、大體ニ於テ川崎君ガ御述ニナリマシテ盡キテハ居リマスケレドモ、私ハ少シ補足ヲシテ見タイト思ヒマス、昨年ノ六七月以後ニ於テ西伯利カラ撤兵スルコトニナリマシテ、ソレガ爲ニ折角長イ間扶植シマシタ露西亞ニ於ケル我が貿易ノ基礎ト云フモノハ、根柢カラ破壊サレタヤウナ傾キガアリマス、其後露西亞ノ政策ノ政變ハ御承知ノ通り赤軍白軍ノ争ガ全ク治ッテ、赤軍ニ一定シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、近頃ノ報告ニ依リマスト云フト、露西亞ノ政變モ漸次安定ヲシテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、今ノヤウナ有様デ貿易ノ如キモノモ全然杜絶シテ居ルト云フヤウナコトハ、頗ル遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、今後我が日本ノ隣國トシテ、支那ト西伯利、滿蒙ト云フモノハ、最モ我が日本ノ生存ノ上ニ於テ必要ナ土地デアリマス、此土地ニ政變ガアリマシテ、只今御承知ノ通り、勞農政府ノヤウナモノガアリマスケレドモ、餘程安定シテ參リマシテ、革新黨ノ諸君カラハ此勞農露西亞ヲ承認シタラ宜カラウト云フヤウナ案モ出テ居ルヤウナ有様デ、漸次安定ヲ

致シテ參リマシタカラシテ、露西亞ト通商關係ヲ結ビ盛ニ貿易ヲ興サナケレバナラヌヤウナ有様デアアル、撤兵ニ依ッテ五億乃至七億許リノ國費ヲ費シマシテ、數千ノ生靈ヲ殺シテ居ルヤウナ次第デアアル、ソレヲ今日ノ如ク何等ノ結果ヲ收メルコトナク、此對露ノ關係ヲ消滅シテシマフト云フコトハ、實ニ遺憾ニ堪ヘナイ事デアリマス、故ニ此安定ヲスルト同時ニ、盛ニ露西亞トノ經濟關係ヲ改善スルニハ、此際ニ於テ從來被ツタ所ノ損害ヲ救済シ、其救済モ救恤ト云フヤウナト意味ガ違ヒマシテ、低利資金ヲ貸スト云フヤウナ方法デ以テ、其被害者ガ再ビ露西亞ニ向ッテ貿易關係ノ企業ヲ爲スト云フヤウナ援助ヲシテ貫ヒタイト云フ譯デアリマスガ、一步進ンデ政府ハ此際ニ相當ノ施設ヲシテ、此機運ヲ十分ニ促進スルト云フコトハ、最モ必要ナ事ト考ヘル譯デアリマス、詳シイ事ハ委員會デ申上ゲマスカラドウカ御賛成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ政府提出西比利亞引揚ノ爲損害ヲ被リタル者等ノ救恤ニ關スル法律案(四一)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末本案ハ(一〇七)案ト併合シ一案ト爲シ表題ヲ「對露被害者救済並企業貿易促進ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會及議事ノ經過及結果ハ本項(一〇七)參看)

一一一 島根縣ニ内務省土木出張所設置ニ關スル建議案

山陰道ニ於テ内務省土木局ノ直營事業トシテ既ニ著手シ又將ニ明年度ヨリ著手セムトスル工事ハ一二ニシテ止ラス假令ハ斐伊川改修工事境港築港工事圓山川及千代川ノ改修工事ノ如キ之ナ

リ是等工事ハ何レモ多年繼續スヘキ大專業ナルニ依リ他ノ土木出張所ノ兼掌ヲ待タスシテ山陰道ノ地一帯ヲ管轄スル内務省土木出張所ヲ新設シ之ニ依テ專ラ其ノ大工事ノ完成ヲ期スルハ國家經濟上並能率上洵ニ緊要ノコトナリト認ム依テ政府ハ速ニ之ヲ設置アラムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月十七日原夫次郎君外五名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(原夫次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

從來山陰道ニ於テハ、内務省ノ諸施設ガ閑却セラレテ居ッタデアリマス、所デ近時土木事業ノ如キモノハ段々ニ數ガ多クナリマシテ、例ヘバ但馬ノ國ノ圓山川デアルトカ、或ハ鳥取縣ノ千代川デアルトカ、或ハ鳥取縣ノ境港デアルトカ、或ハ島根縣ノ斐伊川ノ治水事業デアルトカ、是等ハ總テ内務省ノ直營事業デアリマス、然ルニ内務省ノ側ニ於キマシテハ、是等ノ工事ヲ施スニ當リテ、下ノ關ノ出張所員若クハ大阪ノ出張所員ヲ派遣シテ、僅ニ是等ノ事業ヲ爲シ來ッテ居ルデアリマス、併ナガラズ如キ大專業、而モ數ガ多クテ其總費用ハ數千萬圓ニ上ルデアリマス、是等ノ山陰道ノ總テノ土木工事ヲ直營セシムル趣意ニ於キマシテ、更ニ内務省カラ特別ナル出張所ヲ山陰道ニ置カレタイ、山陰道ノ中心地帯タル島根縣ニ特ニ其出張所ヲ設ケテ戴キタイト云フ趣意デアリマス、宜シク御賛成アラムコトヲ希望致シマス

次テ本案ハ床次竹二郎君外十一名提出行政及稅制ノ整理ニ關スル建議案(五〇)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十九日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十四日本案及(一一六)案ノ二案ヲ一括シテ院議ニ付シ理事中倉万次郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

日程第四十、島根縣ニ内務省土木出張所ヲ設置シテ貫モタイト云フノデアリマス、山陰山陽一帯ノ地方ハ、河川港灣等ノ内務省ノ土木囑託事業ガ澤山アルノデアリマス、將來ニ於テ是等ノ事業ガ澤山アリマスカラ、是迄ハ大阪出張所又ハ下ノ關ノ出張所ノ管轄デアッタガ、非常ニ不便デアッタノデ事業ノ進行ヲ期スル事ガ出來ナイノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ提案者ヨリ詳細ニ説明ヲ聽キマシテ、政府當局者ノ意見ヲ尋ネマシタ、所ガ政府ニ於テモ未ダ具體的ノ調査ヲ遂ゲテ居ラナイ、而シテ絕對イカスト云フノデアリマセヌノデ、將來考慮スルト云フ答辯デアリマシテ、外ニ質問モアリマセヌデ、委員會ハ多數ヲ以テ可決スベキモノト決定致シマシタ、第四十一ハ新潟縣下ノ各稅務署ハ、今日迄名古屋ノ監督署ノ管轄デアッタノヲ、東京稅務監督署ノ管轄ニシテ貫ヒタイト云フ建議案デアリマス、是モ別ニ質問モゴザイマセヌノデ、政府當局ニ於キマシテモ別ニ反對ノ意見モアリマセヌノデ、十分考慮スルト云フ程度ノ答辯ガアリマシタ、是モ多數ニ依ッテ可決スベキモノト決定致シマシタ、此段御報告申上ゲマス

院議異議ナク各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一一二 寺泊築港ニ關スル建議案

新潟縣寺泊港ハ同縣沿岸ノ樞要部ニ位シ地形西南ニ開キ一面彌彦山ヲ負ヒ西北二十一哩ヲ隔テ佐渡島ニ對シ赤泊港ト定期ノ航海アリ其ノ陸上ノ交通ニ於テハ寺泊長岡間ノ鐵道ニ由リ大河

津驛ニ於テ越後鐵道來迎寺驛ニ於テ信越幹線ヲ利用シ柏崎新潟各方面ニ連絡ス他日上越鐵道ノ開通スルニ至ラハ本港ノ後方地域ハ益擴大セラレ將來ニ於ケル物資ノ集散ハ蓋著シク増加スルモノアラムトス而シテ現在ノ設計ハ單ニ漁港タルニ止マルモ若防波突堤三百間ヲ延長シ北方獅子ヶ鼻ヲ見通シ港線内適當ノ位置ニ於テ三百間ノ防波堤ヲ築造スルニ至ラハ港内優ニ六千噸級以上ノ大船巨舶ヲ繫留スルコトヲ得ヘシ然ルニ新潟縣ノ重要港タル新潟港ハ其ノ規模甚ク狹隘ニシテ成功ノ後僅ニ三千噸級ノ船舶ヲ繫留スルニ過キササルヲ以テ他日歐露ノ交通回復スルニ至ルトキハ本港ノ如キ優良ナル商港ヲ準備シ置クニ非サレハ到底之ニ對應スルノ策ナカラムトス依テ政府ハ速ニ寺泊港修築ノ調査ヲ遂ケ之カ提案アラムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月十七日高橋金治郎君外一名之ヲ提出ス三月十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者(高橋金治郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベタイト存ジマス、本案ハ四十四議會、四十五議會ニ互リマシテ、本員ヨリ提出致シ、滿場ノ御協賛ヲ得タ問題デアリマスガ、政府ニ於テ今日マデ何等ノ研究發案ヲ見ザリシハ、私ノ最モ遺憾トスル所デアリマス、今又此壇上ニ於テ本建議案ヲ重ネテ説明ヲ致スコハ遺憾ニ存ズルノデアリマス、本建議案ノ趣旨ハ、裏日本ニアリマス寺泊港ニ對シテ、船

船寄船ノ港ヲ設置セントスルノデアリマス、本港ハ北緯三十七度三十九分、東經三十七度四十三分ノ地點デアリマシテ、即チ新潟縣沿岸八十里ノ中央ニ在ルノデアリマス、而シテ本港ハ東北ハ直接彌彦山ヲ以テ包圍サレマシテ、西南ニハ遠ク能登半島ヲ眺メ、西北佐渡ヶ島ニ對シテ僅カニ十一海里ノ地點ニ在ルノデアリマス、而シテ本港ハ佐渡トハ定期航海ガゴザイマシテ、四時航海ヲ中絶スルコトハ無イ港デアリマス、其後方ハ本港ヲ起點ト致ス所ノ長岡鐵道ニ依リマシテ、所謂臨港鐵道ニ依リマシテ、其對岸一里ノ地點ニ於キマシテ、越後鐵道ヲ横斷致シテ、而シテ新潟縣ノ長岡市ニ至ル信越上越ノ各線ニ連絡致シテ居ルノデアリマス、更ニソレヨリ信越線ノ來迎寺驛ニ至リマシテ、昨年政府ニ買收致サレマシタ所ノ小千谷輕便線ニ連絡致シテ居リマス、將來此鐵道ハ長野縣ニ通ジマスル所ノ計畫ニナツテ居リマスガ爲ニ、本港ハ此鐵道ノ終點デアリ、若クハ上越鐵道ノ終點デアルト云フコトヲ形ノ上ニ於テ申上ゲルコトガ出來ルノデアリマス、要スルニ其後方ハ實ニ廣漠デアリマス、我ガ新潟縣ニ於キマシテハ是等ノ築港計畫ヲ致シマシテ、既ニ完成ノ域ニ達シテ居リマスガ、其目的ガ縣經濟ノ許サレル關係上、漁港デアリマスガ故ニ、此自然ノ良港モ其效用ヲ爲サ、ルコトヲ本案提出者ハ甚ダ遺憾トスル所デアアルノデゴザイマス、諸君、我ガ日本ノ現狀ヲ以テ申シマスレバ、表日本ガ相當ニ進歩發達致シテ居リマスノハ、要スルニ港灣ト鐵道ト設備ガ完備シテ居ルノデアリマス、然ルニ裏日本ハ是等ノ設備ガ遅々トシテ居リマスガ爲ニ、進歩ノ差ガ非常ニアリマス、要スルニ例ヲ以テ申上ゲマスレバ、我ガ日本ノ現狀ノ日本刀ノ如キモノト假定致シマスレバ、太平洋ニ面スル方ハ、如クデアリマシテ、我ガ裏日本ハ峰ノ様ナ感ニ致スノデアリマス、今ヤ上越鐵道ガ大正十六年ニ完成ヲ致シマスレバ、我ガ東京ト浦潮トヲ若シ本港ニ依ツテ連絡ヲ致シマスモノト致シマスレバ、最短直線ニナルノデアリマス、要スルニ此港ハ將來有要ノ港タルヲ本員ハ確信ヲシテ疑ハヌノデアリマス、其設備ハ現在ノ突堤ニ三百間ヲ繼足致シマシテ、更ニ三百間ノ防波堤ヲ設ケマスレバ、優ニ六千噸級ノ船ヲ遊弋セシムルコトガ出來ルノデアリマス、而シテ是等ニ要スル材料ハ、直グ其附近ノ彌彦山若クハ野積ニ無限ニアリマスカラ、此材料ヲ採ルニハ極テ容易デアアルノデアリマス、

隨テ本港ニ對スル經費ハ僅ニ二百萬圓内外ト存ズルノデアリマス、本港ガ樞要ノ地デアルト同時ニ經費ガ非常ニ僅少デアルト云フコトガ明瞭デアリマスト同時ニ、將來裏日本ニ於キマシテ、斯様ノ僅少ノ經費ヲ以テ有力ナル港ヲ買受ケマスコトハ、國家ノ爲ニ本員ハ有利ナリト信ズルノデアリマス、特ニ茲ニ申上ゲタイコトハ、我ガ新潟縣ノ重要港タル新潟港ハ、其規模ハ狭小デアリマシテ、成工ノ後ニモ僅ニ二千噸級ノ船ヲ寄泊スルニ過ギヌノデアリマス、他日歐露ト交通ヲ開始ノ曉ヲ豫想致シマシテ、裏日本ニ於テ斯ル有力ナル港ヲ買置クコトガ、國家ノ爲ニ最モ有利ナリト信ズルノデゴザイマス、政府ハ直ニ本案ニ付テ研究致サレマシテ、發案アランコトヲ切ニ希望シテ已マナイ次第デアリマス、ドウゾ滿場ノ御贊成アランコトヲ願ヒマス

中野寅吉君ハ質疑ヲ爲シ高橋金治郎君之ニ應答ス

中野寅吉君ノ質疑

今ノ高橋金治郎君ノ提案ニ質問致シマス、高橋君ハ國家ノ爲、國家ノ爲ト云フコトヲ繰返シタケレドモ、國家ノ爲ト云フコトヨリ、寧ロ新潟縣選舉區ノ第八區ノ爲ト云フコトニナツテ居ル、モウ少シ眞面目ニヤツテ實ヒタイ、寺泊築港ノ完成ヲ希望スルト云フコトデアルガ、寺泊築港ハ漁港トシテ完成シテ居ルノダ、君ハ連絡港トシテノ完成ヲ望ムカ、漁港トシテノ完成ヲ望ムノカ、之ヲ一ツ聽カウ、イ、カネソレカラ北緯三十九度東經二十七度ノ此港ニ於テダ、何處ニ船ヲ出スト言フノダ、ソレカラ長野縣ノ方ニ大津津ヲ通ジシテ連絡スルト云フコトヲ言ウタガ、長野縣ノ何處ニ到達スルノダ、其連絡ノ海ト陸トノ連絡ダ、ソレヲチャント明瞭ニ言ッテ見ロ、……漁港トシテハ大正三年十二月大浦兼武子ガ内務大臣ノ時ニ、坂仲輔ガ知事ノ時ニチャント完成シテ居ルデハナイカ、四十六萬六千圓ノ豫算デ、ソレカラ現在ニ於ケル港ヨリモ、ドノ位擴ゲテ何噸ノ船ヲ入レタイト云フノカ、二十四尺ノ深水デ六千噸ノ船ヲ入レタラ皆壞レテシマデハナイカ、サア是レ以上言ッタナラバ或ハ高橋君ガドウカ待ッテ吳レト言フカモ知レヌカラ、是ダケデ

止メル

高橋金治郎君ノ應答

簡單デゴザイマニカラ此席カラ答辯致シマス、我が新潟縣ニ於テ港灣ハ大正十二年——本年完成スルコトニナツテ居リマス、ソレカラ六千噸級ノ船ヲ入レマスノニハ現在ノ突堤ヲ三百間補足致シマシテ、更ニ一方ニ三百間ノ防波堤ヲ築キマスレバ、優ニ六千噸級ノ船ヲ寄泊セシメルコトガ出來ルト信ズルノデアリマス、ソレカラ長野縣ニ通ズルニ云ミト云フコトハ、鐵道網ヲ御覽下サレバ質問者ハ能ク御分リニナルト思フ

次テ本案ハ大島實太郎君外二名提出舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方善後ニ關スル建議案(六)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一一三 官幣小社竈門神社境域擴張ニ關スル建議案

官幣小社竈門神社ハ我カ皇祖神武天皇ノ御母神玉依姬命ヲ奉祀シ由緒顯著ナルニ拘ラス其ノ境域狹隘ニシテ建物頽敗セリ依テ政府ハ速ニ之カ擴張整理アラムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月十九日中村清造君外二名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(中村清造君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ハ唯今上程セラレマシタル問題ニ付キマシテ、簡單ニ説明ヲ致シマス、本案ハ既ニ第四十五議會ニ於キマシテ、私ガ詳細ニ陳述致シマシテ滿場一致ノ御賛成ヲ得タノデアリマスガ故ニ、必ズヤ政府ノ提案ヲ見ルコトデアラウト期待致シテ居リマシタガ、其事ナカリシハ甚ダ私等ノ遺憾ニ存ズル所デゴザイマス、本案ハ福岡市ノ南約五里ヲ隔ツル寶滿山ノ麓ニ、我が皇祖神武天皇ノ御母神玉依姬命ヲ奉祀致シテアリマス所ノ竈門神社デアリマスガ、其境内ハ誠ニ狹隘デアリマシテ、其神殿ハ極メテ小サク且ツ大ニ頽廢ヲシテ居リマスコトハ、誰ガ見マシテモ速モ官幣社デアルト云フコトハ、領クコトノ出來ナイ程憐レナ状態ニ在ルノデゴザイマス、御承知ノ如ク我が國民性ハ歴史ヲ尊重シ、且ツ敬神ノ途ニハ誠ニ深キ信念ヲ持ッテ居ルニモ拘ラズ、苟モ建國ノ大業ヲ創成セラレマシタ所ノ、皇祖ノ御母神ノ神社ガ、斯ノ如キ状態デアルト申スコトハ、當ニ私ノミナラズ、之ニ參拜スル多數ノ者茲ニ信仰者ノ忍ブ能ハザルノミナラズ、上皇室ニ對シ奉ッテモ誠ニ畏多イ事ト存ズルノデゴザイマス、近來福岡ノ地ハ九州文化ノ中心トナリマシテ、此所ニ學ブ所ノ學生ハ夥シキ數デアリマスガ、近頃ノ流行ニ伴ヒマシテ、登山ガ中々盛デアリマスガ、此巍峨タル靈山ニ登ラントスル者ハ、必ズ此神域ヲ通過シナケレバナリマセヌガ、ソレ等ノ人々ガ一度此社頭ニ立チマシテ、誠ニ御氣ノ毒ナル所ノ狀況ヲ眺メマシタナラバ、果シテ如何ナル感想ガ浮ブデアリマセウカ、私ハ誠ニ杞憂ニ堪ヘナイコトデゴザイマス、故ニ政府ハ速ニ此神社ノ修理擴張ヲ致シマシテ、以テ我が祖先崇拜ノ觀念ヲ一層強カラシメラレヤウニナランコトヲ、私ハ切望スルノデアリマス、何卒滿場一致ノ御賛成ヲ得マシテ、是レノ實現ノ一日モ早カラントヲ希望スル次第デアリマス

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ十二日委員會ヲ開

キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日日本案及(一六〇)、(一九三)、(二一〇)、(二二三)案ノ五案ヲ一括シテ院議ニ付シ理事中村清造君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

委員長ガ居リマセヌカラ私ガ御報告致シマス、只今上程ノ第六十八乃至七十二ニ付テハ、委員會ニ於テ提案者ノ説明ヲ聽キ政府委員ノ意見ヲ求メ、審議ノ末是ハ滿場一致デ可決確定致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

院議異議ナク各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一一四 青島罹災民救恤ニ關スル建議案

大正三四年戰役ニ際シ當時青嶋在住日本人カ宣戰布告ト共ニ退去命令ヲ受ケ數年來銳意海外發展ニ努メタル財物ノ全部ヲ放棄シ僅ニ身ヲ以テ逃レタルハ全ク國難ニ殉シタルモノナリ依テ政府ハ右罹災民ニ對シ適當ナル救恤ヲ爲サムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年二月十九日岩切重雄君外三名之ヲ提出ス三月九日本案ヲ院議ニ付シ提出者(岩切重雄

君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上程サレマシタ建議案ニ付キマシテ、簡單ニ説明ヲ致シマス、本案ハ昨日政府ヨリ提出サレマシタ西比利亞引揚ノ救恤ニ關スル法律案、竝ニ只今川崎君及矢野君ヨリ説明ニナリマシタ建議案ト其精神ニ於テ同一デアリマス、併ナガラ聊カ異ル點ガアリマス、極テ簡單デアリマスカラ、此處ヨリ説明申上ゲタイト考ヘマス、本案ハ事ノ起リハ遠ク日獨戰爭ノ時ニ在ルノデアリマス、獨逸ガ青島ニ於キマシテ色々ナル開拓ヲ致シマシタ當時ニ、我が日本ノ同胞ニ於テ青島ノ土地ニ商業ヲ營ミマシタ者ガ澤山アッタデアリマス、然ルニ俄然大正三年ニ日獨戰爭ガ開カレマシテ其歲ノ八月十九日ニ日獨ノ戰爭ガ開カレルニ依リ、青島ノ地ヲ四日以内ニ退出スベシト云フ命令ヲ受ケタノデアリマス、其期間ガ僅ニ四日間デアリマス爲ニ、此處ニ居住致シマシタ所ノ日本人ハ、其財産ノ幾部分ヲモ取纏メテ日本ノ内地ヘ退出スルコトガ出來ナカッタデアリマス、其爲ニ所有致シマシタ財産ハ、其當時之ヲ家屋ノ中ヘ仕舞込ミマシテ退去致シマシタ、漸クニシテ日獨ノ戰爭ガ終リマシテ、先ヅ先頭ニ青島ニ入ルコトヲ許サレマシタノデアリマスガ、歸リマスレバ其自分ノ財産ノ全部ハ殆ド火燼ニ歸シテ居ッタ、是等ノ事實ヲ基ト致シマシテ、今日マデ其當時ノ居住民ガ救恤ニ關スル救濟ヲ政府ニ申出タノデアリマスケレドモ、未ダ今日マデ政府トシテハ何等ノ之ニ對スル方策ヲ執ラナイノデアリマス、私共ノ考ヘマスルノニ、戰爭ニ於テ戦士ガ戰ツテ、之ニ依ッテ報イラレル事ハ今日マデ殆ド例外ナクアルノデアリマス、然ルニ植民地ニ自ラ進ンデ地歩ヲ開拓シテ、國民ノ先驅者トナツテ、植民政策ニ從事シテ居ル者ガ、一度斯ノ如キ境遇ニ立ッタトキ、政府ガ之ヲ救恤シナイト云フコトハ、頗ル理由ノ無イ事デアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、尙ホ詳細ノ事ハ委員會デ申上ゲマスガ、要スルニ以上ノ精神ニ依ッテ、當時ノ居住者ヨリ願ハクハ帝國議會ニ於テ是ガ救恤ノ方法ヲ努力シテ貫ヒタイト云フ熱烈ナル御希望ガアルノデアリマス、故ニ私共ハ議院ノ一員トシテ此等ヲ帝國議會ニ紹介致シマシテ、政府ノ方々ノ同情アル御採擇ニ依リマシテ、本案ガ其精神ニ副フガ如ク解決サレンコトヲ私共ハ希望スル者デアリマス、一言申ベマシテ御贊同ヲ仰ギマス

次テ本案ハ政府提出西比利亞引揚ノ爲損害ヲ被リタル者等ノ救恤ニ關スル法律案(四一)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(一〇七)參看)

一一五 藥劑師法制定ニ關スル建議案

政府ハ醫藥制度ノ完備ヲ圖ル爲藥劑師ニ關スル特別法ヲ制定セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年二月十九日河上哲太君外五名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(鐸木三郎兵衛君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ヨリ簡單ニ説明ヲ致シマス、本案ハ新シイノデアリマシテ、願ハクバ諸君ノ御清聽ヲ汚シマス總テ特許營業ニ屬シテ居リマスルモノニ於テ、而モ國民ノ生命財產ニ至大ノ關係ヲ持ッテ居リマス業體ニ於キマシテハ、特ニ此政府ニ於テハ身分法ヲ制定シテ、其權利義務ヲ明カニシテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り、彼ノ辯護士ニハ辯護士法ガアル、又醫師ニハ醫師法ガアリマシテ、ソレト、其權利義務ヲ明カニシテ居ルノデアリマス、然ルニ國家衛生ノ機關ニ任ズベキ藥劑師ニ

對シマシテハ、未ダ身分法ノ制定ノアリマセヌコトハ、頗ル遺憾トスル次第デアリマス、惟フニ帝國大學及官立專門學校等ニ於キマシテモ醫學科、藥劑科ヲ並立致シ、又醫師ニハ博士、學士ガアリマス、藥劑師ニモ亦同ジク博士、學士ガアリマス、醫師ニ免許試驗ガアリマスレバ、藥劑師ニモ亦同ジ程度ニ於テ免許試驗ガアルノデアリマス、一切ノ設備其他ニ於テ彼我同一ノ程度ニ在ルノデアリマス、然ルニ獨リ藥劑師ノミニ於テ身分法ノ制定ノアリマセヌト云フコトハ、實ニ現代ニ於ケル一大缺陷ト申サンケレバナラヌト存ジマス、現ニ藥劑師ニ關スル法律ト致シマシテハ、現今唯一ツ明治二十二年法律第十號、藥品營業並藥品取扱規則ガアリマスケレドモ、本法ハ御承知ノ通り、藥種商製藥者等ヲ混同致シタル所謂一種ノ藥品取扱法ニシテ、藥劑師ノ身分法デハナイノデアリマス、例ヘバ重刑者或ハ禁治產者等ハ、醫師法ニ於テハ資格ガ無イコトニナッテ居ル、免許ヲ與ヘザルコトニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ藥劑師ニ於テハ其制ガアリマセヌ、又醫師ハ醫師會ノ會員タルベキ義務ヲ有シ、醫師會ハ醫師ヲ監督或ハ制裁スルノ權能ヲ有シテ居ルニモ拘ラズ、藥劑師ニ對シマシテハ其制度ガ無イノデアリマス、醫師ハ御承知ノ通り醫事衛生ニ關シ官廳ノ諮問ニ應ジ、或ハ建議ヲ爲スノ途ヲ設ケテアリマスケレドモ、藥劑師ニ對シマシテハ其制度ガアリマセヌ、其他醫師法ニ對比致シマスルト、甚ダ不備ナル點ヲ認メルノデアリマス、現ニ藥劑師ノ數ハ現在ニ於キマシテ、一萬二千ノ數ヲ算ヘテ居リマス、申上ケル迄モナク狀態ニ於テ此缺陷ヲ見ルト云フコトハ、重ネ、遺憾ニ存ズルノデアリマス、衛生ノ二大要綱タル保健衛生ハ、主トシテ藥學上ノ知識ヲ要スベキコトニナッテ居ル、防疫衛生ハ主トシテ是ハ醫學上ノ知識ヲ要スルコトニナッテ居リマス、而モ此兩々相俟ッテ初テ衛生ノ設備ヲ完璧ニ施行シ得ルコトガ出來ルト存ズルノデアリ、然ルニ醫師會ハ醫事衛生ノ研究及其他施設ニ關スル事項ヲ設ケマシテ、其發展助長ヲ促進シテ居ル途ガアリマスニモ拘ラズ、獨リ藥劑師ニ對シテ其途ガ無イ、加フルニ醫師會ニ於テハ救療施設ヲ命ジテ居ル、政府ハ是ニ向ッテ救療施設ヲ命ジテ居ル、然ルニ藥劑師ニハ給藥或ハ其他ノ施設ガアリマセヌ、其途ガ無イノデアリマス、社會政策上是亦甚ダ缺點デアルト存ジマス、藥劑師ノ藥餌衛生ニ關シ如何ナル重大ナル責任

ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ一二申上ゲテ見マズレバ、藥劑師ハ賣藥業者或ハ製藥業者、藥種商ノ如キ商事行爲ニ止マルモノデアリマセヌ、例ヘバ藥劑ヲ調製致シマスニ於テモ、配伍禁忌ノ原則ニ基キマシテ、極テ最善ノ注意ヲ以テ公衆ノ需要ニ應ジ、又其藥劑ニ對シマシテハ、終始全責任ヲ負ハナケレバナラヌ關係ヲ持ッテ居ルデアリマス、又第二ニハ他人ノ製造致シマシタル藥劑ニ對シテモ、其品質ノ眞贋良否ヲ檢定致シ、且ツ治療ニ適スルヤ否ヤ、是等ヲ鑑識シ、第三者ニ對スル責任ヲ自ラ負フ者デアリマス、第三ニ於テハ藥劑ノ調製ハ其方法ノ如何ニ依リマシテハ有效ノモノモ無効トナリ、又無害ノモノモ有害ナルコトガアルデアリマス、斯様ナ譯デ、其他藥品ノ製法及貯藏法等ニ於キマシテモ、藥劑師ニ於キマシテハ、特別ノ知識ヲ要スル次第デアリマス、御承知ノ通り非醫師ニシテ、或ハ又齒科醫師ノ免許ヲ持チマセヌデ、醫師或ハ齒科營業ヲ爲シ、サウシテ處罰ヲ受ケマシタ者ハ從來甚ダ其數ガ多クカッタデアリマス、然ルニ現今ニ於キマシテハ、醫師法及齒科醫師法ノ制定セラレマシタ以來、其數非常ニ減ジマシテ今日ニ於テハ左様ナ事ハ殆ド無イヤウニナツテ居リマス、是ハ畢章スルニ身分法ノ制定ガアリマシタ御蔭ニ依ッテ斯ノ如キ進歩ヲ見テ居ル所以デアリマス、然ルニ藥劑師ノ免許ガナクシテ、藥劑師ニ類似致シマシタ營業ヲ爲スモノニ對シマシテハ、是等ノ規定ガアリマセヌ、其害ガ社會ニ及ボス所ノ影響、甚ダ大ナルモノガアルト存ズルデアリマス、是等ニ對シマシテモ、是非共相當ノ身分法ノ制定ヲ必要トスル所以デアリマス、尙ホ種々申上ゲタイ事モアリマスケレドモ、委細ノ事ハ委員會ニ於テ申述ベルコトニ致シマス、ドウカ願ハクハ各位ノ御協賛ヲ得マシテ、本案ノ通過スルコトニ御願致シマス

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十二日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日本案及(二二四)、(二二三八)案ノ三案ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長野副重一君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

當席ヨリ報告致シマス、即チ只今上程セラレマシタル三件ニ對シマシテハ、委員會ニ於キマシテ建議ノ趣旨ニ賛成ノ意ヲ表シマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ
院議異議ナク各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一一六 新潟縣下各稅務署移管ニ關スル建議案

新潟縣下ノ各稅務署ヲ名古屋稅務監督局ヨリ分離シテ東京稅務監督局管轄ニ改正セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一七 仙臺鐵道局管轄區域變更ニ關スル建議案

新潟縣下ニ於ケル仙臺鐵道局管下新津運輸事務所ノ管理スル鐵道並郡山喜多方兩驛間ノ鐵道ヲ東京鐵道局ノ管下ニ移サレムコトヲ望ム

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十二年二月十九日伊藤虎助君外二名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ第一案ハ床次竹二郎君外十一名提出行政及稅制ノ整理ニ關スル建議案(五〇)外三件委員ニ、第二案ハ中野寅吉君外三名提出柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(一)外十三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十九日(第一案)、三月二十一日(第二案)報告書ヲ議長ニ提出セリ

(第一案(一一六)ニ對スル議事ノ經過及結果ハ本項(一一一)參看)

(第二案(一一七)ニ對スル議事ノ經過及結果ハ本項(六六)參看)

一一八 隱岐航海費補助増額並造船費補助ニ關スル建議案

隱岐國西郷港ト境港間ノ航路ハ隱岐汽船會社ノ經營ニシテ嘗テハ二隻ノ汽船ヲ以テ一箇年三百數十航海ヲ續行セル歴史ヲ有スルニ拘ラス現在五百噸級ノ木造汽船一艘ヲ以テ航海シ而モ四十餘哩ノ航路ニ約十時間ヲ要スルノミナラス風波ノ抵抗力ヲ缺クカ故ニ屢缺航シ辛ウシテ一箇年二百航海ヲ爲スニ過キササルヲ以テ一箇年約百六十日ハ交通杜絶ノ止ムヲ得サル状態ニ在リ交通

運輸ノ利便日ヲ遂フテ完備シツアル今日獨リ隱岐ノ交通ノミ却テ之カ逆轉ヲ見ルカ如キハ島民ノ到底忍フ能ハサル所ナリ故ニ島民其ノ不便除去セムカ爲凡ユル犠牲ヲ拂ヒ或ハ町村ノ基本財産ヲ以テ又ハ西郷町外十一箇村組合財産將又個人ノ私財ヲ以テ株式ニ應募シテ無配當ヲ忍ビ或ハ低利ノ資金ヲ貸付シテ而モ延滞ノ苦痛ヲ忍ビ今日ニ至ル迄二十有餘年間引續キ本航路ノ爲ニ多大ノ投資ヲ吝マサリシナリ幸ニ政府ト縣ト補助ヲ得タルカ爲過大ナル社債ハ幾分之ヲ減少シ得タルモ汽船ノ改善航海度數ノ増加ハ更ニ其ノ緒ニ就カス然ルニ今ヤ財源全ク涸渇シテ目的ヲ達スルニ由ナク西郷町外十一箇村組合隱岐汽船株式會社ノ當事者ハ只徒ラニ鳩首擬議爲ス所ヲ知ラサルカ如キ窮境ニ在リ依テ政府ハ速ニ之カ航海補助費ヲ増額シ造船補助費ヲ下附シ少クモ二隻ノ汽船ヲ以テ一箇年三百航海以上ノ交通ヲ爲サシメ以テ島民ノ不便ヲ除去セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一一九 松江隱岐間海底電話増設速成ニ關スル建議案

島根縣松江隱岐間海底電線ハ單線ニシテ而モ其ノ一部分ハ雙信法ニ依リ隱岐各島間ノ電話ニ兼用セララルルニ通信事務ノ増加ニ伴ヒ只此ノ單線ノミニ依テハ到底其ノ所用ヲ便スルヲ得サル

状態ニ在リ政府ハ速ニ松江隠岐間ニ電話事務ヲ開始シ電信線ヲ増設シ此ノ不便ヲ除去セラレム
コトヲ望ム

右建議ス

一一〇 大正九年勅令第四百五號適用ニ關スル建議案

隠岐島ハ島根縣美保關ヲ距ル四十餘哩ノ海上ニ在リテ交通至難一箇年僅ニ二百航海ヲ爲スノミ
ニシテ百六十日餘ハ全ク交通杜絶ノ状態ニ在リ故ヲ以テ判檢事ヲ始メ各官廳ニ於テ適材ヲ得ル
コト能ハサルノミナラス往々缺員トナル場合アリテ一般島民ノ不便實ニ忍フ能ハサル所ナリ依
テ政府ハ速ニ大正九年勅令第四百五號ヲ隠岐島ニ適用シ以テ行政司法各機關ノ運用ヲ圓滑ナラ
シメラレムコトヲ望ム

右建議ス

右三案ハ孰レモ十二年二月十九日若林德懋君外五名之ヲ提出ス三月十日三案ヲ一括シテ院議ニ付
シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ二案ハ木下甚三郎君提出電信線電話線建設條例第六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案(四)

外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報
告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十四日三案及(一三八)案ノ四案ヲ一括シテ院議ニ付シ理事菅野傳右衛門君ハ委員會ノ經過
及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

簡單デアリマスカラ此席カラ報告致シマス、日程第五十五乃至第五十八、右四案ヲ一括シテ、委
員會ニ於ケル經過ヲ御報告致シマス、委員會デハ質問應答ヲ重ネマシタ結果、一人ノ異議者モナ
ク四案共、満場一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、此段報告致シマス

院議異議ナク各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一一一 正米市場設置ニ關スル建議案

政府ハ速ニ正米市場法ヲ制定シ之カ設置ニ努メラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月十九日田中定吉君外二名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨
辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ政府提出小作調停法案(三八)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決ス

ヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ
三月二十四日本案及(二二八)案ノ二案ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長水野吉太郎君ハ委員會ノ經過
及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

此席ニテ報告ヲスルコトヲ御許ヲ願ヒマス正米市場設置ニ關スル建議案ニ付キマシテハ提案者
ノ説明ヲ求メマシテ、且ツ政府ノ意見ヲ聽キマシタ所、政府ニ於キマシテモ、大體此建議案ノ趣
旨ヲ以テ近キ將來ニ於テ之ヲ實現スベク調査シテ居ルト云フコトデアリマス、斯様ナ次第デア
リマシテ、全會一致ヲ以チマシテ、委員會デハ可決ヲ致シマシタ次第デアリマス、鑛業ニ因ル農
耕地ノ被害救済ニ關スル建議案ニ付テハ、提案者ヨリ委シイ説明ガアリ、且ツ各國ノ立法制ナド
モ調査ヲシテ提出ヲ致サレタノデ、政府ノ意見ト致シマシテハ、政府ハ本件ハ其交渉スル所モ非
常ニ廣ク、且ツ甚ダ複雑ヲ極メテ居ルノデアツテ、今調査中デアルガ、俄ニ此建議案ニ贊成スルコ
トハ出來ナイト云フコトデアリマシタ、サリナガラ是モ亦全會一致ヲ以テ可決ヲ致シタ次第デ
アリマス、此段報告ヲ致シマス

院議異議ナク各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一一二二 全邱鐵道建設ニ關スル建議案

政府ハ全羅北道全州ヲ起點トシ館村、鎮安、長溪、安義、居昌、梅村、高靈、玄風ヲ經テ慶尙
北道大邱ニ至ル間ノ鐵道ヲ建設シ以テ交通運輸ヲ促進セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年二月十九日牧山耕藏君外一名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨
辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ阪上貞信君外四名提出植民政政策確立ニ關スル建議案(三三三)外六件委員ニ併セ付託スル
ニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(二二八)參看)

一一三三 阿蘇國立公園設定ニ關スル建議案

阿蘇山ハ九州ノ名山ニシテ世界有數ノ活火山ナリ磊塊タル山容高ク肥豐ノ野ニ特立シ四時絶ユ
ルナキ噴煙ハ天ニ沖シテ壯快限ナシ山上山下至ル所ニ温泉湧出シ溪間大瀑ノ落下スルモノ十數
ヲ以テ算ス密林アリ原野アリ眼界遠ク開クル所一眸ノ下肥州ノ野ヲ收ムヘク海ヲ隔テ遙ニ雲
仙嶽ト相對ス風光ハ雄大ニシテ明媚ヲ兼ネ加フルニ交通ノ至便ヲ以テス若夫レ阿蘇宮ヲ中心ト
シテ神祕的ノ傳説ニ至リテハ敢テ敘述ノ要ナキヲ信ス即チ茲ニ國立公園ヲ設定シテ必要ナル施
設ヲ爲シ以テ世界的名山ノ眞價ヲ發揮セシメラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年二月二十日原田十衛君外三名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ日野辰次君外三名提出霧島山國立公園設置ニ關スル建議案(九)外九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(九)參看)

一二四 勝倉線速成ニ關スル建議案

鳥取縣倉吉ヨリ岡山縣勝山ニ至ル鐵道線路ハ陰陽兩道ノ樞要地ヲ聯絡近接セシムル要路ニシテ沿線林産物農産物並礦物ノ産出頗ル多シ政府ハ速ニ同鐵道ノ速成ヲ計リ以テ地方産業ノ發達文ニ化ノ進歩ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス
右ハ十二年二月二十二日清瀨規矩雄君外一名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(清瀨規矩雄君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ鳥取縣倉吉カラ、岡山縣勝山ニ至リマスル線路デアリマシテ、既ニ鐵道網ニモ編入サレテアルノデアリマス、極テ天産物ニ富ンデ居ル地方デアリマシテ、是非共此鐵道ヲ速成致シテ戴キタイト云フ建議デアリマス、ドウカ諸君ノ御賛成ヲ得テ、成ベク早く完成致シマヌヤウニ希望致シマス

次テ本案ハ中野寅吉君外三名提出柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(一)外十四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六六)參看)

一二五 文官任用令改廢ニ關スル建議案

現行文官任用令ノ發布ハ固ト遺憾ヲ慎ミ情弊ヲ阻マムトスルノ趣旨ニ出テ發令當時ニ在リテハ相當ノ理由ナカリシニ非スト雖年所ヲ經ルニ從ヒ膠柱ノ弊自ラ之ニ伴ヒ官吏ノ任ニ就ク者時代ノ進退ト相伴ハサルモノナキニ非ス故ニ此ノ際文官任用ニ關聯スル法令ヲ改廢シ大ニ門戸ヲ開キ適材ヲ適所ニ置キ以テ吏務ノ刷新ト能率ノ増進トヲ圖ルヘシ

右建議ス

右ハ十二年二月二十二日向井俊雄君外十二名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(岩切重雄君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ洵ニ此寂シキ議場ニ譯モナク此處へ提出サレタヤウデアリマスケレドモ、私ノ考ヘマス所ニ依リマスレバ、本案ハ極テ吾々ノ立場カラ考ヘテモ、重大ナル案デアアルコトヲ私ハ信ズルノデアリマス、ソレハ既ニ説明シナクモ諸君ノ全部ハ御諒察ノ事ト考ヘルノデアリマスガ、願ハクハ本問題ニ對シテハ滿場ノ御熱心ナル御同情ニ依ッテ、是非共斯ノ如キ精神ガ貫徹スルヤウニ御盡力ヲ願ヒタイモノデアアルト考ヘルノデアリマス、文官任用令ノ改廢ヲ吾々ガ唱ヘマスル所ノ理由ノ一ツトシマシテハ、我が日本ノ行政組織ト云フモノハ、吾々國民全體ノ上ニ取リマシテハ極テ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、我國ノ國民ハ未ダ自覺致シマシタトハ申シマスルモノハ、行政組織ニ依ッテ指導シ、開發サル、點ガ極テ多イノデアリマス、然ルニ本任用令ナルモノハ、度々改メラレマシタ所ノ歴史ハアリマス、致シマシテモ、其精神ニ於テハ極テ遠キ時代ノ精神ヲ取ッテ、此任用令ナルモノハ出來テ居ルト私ハ思フノデアリマス、最近ニ於キマシテハ國民ノ自覺ト共ニ、有ユル方面ニ此民意ヲ入レテ來タ、民意ヲ基礎トセル有ユル施設ガ唱道サレルヤウニナッテ來テ居ルノデアリマス、本年ノ議會ニ於キマシテモ、陪審法ノ如キモ、確ニ其一ツデアリマス、又例年論議セレテ居リマス所ノ普通選舉ノ如キモ、其又精神ニ依ッテ出來テ居ルモノデアアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ此時代ニ適應スルガ如ク本任用令ヲ改メテ行クト云フコトハ、吾々熱心ニ希望スル所デアリマス、私共ハ爰ニ具體的ナル詳細ナル私案ヲ提出スルト云フコトハ望ム所デアリマスケレドモ、此重大ナル問題ニ對シマシテハ、願ハクハ政府ニ於テモ、其他ノ人々ニ於キマシテモ、之ヲ研究シテ御互ノ一致協力ノ研究ノ下ニ、一ツノ成案ヲ拵ヘタイト云フノガ、私共此建議案ヲ提出スル趣旨デアリマス、併ナガラ此處ニ假ニ其二三ノ私共ノ考ヘテ居ル事ヲ申上ゲテ見マスナラバ、文官任用令ノ一ツノ關門トナッテ居リマス所ノ、文官任用ノ試験ノ如キハ、確ニ之ニ對シテ考ヘテ運ス所ノ必要ナル一ツノ問題デアアルト考

ヘルノデアリマス、デ私モ不肖ナガラ學校ヲ出テ文官試験ヲ受ケタモノ、一人デアリマス、私共ノ此青年トシテノ心持カラ考ヘテ見マス、前途ニ一ツノ試験ト云フモノガ、如何ニ青年ノ精神ノ上ニ善惡ヲ問ハズ影響ヲ及ボスカト云フコトハ、是ハ重大ナル問題デアアルト私ハ考ヘマス、極テ卑近ナ例ヲ申シマスナラバ、一人ノ書生ガ居ルノデアリマス、此青年ガ試験ヲ受ケタイト云フ熱心ナル希望ヲ持ッテ居リマス、併ナガラ元親ハナク貧ニ育チマシタ爲ニ、中學校スラ卒業スルコトガ出來ナイノデアリマス、熱心ナル希望ト學力トハ具ヘテ居ッテモ、試験ヲ受ケル爲ニ更ニ資格ガ要スルト云フヤウナコトハ、此青年ノ意思ニ對シテ成程猛進シテ行ケバ宜イヤウナモノ、デス、此試験ト云フモノハ、一ツノ抽籤ミタヤウナモノデアッテ、斯ノ如キモノガ寧ロ撤廢サレテ、其處ニ自由ナル空氣ダ青年ノ生ミシタ精神ヲ持ッテ臨ムヤウナ其要素ヲ、少シデモ此中へ取入レルト云フコトガ、私共ハ極テ必要ナ事デアアルト考ヘルノデアリマス、故ニ文官試験ヲ受ケル者ハ、大學ヲ出タトカ、出ナイトカ云フヤウナコトハ一切廢メテシマッテ、誰デモ其試験ニ應ズルコトノ希望ヲ持ッ者ハ、之ニ對シテ受験スルコトガ出來ルヤウニシタラ宜シイト私ハ考ヘルノデアリマス、是ハ假ニ其一ツノ例ヲ取ッテ言フ場合ヲ申上ゲタノデアリマス、更ニ一ツ考ヘテ見マス、私ハ以前ニ於テ極テ小官デアリマシタケレドモ、縣廳ノ微々タル役人ヲ致シテ居ッタ時代ガアルノデアリマス、吾々同僚ノ中ニ多年屬官ヲシテ、屬官デアアルガ故ニ、文官試験ヲ通ラナイガ故ニ、手腕力量ヲ持ッテ居ナガラ、榮達スルコトヲ阻止サレテ居ル所ノ、洵ニ同情スベキ所ノ官吏ガ今日澤山アルノデアリマス、若モデス、其人ニシテ能力ガアリ、其人ニ於テ行政ヲ能ク執ッテ行ク所ノ能力ガ有ルナラバ、何モ文官試験ヲ通ッタ通ラナイト云フコトデ、其人ヲ知事ニスルコトガ出來ナイト云フ理由ハ私共無イト思フノデアリマス、故ニ假ニ一ツノ資格ノ審査會ノ如キモノヲ存ヘルト假定致シマシテ、此一ツノ審査會ニ於キマシテ、此屬官ハ知事トシテモ宜イ、況ヤ局長ナン次官ニモ當然ナル事ノ出來ルモノデアアルト云フ認定ガ付クナラバ、斯ノ如キ者ヲドシドシ引上ゲテ行クト云フコトハ、生氣潑刺タル所ノ行政ノ空氣ヲ造ルコトガ出來ルト私ハ考ヘル、願クハ斯ノ如キ所ノ制度ヲ、現代ノ日本ノ行政組織ノ上ニ取入レタイト云フノガ吾々ノ希望デ

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案 二千二百十九

アリマス、更ニ一ツ吾ノ所懷ヲ述ベマスルナラバ、文官ノ自由任用ノ範圍ノ如キ問題デアリマス、政黨政治ノ確立サレテ參リマス今日ニ於テ、自由任用ノ範圍ト云フモノガ今少シ大キクナルコトヲ、吾々ハ之ヲ望マザルヲ得ナイノデアリマス、又民間ニ於ケル空氣ヲ官界ニ注入スルト云フコトモ、是又一ツノ重大ナル改革ノ一部デハナイカト考ヘルノデアリマス、必シモ階段ヲ經テ屬官ヨリ高等官ヲ梯子段ノヤウニ登ッテ行ク、是ガ行政官トシテノ最適任チヤナイト考ヘマス、算ヘテ參リマスレバ斯ノ如キ點ハ幾多算ヘ舉ゲルコトガ出來ルダラウト私共考ヘル、併シ之ヲ一々爰デ申上ゲル煩ヲ避ケマシテ、願ハクハ委員會ナリ、或ハ委員會其他ノ席ナリ、色々ナル機會ニ依ッテ、皆サンノ研究ニ依リ、日本ノ行政組織ノ中ニ潑刺タル空氣ガ注入サルベク、此任用令ヲ改正シテ見タイト云フノガ、吾々ノ精神デアリマス、何卒御贊同下サイマシテ、日本ヲ救フ意味ニ於テ、日本ヲ向上サセル意味ニ於キマシテ、皆サンノ御贊成アラントコトヲ偏ニ希望スルノデアリマス

次テ本案ハ床次竹二郎君外十一名提出行政及税制ノ整理ニ關スル建議案(五〇)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末本案及(一四九)案ノ二案ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ「文官任用令改廢ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ三月二十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

文官任用令改廢ニ關スル建議

現行文官任用令ノ發布ハ固ト選殺ヲ慎ミ情弊ヲ阻マムトスルノ趣旨ニ出テ發令當時ニ在リテハ相當ノ理由ナカリシニ非スト雖年所ヲ經ルニ從ヒ膠柱ノ弊自ラ之ニ伴ヒ官吏ノ任ニ就ク者時代ノ進運、相伴ハサルモノナキニ非ス故ニ此ノ際文官任用ニ關聯スル法令ヲ改廢シ大ニ門戶ヲ開

キ適材ヲ適所ニ置キ以テ吏務ノ刷新ト能率ノ増進トヲ圖ルヘシ
右建議ス

(議事ノ經過及結果ハ本項(九〇)參看)

一一六 水澤世田米間鐵道建設ニ關スル建議案

東北本線水澤驛ヨリ巖手縣氣仙郡世田米ニ達スル線ハ盛岡山田間ト一ノ關大船渡間ヲ連絡スル高田川井間ニ接續スル鐵道ニシテ地方產業ノ開發上極メテ必要ナル鐵道ナリト認ム政府ハ速ニ其ノ建設ノ調査ヲ進メ之カ起工ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十二日志賀和多利君之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ中野寅吉君外三名提出柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(一)外十五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六六)參看)

一二七 高田川井間鐵道速成ニ關スル建議案

巖手縣一ノ關大船渡線ノ高田ヨリ分岐シテ世田米ヲ經盛岡山田線ノ川井ニ達スル鐵道ハ鐵道敷設法別表ニ認メタル線ニシテ實ニ三陸沿岸線ノ中樞ヲ占ムルモノナリ乃チ其ノ速成ハ産業開發上最必須ノ要務ナリト認ム政府ハ速ニ該鐵道ヲ建設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十二日河野喜藏君外一名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ中野寅吉君外三名提出柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(一)外十六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六六)參看)

一二八 鑛業ニ因ル農耕地ノ被害救済ニ關スル建議案

時運ノ趨勢ニ鑑ミ農工業ノ併進ヲ圖ルハ國力ノ充實ヲ期スル所以ニシテ國家存立上最緊要ノコトタルヲ信ス近時我カ國ニ於ケル鑛業ノ發展益著シキモノアルハ洵ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリト雖之カ爲農業ニ及ホス慘害甚シキモノアルハ實ニ憂慮措ク能ハサル所ナリ然ルニ現行鑛業法ハ專ラ鑛業經營ニ關スル規定ニシテ耕地ノ損害補償ニ對シ何等ノ明文ナキヲ以テ被害者ノ賠償ハ一般民法ニ依ルノ外ナク不利甚シ政府ハ宜シク鑛業地方ノ實情ヲ洞察シ此ノ點ニ關スル各國ノ制度ヲ參照セラレ耕地ノ保全損害補償ニ關スル適切ナル方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十二日中村清造君外四名之ヲ提出ス三月十三日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(中村清造君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ニ付キマシテハ實ハ多少説明ヲ要シマスノデゴザイマスルガ、此際ハ簡單ニ申述ベタイノデゴザイマス、本年ノ議會ハ農村問題ヲ中心トシマシテ、是ガ振興救済ニ付キマシテハ、目下盛ニ論議研究ヲサレテ居リマスルガ、ソレガ將ニ具體案トシテ近日ノ中ニ私等ハ現レルト思ッテ喜ンデ居ルノデアリマスルガ、私ハ茲ニ農村問題トシテ一ツ取殘サレタルコトニ付キマシテ、茲ニ諸君ノ御同情ニ訴ヘタイト思フノデゴザイマス、近時鑛業ガ一大進歩ヲシマシテ、國利國益ヲ増進シツ、アルト云フコトハ詢ニ感謝スベキ事デアリマスガ、是レノ半面ニ於キマシテハ、農耕地ニ於ケル損害ヲ被ルコトモ亦甚大ナルモノガアルノデアリマス、之ヲ譬ヘテ申シマスレバ、鑛業地ニ於キマシテハ、此採掘ノ爲ニ或ハ耕地ノ陷落スルコトガアリマス、或ハ鑛毒ノ放出ニ依リマ

シテ收穫ヲ或ハ皆無ニスルコトモアリマス、又水源タル所ノ溜池ガ漏洩シマシテ、其爲ニ折角ノ際ニ灌溉水ヲ失フコトモアルノデアリマス、又土地ノ變形ニ依リマシテ、用水路ガ其用ヲ爲サザル等ノコトモアルノデゴザイマス、是等ノ損害ガ積リマシテ、或地方ニ於キマシテ數千町歩ノ耕地ヲ荒廢ニ歸セシメ、又百幾十萬圓ノ損害ヲ受ケテ居ルト云フヤウナル實例ガアルノデアリマス、是ハデス、全國ニ互リマシテ苟モ鑛業ノアル所ニハ必ズヤ件ウテ居ル所ノ問題デアラウト私ハ思フノデゴザイマスガ、此事ニ付キマシテハ農商務省ナリ、内務省ナリニ於テハ十分御調ニモナツテ居ラウト思フノデゴザイマスガ、儲テ是等ノ被害者ニ對シマシテ救済ヲデスはレノ被害者ガ其損害ヲ要求スルニ當リマシテ、幸ニ大ナル鑛主デアアルカ、又ハ理解アル所ノ會社デアリマスレバ、ソレガ圓滿ニ解決ニ困難スルコトガ出來ルノデゴザイマスルガ、又彼ノ土地ノ如キノモ直ニ其鑛主ニ依ツテ即チ損害ヲ被ツテ居ル所ノ土地ハ、直ニ鑛主ニ依ツテ賠償サル、コトモ出來ルノデゴザイマスガ、小鑛主ニ至ツテハ甚ダ是ガ解決ニ困難ヲ感ズルノデゴザイマス、現在ノ鑛業法ガ損害賠償ト云フコトノナイ爲ニ、如何ニ之ニ交渉ヲシテモ、テンデ小鑛主ハ相手ニシナイト云フコトガアリマス、若シ又之ヲ鑛業行政ノ訴訟ノ手續——民事訴訟ノ手續ヲ執ラントシマシテモ、貧弱ナル所ノ農民ハ之ニ對抗スル資力モナク遂ニ泣寝入ノ姿ニナリツ、アルト云フヤウナコトモアルノデゴザイマス、ソレガデス、其鑛業權ガ甲乙丙ト云フ風ニ轉々シテ居ル場合、又ハ其被害ノ面積ガ數鑛區ニ跨ツテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ相手ニスル所ノ責任者ガ殆ド塗り合ヲ致シマシテ、之ヲ捉ヘルノニ甚ダ困難デアリマス、サウシテハ甚シイモノハ彼ノ廢坑等ノ場合ニ於キマシテハ、之ヲ如何トモスル能ハズト云フノ現況デゴザイマス、御承知ノ如ク鑛業者ハ大ナル損害ヲ被リツ、アリマスルガ、御承知ノ如ク今日ハ即チ農業ノ——農民ノ振興救済ニ付キマシテハ、既ニ天下ニ喧シクアルノデアリマス、且又政府ニ於キマシテモ、曩ニ開墾助成法案ヲ發布致シマシテ、耕地ノ擴大並ニ食糧ノ自給自足ヲ圖ツテ居ル際ニ、苟モ我が農民ノ一部分ニ於テハ、假令鑛業地ノミトハ言ヒナガラ、一部分ニ於テ斯ノ如ク物質上ニモ、將又精神上ニモ呻吟シテ居ル者ノアルト云フコトハ私ノ海ニ同情ニ堪ヘナイ所ノ事柄ト思フノデ

ゴザイマス、畢竟シマスルニハ是ハ即チ鑛業法ノ私ハ不備デアラウト思フ、現在ノ鑛業法ハ是ハ鑛業家ヲシテ地中ノ利源ヲ開發スル爲ニ急ナリシ際ニ、出來テ居ツタ所ノ法デアリマスガ故ニ、今日カラ見マスト云フト、甚ダ不備ナ點ガアリマスル故ニ、是ハ即チ根本ニ遡ツテ是ガ救済ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト存ズルノデゴザイマスガ、各國ノ例ニ倣ヒマシテ即チ政府ハ鑛業法ノ一部ヲ改正シマシテ、此國土ノ保全ト並ニ損害賠償ノ途ヲ開カレンコトヲ私ハ希望スル所以デアリマス、希クハ滿場ノ御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス

次テ本案ハ政府提出小作調停法案(三八)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(一一二)參看)

一一九 高等師範學校設置ニ關スル建議案

中等教育ノ振興ニ伴ヒ教員供給ノ不足ニ鑑ミ近キ將來ニ於テ高等師範學校ヲ九州ニ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十二日小橋一太君外一名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(原田十衛君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

現今中等教員ノ不足ヲ告ゲテ居ルコトハ世間周知ノ事實デアリマス、政府ハ明年度ノ豫算ニ於キマシテ、中等教員養成ノ費用ヲ要求致シテ居リマシテ、其不足ヲ補ハント企テ、居リマスガ、私共ノ見ル所ニ依レバ、尙ホ其計畫デハ不十分ナリト考ヘルノデアリマス、故ニ此際更ニ高等師範學校ヲ設ケマシテ、中等教員ノ養成ヲ致シタイト思ヒマス、而シテ其高等師範學校ヲ設クベキ場所ハ、九州ノ適當ナル場所ニ之ヲ設置シタイト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、詳細ハ委員會デ説明ヲ致シマス、諸君ノ御同意ヲ望ミマス

次テ本案ハ有島秀雄君外三名提出東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(五四)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五四)參看)

一三〇 新議院構内ニ議員事務室設置ニ關スル建議案

現時新築中ノ議事堂構内ニ多數ノ議員事務室ヲ設ケ之ヲ各議員ニ給シ且完備ナル圖書館ヲ附設スルハ議員ノ職責遂行上極メテ有用ノ措置ナリト認ム故ニ政府ハ當該職司ニ命シ相當ノ設計ヲ立テシメ之カ實現ニカヲ效サレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十二日北井波治目君外二名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ床次竹二郎君外十一名提出行政及稅制ノ整理ニ關スル建議案(五〇)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(九〇)參看)

一三一 肥料專賣ニ關スル建議案

政府ハ農業者ニ品質優良ナル肥料ヲ廉價ニ供給スル爲其ノ專賣ヲ爲シ以テ農家經濟ノ安定ヲ圖ルト共ニ食料充實ノ一端ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一三二 所得稅法中改正ニ關スル建議案

所得稅法中左ノ點ニ付改正ヲ望ム

一第十四條第一項第五號ノ控除率ニ準シ田畑等ノ所得ニモ控除率ヲ設クルコト

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

一 勞力ニ依ル所得ニ對シ第十五條ノ控除率ニ準シ控除率ヲ設クルコト
右建議ス

右兩案ハ孰レモ十二年二月二十二日高田松平君之ヲ提出ス三月十三日兩案ヲ一括シテ院議ニ付シ
提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ハ先ヅ十五ヨリ説明シヨウト思ヒマス、即チ肥料專賣ノ建議案デアリマス、本年ハ農村振興ニ
關スル諸種ノ法律案、建議案ガ提出サレマシテ、今ヤ各委員會ニ於キマシテ、熱心ニ討議サレテ
アルコトハ農村振興ノ爲ニ洵ニ喜ブベキ現象デアルト思フデアリマス、併ナガラ私共ノ考
ハ此農村ノ現狀ヲ改善シテ、農民ニ生活ノ安定ノ基礎ヲ得セシムルノニハ、板葉末節ノ方法
ハ到底之ヲ救済スルコトガ出來ナイト思フデアリマス、小作爭議ノ問題ト云ヒ種々農業上ノ
問題ガアリマスルガ、其歸著スル所ノ大本ハ、要スルニ現代ノ農業ガ商工業其他ニ比較シテ、心
勞ニ對スル所得ノ比較的少イト云フコトガ有ユル問題ノ出發點デアラウト思フデアリマス、
之ヲ救済シ、農業ノ確立ヲ圖ルト云フコトニ付キマシテハ、我國農產物ノ主タル物タル米穀ノ價
格ヲ安定シ、同時ニ又肥料ノ專賣等ニ依ッテ農業者ノ支出ヲ減殺シ、併セテ成ベク其支出ヲシマ
餘リニ増減ナカラシムルコトガ必要ナル政策デアラウト思フデアリマス、此見地ヨリ申シマ
スレバ、私ハ小菅劍之助君ガ第四十五議會以來、今回モ提出シマシタル米穀專賣法ト、而シテ此
肥料ノ專賣法トガ相倚リ相俟ッテ之ヲ實行スルニアラザレバ、到底完全ニ我國ノ農家經濟ヲ維持
スルコトハ出來ナイト確ク信ズル者デアリマス、併ナガラ此問題ハ極テ重要ナル問題デアルト
同時ニ、又及ブ所ガ複雑ニシテ、固ヨリ一朝一夕ニ之ヲ決定シ得ル問題デハナイト思ヒマス、ケ
レドモ少クトモ現在ノ農村ニ於キマシテ、米ノ專賣及肥料ノ專賣ノ兩方ニ依ッテ、農家經濟ノ安

定ヲ圖ルト云フコトハ、何ヨリ必要ナル政策デアルト農民ノ大部分ガ主張シ、現在ニ於テ既ニ多
數ノ此意味ニ於キマシテノ請願書ガ、各方面ヨリ提出サレテ居ル場合デアリマスカラ、吾々ハ米
ノ專賣ト同時ニ肥料ノ專賣ヲ實行致シタイト思フデアリマス、第四十五議會ニ於キマシテハ
政友會ノ津野田君ヨリ建議ガ出マシタ、尙ホ私モ第四十五議會ニ提案致シマシタガ、遺憾ナガラ
委員會ニ移ストノ動議ノミデ、實際ニ於キマシテ委員會ノ議ニ付セラレナカッタコトハ、私ハ頗
ル遺憾ト思フデアリマス、本年ハ津野田君ハ何カ別ニ感ズル所アツタカ、御提出ニナリマセヌ、
故ニ私ハ至難ニシテ複雑ナル問題トハ存ジマスガサリナガラ農村ノ救済問題トシテ絶好ナル問
題デアルガ故ニ、之ヲ提案シテ諸君ノ御賛成ヲ得タイト思フデアリマス、尙ホ私ハ極テ簡單ニ
申上ゲマスルガ、農家ノ生産費ノ主タルモノハ肥料デアアル、少クトモ大正八九年頃カラ以來一箇
年、所謂輸入肥料其他内地生産シタル肥料ヲ合セテ、販賣肥料ト名クベキモノガ三億數千萬圓
ノ多キニ達シテ居ルト思フデアリマス、此肥料ガ如何ナル者ノ手ヲ經テ需要家ノ手ニ這入ル
カト云ハバ、製造家ヨリ仲買人小賣人、而シテ農家ノ手ニ這入ル、此間ニ於キマシテ種々ナル機
關ヲ經ル爲ニ、生産サレタル價格、即チ製造價格ヨリ少クトモ二三割ノ價格ガ向上スルヤウニ
ナッテ居ルヤウニ思フデアリマス、殊ニ小作農ノ如キハ、實際肥料ヲ買フ力ノ無イ爲ニ、肥料
ヲ仕入ル、ト同時ニ、肥料代金ヲ之ヲ證書トシテ肥料商店ニ差入レテ、一割五分乃至二割ト云フ
ヤウナル高利ヲ現在拂ッテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、故ニ此肥料ノ官營ヲ爲シテ、而シテ成
ベク優良ナル肥料ヲ一般農家、殊ニ中小農ニ供給スルト云フコトガ非常ニ必要ナル事ト思フ
デアリマス、是等ハ常識的ニ申ス肥料ノ專賣ノ理由デゴザイマスルガ、私ハ特ニ二ツノ理由ヲ申
上ゲタイト思フデアリマス、其一ツノ理由ハ米穀法ノ制定ノ結果ニ依リマス、即チ米穀法ハド
ウ云フ爲ニ制定サレタカト申シマスレバ、無論數量ノ調節デアアル、其結果從テ價格ノ調節ニモ幾
分ナルコトハ明カデアリマスルケレドモ、同時ニ生産者ノ利益トナルカ、消費者ノ利益トナルカ
ト言ヒマスレバ、私共ハ現在ノ狀況ヲ以テシテハ、生産者ノ利益ヨリモ寧ロ消費者ノ利益トナル
コトガ多イト思フデアリマス、例ハバ物價ノ暴騰ノ場合即チ經濟界ノ膨脹ノ理由ヨリ、或ハ米

ノ不作等ノ理由ヨリ、米價ガ騰貴スベキ場合ニ於テ政府ガ買入レタ貯藏米ノ壓迫ニ依ッテ、他ノ一般ノ物價ハ非常ニ暴騰スルケレドモ、米價ノミガ騰貴シ得ナイ狀況ヲ呈スルコトハ明カナル次第デアリマス、斯カル場合ヲ想像スレバ、米穀法ノ制定ニ依ッテ米ノ生産者タル農民ハ、明ニ經濟上ノ膨脹其他ノ理由ニ依ッテ、受クベキ當然ノ利益ヲ奪ハレルト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、故ニ私ハ米穀法其モノガ現在ノ通り實行サレテ居ルト云フ事柄ハ、已ムヲ得ナイト致シマシテモ、此法律ニ依ッテ農家ノ所得ガ或ル場合ニ於テ奪ハレルコトノ明カデアリ以上ハ、其支出タル即チ生産費ノ主ナルモノデアアル所ノ肥料ニ向ッテモ、相當ナル方法ヲ講ジテ、肥料ノ暴騰ヲ防グト云フ事柄ハ、米穀法ノ制定ト同時ニ國家ガ爲サナケレバナラヌ一ツノ施設デアアルト思フノデアリマス、更ニモウ一ツハ、最近現ハレマシタ肥料製造業者ノ一種ノ生産制限ノ事デアリマス、此間ノ新聞ノ報ズル所ニ依リマシテモ、肥料製造業者ガ肥料ノ價格ノ暴落ヲ防グ爲ニ、日本ノ製造業者ガ相會シテ、或ル程度ノ生産制限ノ決議ヲ爲シタ、是ガ若シ完全ニ實行サレルヤウニ相成リマスレバ、其結果ハドウデアアルカト言ヒマスレバ、農業者ノ支出ノ主ナルモノデアアル肥料ハ、此僅カナル製造業者ノ生産制限ニ依リマシテ、肥料ノ價格ガ下落スベキ場合ニ於テモ下落スルヲ得ズ、製造業者ノ此生産制限ニ依ッテ、農家ノ支出ノ主ナル肥料ハ、其價ガ非常ニ昂騰スルト云フヤウナ状態ニ立チ至ルノデアアル、即チ農家經濟ガ肥料製造業者ノ爲ニ非常ナル壓迫ヲ蒙ル次第ニ相成ルノデアリマス、聞ク所ニ依レバ、此肥料ノ生産制限ハ、未ダ完全ニ實行セラレナイト云フコトデアアルカラ、今日ニ於テハ、尙ホ恐ル、ノ必要ナシトスルモ、漸次肥料製造會社ガ一種ノ「トラスト」ヲ作ッテ、自分等製造業者ノ利益ヲ圖ル爲ニ、米價其他ノ物價ノ下落セル時代ニ拘ラズ、肥料ノ製造ヲ制限スルト云フ次第ニ相成リマシタナラバ、全ク恐ルベキ現象ヲ呈スルデアラウト私ハ思フ、此恐ルベキ弊害ヲ除却スル爲ニハ、政府ガ肥料ノ專賣ヲ爲スト云フコトニ在ルノデアリマス、以上大體ノ理由ヲ申上ゲマシタガ、ドウシテモ米專賣ト肥料專賣トヲ實行スルニ非ザレバ、農家生活ノ基礎ヲ安定スルコトハ出來ナイト信ズルノデアリマス、此際附言致シタイトコトハ、近頃非常ニ農村ガ困憊シタト云フコトヲ言フ、而シテ其理由ハ何デアアルカト言ヘ

ハ、要スルニ負擔ノ激増デアアル租稅其他有ユル公課ノ激増デアアル、又第二ニハ、農村ニ投機ノ弊風ガ侵入致シマシテ、農村ニ於ケル所謂有志家有力家ト稱スル人ミガ投機ニ手ヲ出シ、是ガ爲ニ非常ニ失敗ヲシタト云フ者ガ各地方到處ニアルノデアリマス、是モ私ハ農村ノ困憊ヲ來ス一ノ原因デアラウト思フ、更ニモウ一ツハ、大正七八年ノ交、非常ニ米穀ノ價ノ騰貴シテ、其騰貴シタコトニ連レラ、農民ノ生活程度ガ非常ニ向上シタ、所ガ其反動トシテ急激ニ米價ガ下落シテ其割合ニ他ノ物價ガ下ラナイ、然ルニ一旦向上シタル農民ノ生活ハ、急ニ之ヲ減ズルコトハ能ハズシテ、其爲ニ今日非常ニ生活上ノ壓迫ヲ受ケツ、アルヤウニ思フノデアリマス、更ニ私ノ見ル所デアリ、社會上ノ種々ノ關係ヨリ十數年以前ヨリモ現在ノ農民ハ、農業ニ對シテ勤勞スル時間ガ極テ少クナッタヤウニ思フノデアリマス、是モドウ云フ理由デアアルカト言ヘバ、社會組織ノ複雑ニナッタ爲モアリマセウケレドモ、要スルニ農民ガ或ル意味ニ於テ、自分ノ經濟ト云フコトニ重キヲ置キ過ギル傾ガアルノデアリマス、是ハ妙ナ言葉ニナリマスガ、例ヘバ肥料ノ問題ニ致シマシタ所ガ、ドウデアアルカト言ヘバ、現在自分ノ山野ヨリ植物ヲ採取シテ來テ、之ヲ推積シテ肥料トスレバ立派ニ其用ニ堪フルノニ、農業使用人ノ備賃ノ騰貴ノ結果、自然ニ山野ニ在ル肥料ヲ用ユルコトヲ避ケテ、而シテ所謂販賣肥料ヲ多ク使フコトニナッタト云フコトモ事實デアリマス、要スルニ農村荒廢ノ原因ハ、負擔ノ増加、農村ニ於ケル投機心ノ侵入、隨テ之ニ伴フ社會上ノ種々ノ弊害及米穀ノ價ノ一時的暴騰ニ依ッテ生活ガ向上シ、而シテ今日下落ラシテモ其向上シタル生活ヲ低下スルコトノ出來ナイト云フコトガ、主タル原因デアラウト思フノデアリマス、即チ此點カラ申シマスレバ、現在ニ於ケル農村疲弊ノ原因ハ、明ニ最近四箇年間ニ於ケル政友會内閣ガ、財政經濟策ヲ誤ッタ結果デアアルト私ハ論斷シテ差支ナイト思フノデアリマス、第二ニ所得稅法改正ニ付テ説明致シタイト思ヒマス、是ハ所謂法人所得ヨリ四割ヲ控除スルト云フ所得稅法第十四條第一項第五號ノ規定、之ヲ他ノ第三種ノ所得ニモ及ボシタイト斯ウ云フノデアリマス、第二ハ第十五條ノ控除即チ俸給衣食者ニ對シテ特別ニ控除率ガアル、此控除ヲ勞力ニ依ル所得ニモ及ボシタイト、斯ウ云フ事デアリマス、即チ所得稅法ニ於テ甚ダ不公平ノ地位ニ在ル者ガアルカラ、

之ヲ公平ノ課税ニ引直シタイト云フコトデアリマス、此ノ第十四條ノ第一項ノ第五號、即チ法人ノ所得ニ對シテ四割ノ控除ヲ爲スト云フ事柄ハ、其基礎ニ於テ決シテ完全ナル理由ハナイノデアリマス、第四十二議會ニ於キマシテ所得税法改正案ガ提案サレマシタ場合ニ於テ、原案ニハ此控除ノ事ガ認メテナカッタノデアリマス、所ガ第四十二議會ニ於キマシテ二割ヲ控除スルト云フコトニ修正サレマシタ其理由ハ、法人ノ所得ヲ得ル爲ニ、即チ配當等ヲ得ル爲ニハソレト、借入金ヲ以テ充當スル人ガ多イカラ、先ヅ其利息ト見テ配當ノ中ヨリ二割ヲ控除シヤウヂヤナイカト云フコトノ意味ガ、大體二割トシタ理由デアリマス、其當時ニ吾々ハ配當所得ヨリ二割控除スルノデアレバ、他ノ商業所得、農業所得ヨリモ相當ノ控除ヲ爲スガ當然ニアラズヤト質問ヲ致シマシタ所ガ、政府ハ之ニ答ヘテ田畑ノ所得、其他商業ノ所得ニ付テモ、借入金ノアル場合ニ於テハ之ヲ控除スルノデアルト云フコトノ御答辯ガアッタノデアリマス、併ナガラ其控除スルト云フコトハ其時ノ高橋大藏大臣ノ説明ニ依レバ、甚ダ範圍ガ狭カッタ、即チ勸業銀行及農工銀行等ヨリ農民ガ土地ヲ買入レル場合ニ於テ、必要ノ資金トシテ借入レタル證據ガアル場合ニ於テハ、ソレノミニ付テ借入金ノ利子トシテ控除スルト云フコトノ御答デアッタノデアリマス、又政友會ノ或ル人々ガ委員會ニ於テノ御話ニ依レバ、其他ノ借入金ノ利子ニ付テモ必要ナルモノデアアル、即チ肥料買入代金等デアレバ、控除スベキモノデアルト云フヤウナ意味モ答ヘラレテ居ッタヤウニ思フノデアリマス、所ガ第四十二議會ハ御承知ノ通り、衆議院ヲ通過シテ貴族院ニ送付サレテ、其内ニ解散ニナッタ、第四十三議會ニ於テ、即チ解散後ノ議會ニ於テ此法案ガ提案サレマシタ、所ガ是ガ二割控除カニ割控除ニナッタノデアリマス、其理由ハ一割ハ源泉課税ニスル一割ハ源泉課税ニシテ、二割ヲ配當所得カラ控除スル、斯ウ云フコトヲ衆議院ハ通過シテ、貴族院ニ送付サレマシタ、所ガ貴族院ハ是モ亦四割ニシタノデアリマス、四割控除、其理由ハ何デアアルカト言ヘバ、甚ダ曖昧ノヤウニ思ヒマスルケレドモ、利子モ含ンデ居ルケレドモ、課税ノ激變ヲ防グ、斯ウ云フコトノ意味ヲ以テ一割ヲ増シマシテ、詰リ法人ノ所得ニ付テハ二割ヲ控除スルト云フコトニナリマシタノデアリマスガ、具體的ニ何等ノ理由ガ無イノデアリマス、勿論配當所得ヲ受ケル中ニ

ハ殆ド其全部ガ借入金ノ人モアリマセウ、又一錢一厘ノ借入金ヲ持タナイ人モアルト思ヒマス、一錢一厘ノ借入金ヲ持タナイ人デモ、詰リ十萬圓ノ配當ナレバ、之ニ四割ヲ控除シテ所得税ヲ課ス、全部借入金デ株券ヲ持ッテ居ル人デモ四割ヲ控除シテ居ル、斯様ニ不公平ナル結果ニ相成ッテ居ルコトデアリマス、其後田畑ノ所得等ニ對シテ、果シテ各所ニ於ケル稅務署ガ借入金ノ利子ヲ控除シツ、アルヤ否ヤト云フコトヲ言ヒマスレバ、決シテ控除致シマセウ、私共ハ控除シタル實例ヲ知ラナイノデアリマスノミナラズ、田畑等ニ對スル所得ノ標準決定ハ、最近ニ於テ全ク辛辣ヲ極メマシテ、各方面共田畑ニ依ッテ得ル實際ノ所得以上ニ所得額ガ決定サレテアルト云フヤウナ狀況デアリマス、而シテ農家ノ借入金ハドウデアアルカト云ヘバ、前申上ゲマシタ通り、一時の物價ノ暴騰ノ爲ニ僅カノ間其生活ガ非常ニ樂デアリマシタガ、大正九年ノ米價暴落以來、已ニ戰爭前以上ニ其農民ノ借入金ガ殖エタコトハ明カナル事實デアリマス、勿論所得税ノ本旨ト致シマシテハ、之ヲ外國ニ於ケル二三ノ所得税法等ヨリ觀察スレバ、純所得ニスルト云フコトガ當然デゴザイマセウ、我國ノ所得税トシテハ實際ノ所得税デアリマセウ、併シナガラ今日ノ我が日本人ノ納税ニ對スル觀念ヨリスレバ、借入金ノ利子ヲ全部控除スルト云フコトハ中々是ハ困難デゴザイマスルカラシテ、配當所得ノ場合ニ於テ四割ヲ控除シテ置クト云フ現在ノ立法モ、私ハ全然之ニ反對スル者デアリマセウ、甚ダ不公平ナルモノニナツテ居ルケレドモ、是亦已ムラ得ナイト思フ、併ナガラ配當所得ニ付テハ四割ヲ控除スル、借入金ノ有無ニ拘ラズ四割ヲ控除スル、所ガ他ノ農業田畑ヨリ生ズル所得及商業等ノ三種所得ニ付テハ、如何ニ借金アルモ其利子トシテ一錢一厘モ控除シナイト云フ現狀ハ、明ニ私ハ差別的ノ待遇ヲ爲スモノデアルト論斷シテ差支ナイト思フノデアリマス、此弊害ヲ除却シ、此差別的ノ待遇ヲ撤廢スル爲ニハ、勿論純所得ト云フコトニ所得税ノ立場ヲ改正スルコトハ最モ宜シイ方法デアアルト思ヒマスケレドモ、是ハ中々困難ノ事デアル、故ニ法人所得ニ對シ一定ノ控除ヲ爲スト同一ノ意味ニ於テ、同一ノ程度ニ於テ、他ノ三種ノ所得ニ對シテ控除ヲ爲スト云フコトハ、私ハ最モ公平ナルモノデアルト信ズルノデアリマス、此意味ニ於テ所得税法中改正ノ第十四條第一項第五ノ控除率ニ準シ、田畑等ノ所得ニモ相當ノ

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案 二千二百三十三

控除率ヲ設ケラレンコトノ建議ヲ提出スル所以デアリマス、更ニ第二ハ第十五條ニ關係ノ問題デアリマス、第十五條トハ何デアルカト云ヘバ、俸給其他ノ所得、即チ勤勞所得ニ對シテ二割乃至一割ノ控除率ガ現在アルノデアリマス、是モ私共ハ俸給生活者ガ他ニ何等控除スベキモノナク、練所得ヨリ出發シテ課税スルニアラザル以上、俸給衣食者ハ何等控除スルモノガナイノデアリマス、此場合ニ於テ一割乃至二割ヲ控除シツ、アル現在ノ法律ガ惡イト云フノデアリマセヌ、併ナガラ是ガ若シ宜イト致シマシタナラバ、他ノ方面ニ於テ例ヘバ大工ノ棟梁、左官ノ棟梁、仲仕頭、人力車宿、斯ウ云フヤウナ者ニ更ニ控除率ガナイノデアリマス、勿論必要ナル經費ハ控除スルト稱シマス、併ナガラ斯ノ如ク大工、左官、其他工場労働者ニアラザル有ユル労働者、是等ノ人々ガ得ル所ノ所得ニ對シテ何等控除スル所ガナイ、他ノ一方ハ官吏、銀行、會社員一定ノ收入ヲ持ツテ居ル所ノ勤勞所得者ニ對シテハ控除スル、而シテ斯ノ如ク純然タル労働ニ從事スル各種ノ勞力ニ依ル所得ニ對シテハ、一錢一厘ノ控除ガナイト云フコトハ、是亦私ハ不公平ナル立法デアルト思フノデアリマス、故ニ是等ノ勞力所得ニ對シテモ、普通ノ勤勞所得、即チ官吏其他ノ一定ノ所得ニ依ツテ衣食スル人々ニ對スル控除率ト同様ニ、是等ノ勞力所得ニ對シテモ控除ノ率ヲ設ケルト云フコトガ當然デアルト信ズルモノデアリマス、以上ノ理由ヲ以テ所得税法ヲ改正致シタイト思フノデアリマス、實ハ私共ハ法律案トシテ之ヲ提出シタイト思ヒマシテ、種々研究ヲ重ネマシタガ、如何ニモ其關係スル所ガ多イノデアリマス、第二種ノ所得ニ於キマシテ、法人ノ所得ノ如ク他ノ一般ノ第三種ノ所得ニ混同スルコトニナレバ、收入ニ於テ餘程ノ減額ヲ來スノデアリマス、併ナガラ中ニ此算盤モ吾々素人ニハ出來マセヌ、故ニ私ハ此二ツノ不公平ナルコトヲ列舉致シマシテ諸君ニ訴ヘ、之ヲ委員會ニ付シテ御研究ヲ願ヒマシテ、政府ノ調査ヲ待チ、何トカシテ此法律ヲシテ公平ナルモノト致シタイト云フコトガ、本案建議ノ趣旨デゴザイマス、ドウゾ諸君ノ御賛成ヲ得テ本案ヲ通過サセマシテ、第四十六議會ニ於テ此意味ノ法律案ノ改正ヲ政府ヨリ提出サレタイト思ヒマス

次テ第一案ハ政府提出小作調停法案(三八)外二件委員ニ、第二案ハ林田龜太郎君外一名提出明治

四十一年法律第三十七號中改正法律案(三)外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ孰レモ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

一三三 河川改修ニ伴フ支派川及用惡水路改良ニ關スル建議案

政府ニ於テ施行スル河川改修ノ成績ヲ見ルニ洪水防禦ヲ主トシ支派川及用惡水路ノ改良之ニ伴ハス爲ニ灌溉排水不良ニシテ河川改修ノ效果ニ遺憾ノ點尠カラス今後施行スル河川改修ニハ本川改修ト同時ニ其ノ支派川及用惡水路ヲ完全ニ改良スルノ途ヲ講シ以テ治水上其ノ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十二日大道寺慶男君外三名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(大道寺慶男君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

河川改修ノ目的ハ、言フマデモナク洪水ノ防禦並ニ灌溉排水ノ改良、航運開通等ニ在ルコトハ勿論デアリマスガ、此目的ヲ達スル爲ニ施行セラレマスル改修方法ハ、河川ノ狀況並ニ地勢ノ模様ニ依リマシテ、一樣デナイノデアリマス、例ヘバ河ノ流ガ急テアツテ、耕地ガ河底ヨリ高イ部分ニアリマシテハ、灌溉用水ヲ主トスルノデアリマセヌガ、河ノ流ノ勾配緩カデアツテ、耕地ガ河ノ底ヨ

リ低イモノニ在リマシテハ、洪水ノ防禦、惡水ノ排除ガ主トナラナケレバナラヌモノデアリマス、斯ノ如キ事柄ハ政府當局ハ勿論十分ニ熟知サレテ居ル事柄デ、吾々ノ喋々ヲ待タナイノデアリマスルガ、從來ノ改修サレマシタ成績ニ徴シマスルト、此支派川ノ改修並ニ用惡水ノ排除ト云フコトニ付キマシテハ、多少閑却サレテ居ル弊ヲ認メルノデアリマス、此點ハ固ヨリ國家財政ノ都合ニモ依ルコトデアリマセウシ、色々經費ノ多端ナル際ニ、全部ノ改良ヲ促スト云フ事柄ハ或ハ不可能ノ點ガアル場合モアルトハ存ジマスルガ、政府ノ此改修方針ガ主トシテ洪水防禦ヲシヤウトシテ行ハレル結果、此支派川及用惡水路ニ關スル改良ヲ閑却サレル傾ガアルノデアリマス、現ニ改修後ノ地方ノ狀況ヲ見ルト、關係地方民ガ此用惡水路ノ惡水排除ノ不完全ナル爲ニ非常ニ此疏通ニ苦ミマシテ、更ニ多大ノ經費ヲ負擔シテ應急ノ工事ヲ爲シテ居ル悲境ニ在ルノデアリマス、斯ノ如キ事ハ巨額ノ國費ヲ投シマシテ、國家ガ施行スル河川改修ノ目的ニ副ハナイモノデアアルノミナラズ、國民ノ期待ニ反シタル頗ル遺憾トスル所デアリマス、今回政府ガ計畫セラレテ居リマスル治水事業ノ年度割ヲ見ルト、總額四億二千六百七十九萬何千圓ト云フ多大ナル額ニ相成ツテ居リマシテ、大正十二年度以降改修サレマス河川ハ、利根川外三十三箇所ノ總テノ河川ニ及ンデ居ルノデアリマス、是等ノ河川ノ改修ハ成ベク從來ノ方針ヲ更新致シマシテ、大正十三年度カラシテ支派川及用惡水路改良ノ方ニモ共ニ力ヲ盡サレテ、治水ノ大事業ヲ完成スル方針ヲ進メラレンコトヲ望ムノデアリマス、殊ニ農村救濟問題食糧問題ノヤカマシキ現時ニ於テ、農村振興ノ一方法トシテモ、斷ジテ此主義方針ヲ採ツテ戴キタイト思フノデアリマス、是レ本案ヲ提出シタル所以デアリマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ本多貞次郎君外五名提出利根運河國有ニ關スル建議案(六二)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(六二)參看)

一三四 群山港國營修築ニ關スル建議案

今ヤ世界ノ大勢ハ武力的戰爭ニ代フルニ經濟的戰爭ノ時代トナレリ從テ之カ對策ヲ講セムトスルニハ專ラ港灣ヲ修築シテ海外貿易ノ發達ヲ圖ラサルヘカラス群山港ハ南鮮ノ要港ニシテ朝鮮第一ノ米穀輸出港タリ政府ハ速ニ國費ヲ以テ本港修築ノ計畫ヲ樹テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十二日阪上貞信君外二名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(阪上貞信君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ昨四十五議會ニ於テ本院ヲ通過シタ建議案デアリマス、重ネテ本年茲ニ提出致シタノデアリマス、群山港ハ朝鮮ノ各開港地ニ於テ最モ有數ナル地デアリマシテ、背後ニハ全羅北道ノ大平野ヲ控ヘ錦江ヲ隔テ、其對岸ニハ忠清南道ノ沃野ヲ控ヘテ居リマス、即チ米穀ノ集散地トシテ朝鮮ニ於テハ勿論、我國ニ於テモ殆ド他ニ類例ノ無イ盛ナル港デアリマス、然ルニ開港以來今日ニ至ルマデ二十四箇年ノ歲月ヲ經テ居リマスガ、不幸ニシテ此港ノ修築ニ對シマシテハ、韓國政府時代カラ所謂併合以來今日ニ至リマシテ、此港ノ修築ニ對シテハ何等ノ施設モ見ナイノデアリマス、唯僅ニ二十數萬圓ノ金ヲ投ジタ外、何等ノ施設モ見ナイト云フ有様デアリマス、今ヤ此港ノ貿易ハ殊ニ大正十一年度ニ至リマシテ、三千四百六十萬圓ト云フ巨額ニ上ツテ居リマス、而モ米穀ハ殆ド一箇年八十萬石ヲ輸出スル盛況ニ立ツテ居リマス、斯様ナ盛況デアリマスガ故ニ、

政府ハ一日モ速ニ此群山港ノ修築ヲ國營ト致シマシテ、而シテ之ニ依ッテ朝鮮ノ産業及一般ノ開發ニ資セラル、コトガ、最モ適切ナル方策デハナイカト考ヘルノデアリマス、ドウカス様ナル理由デアリマスガ故ニ、滿場ノ御賛成ヲ仰グ次第デアリマス

次テ本案ハ阪上貞信君外四名提出植民政策確立ニ關スル建議案(三三)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(二八)參看)

一三五 立山連峰ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案

富山縣立山連峰ヲ中心トスル國立公園ヲ政府ニ於テ速ニ設定セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十三日廣瀨鎮之君外四名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(廣瀨鎮之君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

諸君近年頻ニ國立公園ト云フ聲ガ盛ニナリマシテ、我ガ國民ノ身心ヲ養ハンガ爲ニ、最モ時代の施設デアラウト考ヘルノデアリマス、私共ハ茲ニ立山彌陀ヶ原ニ於テ新ニ最モ適當ナル新候補地ヲ得マシタノデ、茲ニ諸君ニ御紹介スルト申スコトハ、洵ニ喜ブベキ次第デアラウト考ヘルノデアリマス、立山ノ彌陀ヶ原ト申シマス所ハ、廣袤六里許リアル所デゴサイマシテ、四千尺ヨリ八

尺ニ至ル間ノ一大平原デアリマス 其間ニハ獅子ヶ鼻ト稱名瀧、五色ヶ原其他非常ナル面白イ奇蹟ガアルノデアリマス、最モ公園トシテ適當ナ所デアラウト思フノデアリマス、殊ニ近年非常ニ「スキー」ガ流行致シマスガ、此所ガ春夏秋冬「スキー」ニ適スル所デアリマス、四千尺ヨリ八千尺ニ至ル曠原デアリマスカラ、六月ヨリ四千尺ノ所ニ行キマシテ、八九月ニナルト七千尺、八千尺ノ所ヘ行キマスト、四時「スキー」ノ出來ル所デアリマス、斯ノ如ク適當ナル所ハ瑞西ヨリ外ニハ世界ニ於テ類ノ無イ所デアアルサウデアリマス、最モ此節ノ運動ト致シテハ、適當ナル「スキー」ノ箇所デアルト申スコトデアリマス、其他到ル處溫泉ガアリマス、尙又下界ニ於テ見ルコトノ出來ナイ地獄谷ト云フ所ガアル、是ハ春夏秋冬共ニ硫黄ヲ噴出シテ、其壯觀、實ニ言フベカラザル奇蹟デアリマス、斯ノ如キ所ハ、洵ニ我ガ大國民ノ心身ヲ養フニ適當ナル所デアリマシテ、大正十年ニ朝香宮殿下ガ此地ニ御登山ニナリマシタ、實ニ此所ハ國立公園トシテ最モ價値アル所デアルト云フコトヲ唱ヘラレタト申スコトデアリマス、斯ノ如キ勝地デアリマス、御賛成下サレマシテ、ドウゾ可決セラレンコトヲ望ミマス

次テ本案ハ日野辰次君外三名提出霧島山國立公園設置ニ關スル建議案(九)外十件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ (議事ノ經過及結果ハ本項(九)參看)

一三六 青森築港國營ニ關スル建議案

政府ハ青森港ニ對シ第一種ノ資格ヲ與ヘ國費ヲ以テ速ニ擴張工事ヲ加ヘラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十二年二月二十四日北山一郎君外十二名之ヲ提出ス三月十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者(北山一郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

青森築港國營ニ關スル建議案、本案ニハ幾多ノ理由ヲ持ッテ居リマスルガ、極テ簡單ニ其要點ヲ申述ベテ見タイト思ヒマス、青森港ハ日本ノ三大連絡ノ一ツデアリマス、三大連絡ト申シマスレバ、御承知ノ如ク關釜連絡、關門連絡、青函連絡、此三ツニナッテ居リマスルガ、朝鮮ニ於キマシテノ釜山ノ如キモ是ハ國費ヲ以テ修築ヲ加ヘラレテ居リマス、又下關ノ海岸整理、門司ノ築港ノ如キモ、是ハ國費ヲ以テ修築ガ加ヘラレツ、アルノデアリマス、然ルニ等シク其連絡ノ上ニ於テ資格ヲ同ジウシテ居ル所ノ青森ト函館ノ連絡、此青森ニ對シマシテハ地方事業トシテ此港ハ經營サレテ居ルノデアリマス、然ルニ又函館ノ方ハ如何デアアルカト申シマスレバ、是レハ拓殖費即チ國費ヲ以テ修築ヲ加ヘラレテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク青森連絡ナルモノハ一方ノ北海道ニ屬スル地點ハ國費支辨ニナッテ居リマシテ、青森ノ部分ハ地方事業ト云フコトニナッテ居リマシテ、寔ニ公平ヲ缺イタル所ノ結果ニナッテ居ルノデゴザイマス、是ハ私共ノ最モ遺憾トスル所デアリマシテ、願クハ日本ノ全體ノ上ヨリ見マシテ、此重要ナル所ノ連絡地點ハ同一ノ取扱ヲ以テ、矢張國庫ノ支辨ト致シテ貫ヒタイト云フ希望デアアルノデアリマス、尙又我帝國ノ全體ヨリ見マシテ、東北地方ニハ未ダ一ツノ國營ノ港ガナイノデアリマス、即チ國費ヲ以テ經營シツ、アル所ノ港ハ一モナイノデアリマス、之ヲ關東ニ致シマスレバ横濱ノ如キ、之ヲ關西ニ致シマスレバ神戸若クハ下ノ關、門司ノ如キ、之ヲ北陸地方ニ致シマスレバ敦賀ノ如キ、何レモ國費ヲ以テ支辨セラレテ居リマスルガ、未ダ曾テ我が東北地方ニハ一ツモ國費支辨ノ港ハ無イト云フコトハ非常ニ不公平ナコトデアリマシテ、吾々ハ之ヲ遺憾トスルノミナラス、或意味ニ於テ一種ノ虐待デアアルマイカト思フ程ニ感ジテ居ル次第デアリマス、所デ青森港ノ外國貿易、即チ政府當局ガ國費支辨ノ資格ヲ與ヘル所ノ條件ト致シテ居ル所ノ外國貿易ノ狀況ハ如何デアアルカト申シマス

レバ、青森港ニ於ケル最近五箇年ノ貿易ハ約六十倍ニ達スルノ結果ヲ示シテ居リマシテ、函館ノ稅關ノ管轄内ニ於キマシテ、其「パーセント」ガ第一位ヲ占メテ居ルノデアリマス、是ハ函館稅關ノ發表スル所ノ統計ニ依ッテ判然タルモノデアリマス、所ガ現在ノ青森ノ築港ノ狀態ガ如何デアアルカト申シマスレバ、アノ地點ヲ御通過ニナツタ方、ガ御覽ノ通りデアリマシテ、其規模ハ甚ダ狭少デアリマシテ、總面積ハ僅ニ四萬一千七百坪ニ過ギナイノデアアル、隨テ單ニ此鐵道連絡船ヲ入レルダケデアリマシテ、其他ノ一般商船ハ悉ク港外ニ碇泊シナケレバナラヌト云フ所ノ遺憾ヲ持ッテ居ルノデアリマス、然ルニ築港ノ規模ハ狭小ナルノニ加ヘマシテ、西防波堤ト云フモノハ稍比較的完全デアリマスルガ、東防波堤ガアリマセヌノデ、屢東風ガ襲ヒ來リマシテ、現ニ昨年ノ一月築港内ニ於キマシテ、大小ノ雜船ガ十六艘沈没シタト云フ事實ガアッタノデゴザヤマ、右様ナ次第デアリマシテ本州北端ノ、而モ東北本線ト奥羽線ノ二大鐵道ノ幹線ノ終點トナッテ居リマスル形勝ノ地ヲ占メテ居ル所ノ青森ノ港ヲ完全ニ利用スルコトガ出來ナイト云フコトハ、洵ニ遺憾ナ次第デアリマスルカラ、ドウカ北日本ノ發展ノ爲ニ陸上交通ト海運ノ連絡ヲ完全ナラシメテ、將ニ勃興シツ、アル所ノ機運ニ應ズル爲ニ、願ハクハ之ニ向ッテ國費ヲ以テ修築ヲ加ヘ、同時ニ此港ヲ第一種ノ港ノ資格ニ繰上ゲマシテ、速ニ其擴張工事ヲ進メラレンコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、願ハクハ滿場ノ御審議ヲ得マシテ、御贊成ノ上本案ノ通過セラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

次テ本案ハ阿部武智雄君外八名提出北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(六五)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(六五)參看)

一三七 宮城縣中央山手線鐵道敷設ニ關スル建議案

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

宮崎縣中央山手線鐵道ハ宮崎縣下南那珂郡油津港ヲ起點トシ同郡飯肥宮崎郡田野驛、東諸縣郡高岡本庄兒湯郡妻町驛ヲ經テ日豐本線都農驛ニ達スル約六十哩ノ鐵道ナリ本鐵道線ハ宮崎縣ノ中央ニ位スル林産農産畜産其ノ他ノ物資極メテ豐富ナル四郡十八箇町村ヲ縱貫シ宮崎本線宮崎小林間未成線日肥線各鐵道ト交叉シ海港並既設線トヲ連絡スルモノニシテ之ヲ國家的見地ヨリスルモ地方産業並文化ノ開發上ヨリ見ルモ極メテ重要且緊急ナル線路ナリ依テ政府ハ速ニ之カ調査ヲ爲シ其ノ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十四日陣軍吉君外一名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ十三日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日日本案及(一九六)、(二二三六)、(二二三七)案ノ四案ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長原田十衛君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

此席ヨリ御許ヲ願ヒマス、宮崎縣中央山手線鐵道敷設ニ關スル建議案、是ハ約六十哩バカリノ鐵道デアリマス、ソレカラ森四日市間鐵道、是ハ約二十四哩ノ鐵道デアリマスルガ、此二線路ニ對シマシテハ政府ニ於キマシテモ有望ナ線路デアアル、將來敷設ノ必要ヲ認ムルニ至ルデアラウト云フコトデアリマス、又大直鐵道竹田三田井間鐵道、此二線ハ何レモ第四十四及第四十五議會ニ於キマシテ、滿場一致ニ依ッテ本建議案ガ通過サレタ案デアリマシテ、之ニ對シマシテハ別段質疑應答モナカッタノデアリマス、斯様ニ致シマシテ此四案共ニ審議ヲ重ネマシテ滿場一致可決致シマシタ、此段御報告申上ゲマス

院議異議ナク各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一三八 四國九州間海底電話開通ニ關スル建議案

政府ハ四國九州間ニ海底電線ヲ沈設シテ電話ヲ開通シ以テ四國九州間ノ通信ノ便ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十四日矢野丑乙君外三名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(矢野丑乙君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

近時交通機關ガ非常ニ進歩シテ參リマシタニ付キマシテ、通信ノ機關ガ之ニ伴ハナクテハナラ

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

スト考ヘマス、通信機關モ非常ニ進ンデ參リマシタガ、四國ト九州ノ間ニハ、遺憾ナガラ唯一本ノ電信線ガアルノミデアリマシテ、電話ノ開通ハ無イト云フコトハ、四國九州兩島民ト云フ者ガ非常ナ不便ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、此間ハ僅カ七哩デアリマシテ、豫算ニ組ミマスト松山カラ大分マデ通ズルノガ、僅ニ六十萬圓位デ完全ナモノガ出來ルト云フコトデアリマシテ、金高モ大シタ事デモナイヤウニ考ヘテ居リマス、故ニ速ニ此海底電話ヲ拵ヘテ、四國ト九州ノ間ノ通信機關ヲ完全ニシテ戴キタイト云フノガ本案ノ趣旨デアリマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ木下甚三郎君提出電信線電話線建設條例第六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案(四)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(一一八)參看)

一三九 農業倉庫普及充實ニ關スル建議案

農業倉庫ハ農村ノ金融小農ノ保護米價ノ安定等機關トシテ農村振興上必須ノ施設ナリ政府ハ宜シク農業倉庫ノ補助金増額ヲ爲シ以テ其ノ普及充實ヲ圖ルヘシ

右建議ス

右ハ十二年二月二十四日井上角五郎君外十名之ヲ提出ス三月九日本案ヲ院議ニ付シ提出者(井上

角五郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ノ説明ヲ致シマス、本案ハ即チ農業倉庫ノ充實普及ヲ圖ルモノデアリマシテ、現ニ成立シテ居ル所ノ米穀法案ヲ實行スル上ニ於キマシテモ、政府カラ申シマシテモ、亦國民カラ申シマシテモ、此倉庫ハ必要ナルモノデアアルノデアリマス、米其他ノ農産ノ價格ヲ維持スル上ニ於キマシテ農村ニ倉庫ノ必要ナルコトハ申スマデモナキ事デアリマス、又此農業倉庫ハ即チ低利資金ヲ運用致シマス上ニ於キマシテモ最モ必要ナルモノデアリマシテ、當ニ農産ノ價格ヲ維持スルガ爲ニ必要ナルノミナラズ、農家ガ購入スル所ノ農具其他ノモノ、價格ヲ、相當ナル程度ニ買入レ得ルト云フコトノ爲ニモ、倉庫ガ無クテハナラヌノデアリマス、言換レバ倉庫ハ農村ノ經濟思想ヲ發達セシメ、其經濟ノ便宜ヲ得セシムルガ爲ニ最モ必要ナルモノデアアルノデアリマス、又農村ノ金融組合組織ヲ發達セシメ、又現ニ衆議院ヲ通過シテ今貴族院ノ議ニ上ツテ居ル所ノ中央倉庫ノ彼ノ制度ヲ實行スル場合ニ當リマシテ最モ農業倉庫ハ必要ナルデアリマシテ、所謂普通ノ農民ヲシテ對物金融ヲ得セシムルノ途ハ、唯一農業倉庫アルノミト云フコトガ言ヘルノデアリマス、農業倉庫ノ普及充實ハ極テ必要ナルモノデアリマシテ、過日革新俱樂部ノ諸君、憲政會ノ諸君、又庚申俱樂部ノ諸君、竝ニ我が政友會ノ人々ガ共ニ一箇所ニ寄りマシテ、種々調査協議ヲ遂ゲタ末、只今ノ政府ガ十二年度ノ豫算ノ中ニ、農商務省ノ所管ニ於テ倉庫補助額二十萬圓ヲ要求シテ居リマス、此二十萬圓ハ即チ一府縣平均約四千二百五十圓ニナルノデアリマスガ、吾々ハ之ヲ以テ足レリトセズ、更ニ大正十二年度ニ於テハ八十二萬千二百二十五圓ヲ追加要求セシメ、大正十三年度ノ豫算トシテ百二萬千二百二十五圓ヲ其時ニ至ツテ要求セシムルコトニシタイ、是ガ即チ各聯合ノ調査ニナツタ所ノモノデアアルノデアリマス、其理由ハ政府ハ曩ニ大正六年ニ於キマシテ、今後十箇年間ニ全國總テ三箇町村ニ一棟ヅ、ノ庫ヲ造ラウ、即チ合計シテ二千四百棟ヲ十箇年間ニ造ルト云フコトヲ政府ガ極メマシテ、大正十年ノ十二月マデニ出來タモノガ千二百三十三棟アリマス、今後造ルベキモノガ千六百六十七棟ゴザイマシテ、政府ノ豫定ニ依レバ約四年掛ルノデアリマスガ、吾々ハ農村ノ振興ノ必要ナルコトヲ考ヘマシテ、先ヅ第一二四年デ成功スベキ倉庫

ヲ二年デ成功シタイト云フノガ第一ノ希望デアリマス、ソレガ爲ニ四年分ノ豫算ヲ二年分ニ繰上ゲタ譯デアリマス、第二ニハ當時大正六年ノ政府ノ補助ノ方法ハ、倉庫一棟ノ建設費用ヲ一坪五十圓ト見マシテ、五十圓ノ二割十圓ヲ補助スルコトニナツテ居リマス、今日尙ホ政府ハ一坪ニ付テ十圓ヲ補助スルノ割合ヲ以テ支出ヲ致シテ居リマシタケレドモ、物價ノ騰貴ハ説明ヲ要セズ、即チ明瞭ナル事實デアリマシテ、今日ハ前日五十圓ト見積ッタモノガ百圓ヲ要スルト云フコトハ已ムヲ得ナイノデアリマス、ソレノミナラズ既往ニ出來マシタモノハ農村トシテ割合ニ發達シ、若クハ餘裕アル者ガソレト建テ、居リマスガ、今殘ッテ居ルモノニシテ之ヲ建テシメルト云フコトハ、値段ハ既ニ高クナツテ居ルシ、農村ノ力ハ弱イノデアリマスカラ、吾々ハ百圓ト云フノハ假一坪七十圓ト看做シテ、其五割約三十五圓ヲ政府ヲシテ補助セシメヤウ、即チ補助金額ヲ増加シテ、且ツ年度ヲ繰上ゲテ倉庫ヲ完成シヤウト云フコトヲ吾々ハ考ヘタノデゴザイマス、諸君ニ深く御考慮ヲ煩ハシタイノハ、農業倉庫ノ如キモノハ、或ル場所ニハ有リ、或ル場所ニハ無イト云フヤウナコトデハ、農産物ノ價格ヲ維持シ、農業ノ發達ヲ圖ルト云フコトニ效用ヲ持チマセヌ、此土地デハ幸ニ農業倉庫ガアリ、幸ニ金融ガ調ッテ居ルカラ、米ガ出來ルト直グニ徒ニ賣ルト云フヤウナコトハシタイト云フ地方ガ假リニアリマシタ所ガ、其他ノ地方ニ於テ然ル事ヲ得ナイ、所謂衰耗シタル農村ガアリマシタナラバ、折角多少ノ餘裕アル農村モ之ニ伴レラレテ、矢張米價ノ下落ニ苦シマザルヲ得ナイノデアリマス、即チ農村總テヲシテ振興セシムルト云フコトガ必要ナリト思ヒマスノデ、今出來テ居ナイモノヲ總テ二年内ニ竣工サセタイト云フノガ、此建議案ノ趣意デアリマシテ、憲政會、革新俱樂部、庚申俱樂部、又我が政友會ノ有志ノ人々ヨリ聯合シテ提出シタ案デゴザイマス、願クバ御賛成アラントラ希望シマス

次テ本案ハ安達謙藏君外四名提出農村振興ニ關スル建議案(四七)外九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(二)參看)

一四〇 都市計畫事業費國庫補助ニ關スル建議案

政府ハ曩ニ都市ニ於ケル交通衛生保安等ノ施設ヲ完備セシメムカ爲都市計畫法ヲ發布シ之ニ伴フ法制ヲ布キ著々計畫調査ノ歩ヲ進メツツアルモ之カ費用ハ一ニ地方團體ヲシテ負擔セシムルノ方針ヲ取レリ而モ地方財政ハ今ヤ全ク窮迫シ財源涸渴ノ狀況ニアルヲ以テ未タ其ノ事業ノ進捗ヲ見ス洵ニ遺憾トスル所ナリ政府ハ宜シク此ノ現狀ニ鑑ミ本事業完成ヲ期セシムルニ足ルヘキ國庫補助ヲ與フルヲ急務ナリト信ス

右建議ス

右ハ十二年二月二十四日鳩山一郎君外五名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ濱田國松君外八名提出市制中改正法律案(三七)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(九九)參看)

一四一 科學研究機關統一ニ關スル建議案

政府ハ各省並民間ニ散在スル各種ノ科學研究機關ヲ整理統一シ以テ産業立國ノ基礎ヲ確立スヘシ

右建議ス

右ハ十二年二月二十四日近藤達兒君之ヲ提出ス三月十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

私ハ本案ノ提出者ト致シマシテ極テ簡單ニ提出ノ理由ヲ説明致シマス、凡ソ産業ノ發達ガ科學的知識ノ進歩ニ俟ツモノデアルト云フコトハ申ス迄モナイ次第デアリマス、單リ産業ノ發展ノミナラズ、歐洲戰亂ニ於キマシテ戰爭ニ參加致シマシタル列國ガ、有ユル方面ニ向ッテ最新科學ノ知識ヲ應用致シマシタル點カラ見マスレバ、蓋シ國防ノ要諦亦此ニ存スルト云フコトハ申ス迄モナイ次第デアラウト存ジマス、然ルニ現時我國ニ於ケル所ノ産業ノ有様ヲ見マスレド、先進諸國ノ鑿ニ倣ウテ徒ニ之ヲ模倣シ、唯其後塵ヲ拜スルニ過ギザル有様デアアルデアリマス、此ルニ今ヤ世界ノ大勢ハ武力戰ヨリ一轉致シマシテ、産業戰ニ移リツ、アルノデアリマス、此方リマシテ我國ガ歐米ノ先進諸國ノ間ニ介在致シマシテ其地位ヲ維持シ、其國力ヲ伸張セント努メマスルニハ、須クカヲ科學ノ研究ニ致サネバナラヌト考ヘルモノデアリマス、我が政府ニ於キマシテハ、曩ニ輸出品検査所ヲ設ケラレマシテ、此制度ニ依ッテ産業ノ發展ヲ圖ラント企テラレタノデアリマスガ、斯ノ如キハ徒ニ其根ニ培ハズシテ其枝ヲ矯メントスルノ類ニ過ギナイノデアリマス、之ガ爲ニ歐米列國ノ低廉ニシテ而モ精巧ナル所ノ製品ハ、我が製産品ヲ壓倒致シマシ

テ、之ガ爲ニ、今日我國ノ産業ハ倍々萎靡衰頹ヲ極メントシテ居ル有様デアリマス、此時ニ方リマシテ、我國ノ科學的研究機關ノ有様ハ如何デアアルカト顧ミマスレバ、官業ト云ハズ、民業ト云ハズ、各種ノ方面ニ幾多ノ研究機關ハ設ケラレテ居リマスルガ、而モ此間ニ何等ノ聯絡關係無ク、各一方ニ割據致シテ居ル有様デアアルデアリマス、譬ヘテ見マスレバ、文部省ノ所管ニ屬スル所ノ榮養研究所、或ハ農商務省ニ於キマシテ多額ノ補助金ヲ與フル所ノ理化學研究所、若クハ衛生試驗所、是等ノモノ、其他飛行機ノ研究ニ致シマシテモ、陸海軍各一方ニ割據致シ、又別ニ帝國大學ニ於テ是ガ研究ニ從事致シテ居ルト云フ有様デアリマス、其他民間ニ於キマシテモ、此種ノ研究所ハ幾多存在致シテ居リマスカ、而モ此間ニ何等ノ聯絡關係ガ存在シテ居ラヌ爲ニ、各其研究致シマシタ所ノ結果對比攻究致シマシテ是ガ大成ヲ企ツル途ト云フモノガ餘リ開ケテ居ラヌノデアリマス、ソレ故ニ此際政府ハ是等官民ノ間ニ存在スル所ノ各種各様ニ互ル幾多ノ科學研究機關ヲ統一一致シマシテ、秩序アリ而モ脈絡アル所ノ統一的ノ機關ヲ造ルト云フコトハ、我國ノ現狀ニ照シマシテ最モ必要ナリト考ヘマシテ、本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、御卒御贊同アラシコトヲ希望致シマス

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十五日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末表題ヲ「理化學研究機關連絡ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

理化學研究機關連絡ニ關スル建議

政府ハ官公署並民間ニ散在スル個々ノ理化學研究機關ニ對シ相當ノ整理連絡ヲ圖リ以テ其ノ目

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

二千二百四十九

的ノ達成ヲ促進スヘシ
右建議ス

三月二十七日日本案及(二〇五)案ノ二案ヲ一括シテ院議ニ付シ理事柿原政一郎君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

此席ヨリ報告申上ゲマス、第六十二、科學研究機關統一ニ關スル建議案ハ、提出者ノ説明ヲ聽キ其申出ニ依リマシテ、理化學研究機關連絡ニ關スル建議案ト訂正、尙ホ建議案ノ趣旨ニ依リマシテ「政府ハ官公署並民間ニ散在スル個々ノ理化學研究機關ニ對シ相當ノ整理連絡ヲ圖リ以テ其ノ目的ノ達成ヲ促進スヘシ」ト訂正セラレマシタノデ、委員會ハ三回開會シテ審議ヲ盡シマシテ、修正ノ通りニ可決致シマシタ、日程第六十三、長野縣南安曇郡ニ特用作物試驗場設置ニ關スル建議案ハ、矢張提案者ヨリ長野縣南安曇郡ト云フ字ヲ削リ、其他本問題ニ於キマシテ、二三ノ修正ヲ施スヤウニ申出ガアリマシテ、字句ノ修正ヲ致シマシテ、委員會ハ可決致シマシタ、右御報告申上ゲマス

院議異議ナク各委員會報告ノ通修正議決ヲ爲シ即日之ヲ政府ニ呈出リ

一四二 滿洲中央銀行設置ニ關スル建議案

滿洲經濟界ハ既ニ長足ノ進歩ヲ遂ケ將來ノ發展亦益見ルヘキモノアラムトス此ノ時ニ際シ既設金融機關トシテ橫濱正金銀行朝鮮銀行東洋拓殖會社其ノ他數十ノ銀行會社アリト雖其ノ間何等

ノ脈絡ナク亦統一ナシ而モ各銀行會社尙レモ其ノ權限資力並經營方針ニ於テ缺陷少カラス以テ膨脹セル今日ノ滿洲經濟界ヲ負ス擔ルニ足ルナシ即チ政府ハ現下ノ狀勢ニ鑑ミ滿洲將來ノ經濟的發展ニ資セムカ爲茲ニ一大英斷ヲ以テ滿洲中央銀行ヲ設置セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年二月二十四日松野鶴平君外六名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(上塚司君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ他ノ案ト多少其趣ヲ異ニ致シテ居リマスルカラ、議案輻湊ノ際甚タ恐縮デアリマスルガ、暫ク御清聽ヲ煩シマス、本案ハ滿蒙經濟發展ノ現狀ニ鑑ミマシテ、經濟組織ノ動脈デアリマスル中樞金融機關ヲ設置致シマシテ、滿蒙ニ於キマシテ日支兩國ノ經濟的發展ヲ助長シ、且ツ金融上ノ缺陷ヲ補ハントスルノデアリマス、滿洲ニ於キマシテ有力ナル中心の金融機關ヲ設クルノ必要アリマスルコトハ、既ニ十數年前滿鐵設立ノ際ニ於キマシテ、其定款原案ニ金融兼營ノ一項デアリマシタニ徵シマスルモ明カデアリマス、唯金融業ハ他ノ雜駁ナル事業ト其趣ヲ異ニ致シテ居リマスルカラシテ、他ノ事業ト共ニ兼營スベカラズト云フ主張ノ下ニ此項目ハ其後削除致サレタノデアリトス、然ルニ其後大正四年五月臨前議會ニ於キマシテ、滿蒙銀行設立ニ關スル建議案ヲ通過致シマシタ、翌年二月通常議會ニ於キマシテ、政府ハ滿洲銀行法案ヲ提出致シマシタ、此案ハ當時衆議院ヲ通過致シマシタガ、貴族院ニ於キマシテ審議未了ニ終ツタノデアリマス、爾來年ヲ經マサルコト七年、其間歐洲大戰ノ影響ヲ受ケマシテ、滿洲ノ經濟界ハ著シク膨脹致シマシタ、政府ハ此大勢ニ策應致シマス爲ニ、從來爲替金融機關トシテ活動致シマシタ正金銀行ノ外

ニ、新ニ朝鮮銀行ヲシテ滿洲ニ進出セシメ、以テ滿洲ニ中央銀行的業務ヲ代理セシメタノデアリ
 マス、又東拓ヲ導キマシテ、殖産興業資本金ノ融通ニ當ラシメタノデアリマス、吾々ハ此ニ三大機
 關ノ成立ニ依リマシテ、各其機能ヲ發揮シテ、以テ滿洲經濟界ノ斷エザル膨脹ニ對シマシテ、十
 分ニ策應スベキコトヲ期待致シタノデアリマス、然ルニ其後ノ情勢ヲ見マスルニ、其實際ハ大ニ
 吾々ノ期待ヲ裏切り、是等ニ三大機關ノ中、正金ハ爲替機關デアリマスカラ姑ク別ト致シマシテ、
 他ノ二機關ノ減資致シマシタル機能ニ至リマシテハ、滿洲ノ經濟、産業發達ノ趨勢ニ對シテ、頗
 ル追隨セザルノ憾ミガアルノデアリマス、殊ニ大正九年三月財界恐慌以後ニ執リマシタル兩銀
 ノ態度ハ、甚シク妥當ヲ缺キマシテ、滿洲財界混亂ノ時ニ際シマシテ、當然ノ影響以上擾亂セシ
 メマシタルコトハ、吾々ノ今尙ホ遺憾ト致シテ居ル所デアリマス、乃チ朝鮮銀行ガ滿洲ニ進出シ
 來リマシテ、大正七年一月ニ至リ國庫金取扱事務ヲ開始シマシテ、正金銀行ニ代ッテ金券發行權
 ヲ得マシテ、大活動ヲ開始致シマスルヤ、其事業ハ日々發展シマシテ、幾日ナラズシテ滿洲西伯
 利ノ到ル處ニ支店出張所ヲ設ケマシテ、正ニ滿洲金融界ノ霸王タルノ感ガアツタノデアリマス、
 此時ニ於キマシテ鮮銀ハ自ラ滿洲ニ於ケル中央銀行タルヲ標榜致シマシテ、盛ニ自家發行ノ金
 券ヲ流布致シタノデアリマスルガ、一タビ顧ミマシテ其爲ス所ヲ見トスルト、意外ニモ其本分ヲ
 忘レ、當初ノ聲明ヲ裏切り、抱負、施設、共ニ一地方銀行ト異ナル所ナク、滿洲財界ノ興廢ヲ身ニ
 背負ウテ立ツノ親銀行タルノ權威ト温情トヲ有セズ、從テ利己的ニシテ、大小ノ舉措悉ク一小地
 方銀行ノ如クデアリマシタ所ノモノハ、世人ノ非常ニ失望シタ所デアリマス、次ニ東拓ハ興業金
 融機關ト致シマシテ、奉天、哈爾濱、大連等、滿洲ノ首腦地ニ進出致シマシタガ、同社ノ現狀ハ朝
 鮮ニ多大ノ力ヲ致シマシテ、最近ニ於キマシテ山東其他ノ方面ニ、事業上ノ發展ヲ致シマスト共
 ニ、滿洲ニ於キマスル放資ハ、殆ド休止ノ状態ニ在ルノデアリマス、斯様ナ事柄ハ其由來スル所
 甚ダ多イノデアリマスガ、是等ノ金融機關ガ何レモ其本據ヲ滿洲以外ノ地ニ持ッテ居リマスル故
 ニ、滿洲ニ對シマシテ先天的ニ中樞的責任ヲ感ゼズ、滿洲ノ根據地トノ間ニ自ラ營業上ノ施設ニ
 主客ノ差等ヲ設ケマシテ、滿洲各地ニ在リマス支店出張所ハ、其ノ營上ノ方針ヲ、滿洲ノ現場ニ

遠イ所ノ本店ニ仰ギマシテ、滿洲ノ爲ニ懇切丁寧ニ適宜ノ措置ヲ遂行スル能ハザルニ由ル事ガ
 多イノデアリマス、是レ蓋シ其根本的錯誤ハ國法ノ行ハル、所ト、國法ノ行ハザル地域ト同一
 ニ視テ居ル矛盾ニ出ヅルノデアリマス、是レ實ニ我が財界金融機關制度ノ一大缺陷デアリマス、
 以上ノ如キ事情ヲ以チマシテ、大正九年度以來ハ再ビ此中央銀行設立ノ問題ガ非常ニ世上ニ高
 唱セラレマシテ、今ヤ滿洲ニ於ケル所ノ大輿論トナツテ居ルノデアリマス、現ニ前滿鐵社長デア
 リマスル早川氏ノ如キハ、自ラ率先致シマシテ其必要ヲ説キ、又關東廳當局ニ於キマシテモ其必
 要ヲ認メマシテ、經濟調査會ニ諮問致シマシテ、是ガ決定ヲ見テ居ルノデアリマス、又滿洲各地
 ノ商業會議所ノ如キモ幾度カ請願書ヲ提出致シマシテ、非常ニ熱烈ニ其設立ヲ希望致シテ居ル
 ノデアリマス、以上ノ狀況ニ鑑ミラレマシテ、政府ハ速ニ適當ナル案ヲ具シマシテ、滿洲中央銀
 行設立ヲ促進セシメラレンコトヲ希望致スノデアリマス、幸ニ慎重審議セラレマシテ、御賛成ヲ
 願ヒマス

次テ本案ハ阪上貞信君外四名提出植民政政策確立ニ關スル建議案(三三)外八件委員ニ併セ付託スル
 ニ決ス委員ハ審査ノ末本案ハ表題ヲ「滿洲ニ於ケル金融機關整備ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキ
 モノト決シ三月二十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

(小字及——ハ委員會修正)

滿洲中央銀行設置ニ關スル建議

滿洲經濟界ハ既ニ長足ノ進歩ヲ遂ケ將來ノ發展亦益見ルヘキモノアラムトス此ノ時ニ際シ既設
 金融機關トシテ橫濱正金銀行朝鮮銀行東洋拓殖會社其ノ地數十ノ銀行會社アリト雖其ノ間何等
 ノ脈絡ナク亦統一ナシ而モ各銀行會社何レモ其ノ權限資力並經濟方針ニ於テ缺陷少カラス以テ

膨脹セル今日滿洲經濟界ヲ負擔スルニ足ルナシ即チ政府ハ現下ノ狀勢ニ鑑ミ滿洲將來ノ經濟發
展ニ資セムカ爲茲ニ一大英斷ヲ以テ滿洲中央銀行ヲ設置セラレムコトヲ望ム
速ニ金融機關ノ整備ヲ爲サレムコトヲ望ム
右建議ス

三月二十二日議事日程ヲ變更シ本案ヲ院議ニ付シ委員長小山田信藏君ハ委員會ノ經過及結果ニ付
左ノ報告ヲ爲ス

滿洲中央銀行設置ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ委員會ニ
於テ提出者ヨリ其説明ヲ聽キマシタ所ガ、敢テ滿洲中央銀行設置ニ關スル限ッタ事デハナイノ
デス、最モ大ナル意味ニ於テ、現在及將來ニ於ケル滿洲ノ經濟金融機關調節ニ關スル設備設置ヲ
爲シタイト云フ趣旨ガ主ナル點デアリマス、又政府當局ニ於テモ滿洲ニ於ケル目下ノ……經濟
金融機關ニ付テハ相當ニ考慮中ダト云フコトデアリマス、仍テ松井欽夫君ヨリ本案ニ對シマシ
テ修正ノ動議ガ出マシタ、即チ滿洲ニ於ケル金融機關整備ニ關スル建議案ト修正シタイト云フ
意見デアリマシタ、又建議書ノ一部ヲ「茲ニ一大英斷ヲ以テ滿洲中央銀行ヲ設置セラレムコトヲ
望ム」ト云フノヲ、「速ニ金融機關ノ整備ヲ爲サレムコトヲ望ム」ト云フコトニ修正ヲ致シマシ
タ、又松野鶴平君ヨリ本案ニ對シマシテ希望條件ガ提出サレマシタ、即チ滿洲目下ノ狀況ニ鑑
ミ、政府ハ速ニ相當額ノ經理救濟資金ヲ支出スルコト、此委員會ニ於キマシテハ、此修正案並ニ
希望條件トモ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

院議異議ナク委員會報告ノ通修正議決ヲ爲シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一四三 鎮南浦築港速成ニ關スル建議案

鎮南浦ハ天與ノ良港ニシテ又西鮮唯一ノ吞吐港タリ近時產業ノ進展ト陸上交通機關ノ整備トニ
伴ヒ逐年集散物資ノ激增ヲ來シ出入船舶ノ數亦著シク増加スルニ至レリ同港ハ明治四十二年韓
國政府ニ於テ總工費豫算額五百四十餘萬圓内第一期工費百餘萬圓ヲ以テ開門式船渠ノ工ヲ起
シタルモ事半ニシテ韓國併合トナリ當初ノ計畫ニ一頓挫ヲ來シ大正四年三月未完成ノ儘竣工ノ
形式ヲ取ルニ至レルモノニシテ開門式船渠ヲ中途ヨリ開渠式ニ變更セシ結果ハ船渠内土砂ノ積
積甚シク爲ニ政府ハ年々十數萬圓ノ費ヲ浚渫ニ要シツツアルノ現狀ニ在リ今ヤ我カ國運ノ進展
ト共ニ朝鮮ノ產業亦益開發セラレムトスルニ方リ大工業地トシテ目セララル平壤ヲ控ヘ廣漠タ
ル沃野ヲ有スル平安南北並黃海ノ三道ヲ與地トシ近ク平元鐵道開通ノ曉ニ於テハ支那方面ト裏
日本並浦鹽方面トノ聯絡ニ對シテ仲繼港タルヘク大連港ト共ニ滿蒙開發ノ重大ナル使命ヲ有ス
ル鎮南浦港カ前記ノ如ク其ノ規模狹少且未完成ノ儘使用シ居レルヲ以テ其ノ岸壁ニハ僅ニ二隻
ノ汽船ヲ繫留シ得ルニ過キス爲ニ船舶輻湊ノ際ノ如キ沖待ヲ爲スモノ長キハ八十時間以上ニ及
フコトアリ或ハ入渠ノ目的ヲ達セスシテ港外ニ於テ解荷役ヲ爲スモノ尠カラス茲ニ益船渠ノ狹
隘ヲ痛感スルニ至リ之カ修築完成ハ洵ニ刻下ノ急務ナリト認ム而シテ本建議ハ第四十五回帝國
議會ニ於テ大多數ヲ以テ本院ヲ通過シタル事項ナリ依テ政府ハ速ニ適當ノ計畫ヲ樹テ之ニ要ス

第二章 議事

第四節 議案

第二款

議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

ル豫算案ヲ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十四日牧山耕藏君外一名之ヲ提出ス三月十日本案ヲ院議ニ付シ提出者(牧山耕藏君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

鎮南浦ハ西朝鮮ニ於ケル重要ナル港ト致シマシテ、明治四十二年韓國政府ノ時代ニ五百四十餘萬圓ノ經費ヲ以テ、開門式船渠ノ計畫ヲ立テタノデアリマス、然ルニ工事半バニシテ日韓併合トナリマシテ、第一期工事費百餘萬圓ヲ投ジタノミニテ、未完成ノ儘竣工ノ形式ヲ執ツタデアリマス、サウシテ開門式ノ計畫ヲ中途ニシテ、開渠式ニ改メマシタ結果、大同江ノ遊泥ガ流レ込ミマシテ、政府ハ此港ノ浚渫ヲ致シマスル爲ニ、年々十數萬圓ノ國帑ヲ費シテ居ルト云フヤウナ状態デアリマス、所ガ近年非常ニ發展ヲ致シテ參リマシタ上、尙ホ大正十一年度ヨリハ平元鐵道ノ建設工事が開始サレマシタ、此鐵道ガ出來上リマシタ後ニ於テハ、鎮南浦ノ使命ハ更ニ一段ノ重キヲ加フルコトニ相成ルノデアリマス、即チ裏日本並ニ浦潮方面ヨリ平元鐵道ヲ經テ、中部支那トノ間一大幹線ガ描カレ、中繼港ト相成ルノデアリマスカラ、鎮南浦ノ使命ハ殊ニ重大ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、現状ノ如キ有様デアリマシテハ、到底港トシテノ用ヲ爲サヌノデアリマス、仍テ速ニ築港完成ノ計畫ヲ立テラル、コトノ必要ヲ認メマシテ、此案ヲ提出致シタ次第デアリマス、此案ハ既ニ昨四十五議會ニ提出ヲ致シマシテ、通過致シタノデアリマスカラ、ドウゾ皆サンノ御賛成ヲ得マシテ、一日モ速ニ竣成セラレンコトヲ希望シテ已マヌ次第デアリマス

次テ本案ハ阪上貞信君外四名提出植民政政策確立ニ關スル建議案(三三)外九件委員ニ併セ付託スル

ニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ二月二十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ハ本項(二八)參看)

一四四 婦人參政ニ關スル建議案

婦人ノ智能意思感情ヲ全然度外シタル政治ハ全社會全國家ノ幸福ト利益ヲ考慮シタル善良ナル政治ト謂フヘカラス婦人カ國ノ政治ヨリ遠サケラレ政治的要素トシテ認メラレサル間ハ遂ニ其ノ地位ヲ向上シ人格ヲ發達スル機會ヲ失ヒ長ク屈辱ト輕侮ヲ免ルル時ナシ從來婦人カ文明史上ニ重要ナル地位ヲ占ムルコト能ハサリシモノハ婦人ノ天賦ノ本質ノ然ラシムルニ非ス主トシテ教育及環境ノ結果ニ外ナラス女性トシテ人類社會國家ニ奉仕スル所ノ使命ハ固ヨリ男性ニ比シテ輕重貴賤ノ差異アルヘカラス婦人ヲシテ國家及法律ニ對シ男子ト同等ノ權利ヲ保有セシメ婦人ニ對スル不合理ナル各種ノ制限ヲ撤廢シ男子ト均等ノ境遇ニ立タシムルハ正義ト人道ノ義シキ要求ニシテ女性ノ完成ニ缺クヘカラサルノミナラス國家及民族ノ組織ヲ強大ナラシムル所以ナリ

世界大戰爭ニ依テ深刻ナル慘苦ヲ嘗メタル文明國民カ茲ニ醒覺スルトコロアリ婦人ノ參政權ヲ認容スルニ至リタルハ決シテ偶然ニアラス健強ナル國家ト純真ナル文化ハ男女均等協力ノ基礎

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

ノ上ニ建設セラレサルヘカラス政府ハ速ニ我カ國婦人ニ對シテモ參政權附與ノ制ヲ定メラレム
コトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十四日松本君平君之ヲ提出ス三月十三日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣
旨ヲ辯明セリ

諸君、本員ハ茲ニ婦人參政權ニ關スル建議案ヲ提出致シマシテ、諸君ノ御贊同ヲ得タイト思フノ
デアリマス、十九世紀ニ於テ最モ有名ナル哲學者デアリ且ツ經濟學者デアル「ジョン、スチュア
ード、ミル」ガ千八百六十八年今カラ丁度五十五年前ニ、英吉利ノ議會ニ婦人參政權ヲ提出致シ
マシタトキニ、其當時如何ニ此問題ガ英吉利ノ議會ニ於テ冷笑ヲ以テ迎ヘラレタカト云フコト
ハ、私モ承知シテ居ルコトデアリマス、本案ハ初テ當議會ニ現レタル所ノ議案デアリマシテ、此
帝國議會ガ如何ニ之ヲ取扱フカト云フコトハ、最モ興味アル大問題ト考ヘテ居ルノデアリマス、
此問題ガ如何ニナラウトモ、帝國議會ガ之ヲ否決シヤウトモ、或ハ之ヲ可決シヤウトモ、又如何
ナル迫害ヲ受ケルト致シマシテモ、此問題ハ未來ニ於テ大ナル光明ニ滿サレ、必ズ此議場ヲ通過
スヘキ運命ヲ持ッテ居ルト思フノデアリマス、何等カ諸君ガ必ズ此案ニ贊成ヲ表サナケレバナラ
ナイ時ガ來ルト自分ハ確信シテ居ルノデアリマス、故ニ此問題ヲ初メテ此處ニ提出シタル時ニ
於テハ、其意味ヲ十分ニ明瞭ニシテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス、元來此問題ハ普通選舉
ノ延長ノ問題デアリマシテ、本來ノ意味カラ言ッタナラバ、婦人參政權ト普通選舉ハ全然一致ス
ベキ所ノモノデアリマス、婦人參政權ノ目的ガ達セナケレバ眞ニ普通選舉ノ理想ニ到達シタト
云フコトハ言ヘナイモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、人類ハ總テ神ノ前ニハ平等デアアル如

ク、人間ガ人間トシテノ價值ハ平等デナケレバナラス、即チ人類ノ自由、平等、相愛ノ此大ナル精
神カラ茲ニ普通選舉ナルモノガ出發シテ來タモノデアラナラバ、婦人モ人トシテ國民トシテ、男
子ト異ル所ナク、男女ノ間ニハ差別待遇ヲ致サズ、女ト云フモノヲ特殊ナル人間トシテ取扱ハナ
イヤウニスルノガ、實ニ公明ナル態度デナケレバナラヌト自分ハ考ヘルノデアリマス、諸君歐洲
ノ戰爭ガ人類ニ多クノ政治的教訓ヲ與ヘタルコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、特ニ婦
人問題ニ於テ新シキ局面ヲ開展シテ來タノデアリマス、即チ從來ノ政治ノ組織ノ根柢ニ大キナ
ル缺陷ノ有ルコトヲ見テ、茲ニ婦人ニ自由ヲ與ヘ、政治的ニ之ヲ解放シテ參政ノ權ヲ與ヘナケレ
バナラヌト云フ大勢ヲ作ッタノデアリマス、世界ノ國民中ニ於テ最モ秩序ヲ尊ビ保守的傾向ヲ
持ッテ居ル所ノ英吉利ガ、婦人ニ參政權ヲ與ヘサウシテ今ハ九百萬ニ近イ所ノ婦人ガ選舉權ヲ持
ツヤウニナッテ居ルト云フコトハ諸君ノ知ラレル、所デアアル昨年未ノ總選舉ニ於テ保守黨ノ政府
「ボナーロー」氏ノ政策ヲ助ケテ現在ノ保守黨政府ヲ維持シタ者ハ、多クハ此婦人ノ投票デアッタ
ト云フコトヲ言ハレテ居ル、而シテ英吉利ニ於ケル非常ナル不安ノ政界ノ空氣ヲ安定スルコト
ニ與ッテ力ガアッタト云フコトハ事實デアリマス、又亞米利加モ既ニ四年前ニ於テ憲法ヲ改正シ
テ婦人ニ參政權ヲ與ヘ、婦人ハ完全ナル參政權ヲ得テ、サウシテ先年ノ大統領ノ選舉ニ於テハ
「レバプリカン」黨ノ政策ヲ婦人ガ助ケタルコトニ依ッテ、「ハージング」ガ大多數ノ投票ヲ得テ大
統領ニ選舉セラレタ、而シテ此「ハージング」ヲ動カシテ華盛頓ニ平和會議ヲ開カセタル所ノ主
モナル政治上ノ動力ハ婦人ノ團體デアッタト云フコトモ諸君ガ御承知ノコトデアリマス、今日世
界ノ運命ヲ支配スル所ノ大國民ノ政治的活動ニハ、其國ノ婦人ノ知識、感情、思想、斯ウ云フモノ
ガ織込マレテ其政治ガ新シキ文明ノ建設ノ爲ニ、人類ノ進歩ノ爲ニ驚クベキ貢獻ヲシテ居ルト
云フコトモ吾々ハ認メナケレバナラスノデアリマス、今日我國ノ婦人ノ狀態ヲ見テ、諸君ハ果シ
テ如何ナル感ヲ懷カレルノデアリマセウカ、人間ノ自由ハ徳性ノ中ニ於テ最モ貴キ生命デアアル、
其獨立ハ人生ニ於テノ最大ノ幸福デアアルガ、此大切ナル二ツノ自由ト獨立ト云フモノハ、今日ノ
我國ノ女性ニ於テハ認メルコトガ出來ナイノデアアル、許サレテ居ラナイノデアアル、主義ニ於テモ

現實ニ於テモ、此最モ大切ナル自由獨立ノ主義ハ、婦人ニハ認容サレテ居ラナイノデアリマス、今日ノ婦人ハ尙ホ依然トシテ昔ノ儘ナル、一言ニシテ言フタナラバ奴隸ノ状態ニ居ッテ、長キ間無智ノ境遇ニ置カレテサウシテ法律ヤ宗教ヤ道德ヤ總テノ周圍ガ此女性ニ盲目的服従ヲ要求シテ居ルノデアリマス、久シキ間虐ケラレタ、此女性ガ殆ド萎縮シタ日蔭ノ蕾ノ如ク、開ク力モ無イヤウナ状態ニ今日居ルノデアリマス、政治ノ方面ニ於テ之ヲ見タナラバドウデアアルカ、政治上ニ於テハ今日ノ女性ハ殆ド「ゼロ」デアアル、何等ノ力モ持タズ又何等ノ權威モ持ッテ居ラナイ、全ク政治ヨリ除外サレテ居ル、僅ニ昨年衆議院ニ於テ治安警察法ノ第五條ヲ改正シテ、婦人ガ政談ノ自由ヲ得タケケデ、ソレ以上ニ婦人ハ政治上ニ何物モ持ッテ居ラナイノデアアル、又法律ハ今日ノ日本ノ女性ヲドウ云フ風ニ取扱ッテ居ルカト云フト、全ク不公平ナル不條理ナル状態ニ女性ヲ置イテ居ルノデアアル、例ヘバ民法ヤ刑法ヲ見レバ能ク分ルノデアリマスガ、女子トシテハ相續權ニ於テ非常ナ不合理ナル立場ニ置カレテ居ルノデアアル、又妻トシテハ、離婚ノ條件ニ於テ、或ハ契約ノ能力ニ於テ或ハ、財産ノ管理ニ於テ、非常ニ不合理ノ状態ニ置カレテ居ル、又母トシテハドウデアアルカト云フト、親權ノ行使ニ對シテ男性ニ比シテ不合理ナル状態ニ置カレテ居ル、斯ノ如キ著シキ差別待遇ヲ法律上ニ於テ今日ノ女性ガ受ケナケレバナラヌト云フ原因ハ、何デアアルカト言ヘバ、ソレハ何デモナイ、唯女デアアルト云フガ爲ニ、斯ノ如キ差別、待遇ヲ受ケテ居ルト云フ状態デアリマス、更ニ私ハ此宗教ガドウ云フ状態ニ此女性ヲ導キ、婦人ヲ置イテ居ルカト云フトヲ一言言ハナケレバナラナイノデアアル、宗教ハ女性ニ對シテハ大ナル呪ヲ持ッテ居ル、佛教ハドウ云フ風ニ婦人ヲ取扱ッテ居ルカ、即チ女人ハ永生ノ地獄ヨリ免ル、コトハ出來ナイ、罪惡ノ根元ハ婦人デアアル、所謂七難五障ハ悉ク女性ヨリ來ッタモノデアアルト云フコトヲ論ジテ居ル、恰モ婦人ハ人間デナイ、惡魔「シンボル」デアアルガ如クニ佛教ガ之ヲ極論シテ居ルコトハ、釋迦ノ説イタ所ノ大菩薩經或ハ首楞嚴經或ハ涅槃經ヲ見レバ、ソノ中ニ此女性ニ關スル驚クベキ釋迦ノ考ヲ述ベテ、女性ニ對スル大ナル迫害ノ力ヲ振ッテ來タコトガ分ルノデアリマス、又講教モ同ジク孔子ノ説カレタ所ノ論語ヲ見テモ、女子ト小人トハ養ヒ難シ、即チ小人ト女ト云フモノヲ同

シ階級ノモノニ之ヲ取扱ッテ居ル、三從七去ノ説ニ依ッテ、長イ間婦人ノ服従ヲ要求シテ來テ居ルト云フコトガ、如何ニ此日本ノ道德ガ女性ト云フモノヲ壓迫シテ來タカト云フコトノ著シキ例デアリマス、斯ノ如ク數千年ノ間、總テノ方面カラ女性ハ壓迫ヲ受ケテ、獨立モ奪ハレ、自由モ許サレズ、殆ド絶望ノ状態ニ置カレテ來テ居ルノデアリマス、即チ現代ノ哀ナル婦人ノ地位、性質、思想、境遇ト云フモノハ、全ク此男性ノ都合ノ好イヤウニ宗教、法律、制度、是等ノモノニ依ッテ作り上ゲテ來タノデアリマス、諸君、國民ノ全半數ヲ占ムル所ノ女性ヲ、此哀ムベキ不合理ナル状態ニ置クト云フコトガ、果シテ正シイ事デアアルカ、或ハ正シカラザル事デアアルカ、是ガ此問題ノ中心デアリマス、暫ク男性ヲ本位トシタル所ノ地位ニヨリ離レテ、私ハ此問題ヲ「ヒユマニテイ」即チ人道ノ上カラ見、或ハ正義上カラ見テドウデアアルカト云フコトヲ吟味シテ見タイト思フノデアアル、女ハ果シテ人格ヲ持ッ所ノ人トシテ見ルベキカ、或ハ人格ノ無イ一ツノ貨物トシテ取扱フベキカ、今日ノ常識アル人ノ考ヨリ見タナラバ、無論婦人ハ人トシテ見ルベキコトニ異議ハナイノデアリマス、人格ノ無イ者ハ貨物デアリマス、婦人ヲ人格アル人トシテ認ムルナラバ、人間トシテノ義務ト權利ト云フモノモ認メザルヲ得ナイノデアリマス、此觀念カラシテ男女ノ平等ヲ認定シナケレバナラヌト思ヒマス、即チ男女ニ依リ性ノ區別ニ依ッテ差別待遇ヲシ、取扱ヲ異ニスルト云フコトハ不合理デアアル、勿論此男性女性ノ性ノ區別ト云フモノハ、之ヲ混同スルコトハ出來ナイ、男子ガ女子ノ領分ニ立入ルコトハ出來ナイガ如クニ、女子ガ男子ノ領分ニ這入ルコトモ出來ナイケレドモ、人類トシテ男子ニハ男子ノ尊キ使命ガアルガ如ク、女子ニモ女子ノ尊キ使命ガアルコトヲ認メネバナラヌ、人間トシテノ使命、男女兩性ノ價值ニ於テハ平等デアアル、其平等デアレバ、其間ニ貴賤上下ノ差別アルベキ筈ハナイノデアリマス、然ルニ女性ナルガ故ニ、婦人ナルガ故ニ、特殊ナル所ノ制限、或ハ束縛ヲ設クルト云フコトハ、正シカラザルモノ、不合理ノモノデアアルト謂ハナケレバナラナイノデアリマス、正義ト人道ノ觀念カラ見テ、從來ノ政治上ニ於ケル、法律上ニ於ケル、宗教上ニ於ケル、女子ニ關スル偏重ノ義務、束縛、是等ハ全ク不合理ナル、不正當ナルモノト斷言シナケレバナラナイ、又之ヲ改メテ行カナケレバナラナイト思

フ、是ハ正義ト人道ノ強キ要求デアリマス、婦人參政權ノ原則ハ此點カラ出發シテ來ルデアリマス、即チ參政權ノ要求ハ女モ人間デアアル、男モ人間デアアル、人間トシテノ使命ノ價值ニ於テハ男女平等デナケレバナラナイ、男ノミ國民デ、女ハ國民デナイト云フ理由ハ無イ、男ヲ國民ト認ムルナラバ、均シク女ヲモ國民ト認ミネバナラヌデアアル、婦人參政權ノ要求ハ女モ男モ同様ニ之ヲ國民ト認ムルノニアリマス、國民トシテ義務ヲ盡シ權利ヲ行ハントスル此要求ニ、眞ニ美シキ又正當ノ要求デアリマス、何人ガ之ニ對シテ拒ム所ノ權利ヲ持ッテ居ルノデアアルカ、人道ト正義ノ上カラ見マスレバ、婦人參政權ノ問題ニ對シテ、之ニ反對スベキ所ノ正當ノ理由ハ何モナイノデアリマス、然ルニ爰ニ或ル一種ノ反對論ガアリマス、婦人參政權ノ問題ハ、婦人自身ノ問題デアツテ、男ノ問題デハナイ、女ノ問題ハ女ニ任セテ置ケバ、宜イデハナイカ、且ツ此問題ハ僅ニ一部ノ婦人ノ要求デアツテ、一般婦人ノ要求デナイ、故ニ此問題ハマダ論ズルニハ早イト云フコトハ、蓋シ諸君方ノ仰シヤル所デアリマセウ、私ハ左様ニ之ヲ考ヘテ居ラナイノデ、此問題ハ左様ナ淺薄ナル問題デハナイノデアリマス、是ハ婦人ノ爲ノ婦人ノ問題デハナイ、國民全體ノ爲ニ考ヘナケレバナラナイ問題デアアル、更ニ民族全體ノ爲ニ考ヘナケレバナラナイ、問題デアリマス、若シ人類ノ進歩ト云フモノガ或ハ社會ノ發達ト云フモノガ、男女ノ協力ニ依ラナケレバナラナイモノデアラナラバ、婦人ガ人間トシテ向上スルカ否ヤト云フコトハ、是ハ婦人ダケノ問題デハナイ、是ハ決シテ婦人ダケノ問題デハアリマセウ、男子ガ劣等ナ女性ヲ協力者トシテ持ッコトハ、單ニ男子カラダケ言ッテモ是ハ、一大不幸デアリマス、女子ガ參政權ヲ要求スルトカ、セナイトカ云フコトハ、是ハ問題デハナイ即チ參政權ノ問題ハ婦人ヲ開放スルコトニ依ッテ、而シテ之ヲ政治ニ參加セシメルコトニ依ッテ、婦人ノ地位ヲ向上セシメ、サウシテ高キ人類ノ生活ニ導クト云フコトガ、即チ此問題ノ中心デアリマス、政治生活ハ多クノ人間ノ生活ニ於テ最モ中心問題デアリマス、婦人ガ結局政治ニ生キルデナケレバ、眞ニ其地位ヲ向上シ、人格ノ完成ヲ期スルトハ出來ナイト信ズルノデアリマス、故ニ此婦人ノ參政權ヲ要求スルト云フコトハ、ドウシテモ婦人ノ性格ヲ完成スル上ニ於テ、又其地位ヲ向上スル上ニ於テ先ヅ政治的ニ生キルト云フコト

ヲセナケレバナラナイト思フノデアリマス、第二ニハ斯ウ云フ反對ヲ唱ヘテ居ル、婦人ハ本質ニ於テ男子ニ比シテ劣等ナ者デアアル、體力ニ於テモ、能力ニ於テモ、共ニ男性ノ比デハナイ、故ニ婦人ハ永久ニ男子ニ屈從スベキ者デアアル、平等ナドアルベキモノデハナイ、又參政權ノ如キ婦人ニ政權ヲ許スト云フコトハ、間違ッテ居ル、斯ウ云フ反對ノ議論ヲ唱ヘル人ガアルノデアリマス、今日ノ議論ハ皆サウ言ッテ居ル、蓋シ諸君モ亦其一人デアラウト思フ、此議論、所謂女子輕蔑論ハ、今日一般ノ多クノ男性ノ人ガ考ヘテ居ル所ノ議論デアリマス、又古來ノ宗教モ多クハ此點ニ於テ高潮シテ居ルノデアリマス、曩ニ言フ所ノ釋迦ノ議論、孔子ノ議論、皆是デハナイカ、又近代ノ學者ニモ此說ヲ唱ヘル者ガ澤山アル、例ヘバ「シヨールベンハウエル」ノ如キ、或ハ「ニイチエ」ノ如キ、皆極端ニ此議論ヲ唱ヘル者デアリマス、是ガ實際ノ問題デアアル、天下是ヨリ外ニ實際ノ問題ガ何レノ地ニ在ル、近代ノ科學者ニシテ又醫者デアアル、殊ニ代表的ノ人物ト言ハル、獨逸ノ醫者「メービス」ト云フ人ガアリマス、此人ガ著シタ所ノ本ハ廣ク世界ニ傳播サレテ、女性輕蔑論者ノ殆ド代表的トナツテ居ルヤウナ次第デアリマス、其本ニ依ルト、女ハ男ニ比シテ腦ノ發育ガ悪イ、又女ハ知識的或ハ創造的能力ニ於テ遙ニ男ニ比シテ貧弱デアアル、又感覺ヤ機能ヤ其他ノ體ノ組織ガ不良デアツテ、障害ガ多イガ爲ニ、生理的ニ於テ此比較解剖學ヨリシテ女性ガ男性ヨリ遙ニ劣ッテ居ル、隨テ女性ガ男性ト同權ヲ求ムルコトハ、間違ッテ居ル、女ガ政權ヲ要求スルコトノ誤リデアルト云フコトヲ盛ニ唱ヘテ居ルノデアリマス、諸君ガ信ジナケレバ、私ハ知己ヲ得タリトシテ喜ブノデアアル、斯ノ如ク近頃ノ科學者ガ科學的事實ヲ基礎トシテ、婦人ノ低能デアアル、男女平等ガ不可能デアルト云フコトヲ盛ニ論ジテ居リマス、此論ハ誤ッテ居ルト思フ、力強キ科學的議論デハアルガ、其議論ハ大ナル誤リデアルト自分ハ信ジテ居ル、ソレハ「ジョン、ステュウ、ドミル」ガ既ニ論ジテ居ルガ如ク、女子ガ男子ニ劣ッテ居ルコトハ、ソレハ女子ノ本質デハナイ、長イ間男子ガ腕力的、濫用、女子ニ加ヘタル所ノ壓制ノ結果ガ、斯ノ如ク今日ノ女子ノ身體或ハ精神ニ於ケル所ノ劣等ヲ來シタルモノデアツテ、若シ此壓制ヨリ女子ヲ取離シテ解放シテ、サウシテ男女同等ノ發達ヲ遂ゲサセタナラバ、必ズ女子ハ男子ニ劣ラザル所ノ能力知識ヲ發達スル

コトガ出來ルト云フコトヲ既ニ「ミル」ハ論ジテ居ル、私ハ此方ガ正シキ議論デアリ、又斯クアルベキモノデアルト信ジテ居ルデアリマス、男ガ女ヲ征服シテ其支配者トナツテ、專制君主ノ如ク女子ニ臨ンデ以來、茲ニ數千年ノ歲月ヲ經テ居ル、此長キ間ニ於テ男子ノ優越ヲ保持スル爲ニ、女子ノ自由ヲ壓迫シ、サウシテ男性中心ノ法律制度ヲ作ツタデアリマスガ、此長キ壓制ノ間ニ女子ガ服從ト過勞ヲ要求サレタ結果、婦人ハ精神的ニ於テモ、肉體的ニ於テモ、其發達ガ阻害サレテ來タト云フコトハ疑ノナイ、事實デアルト自分ハ信ズル勿論男女兩性ヲ個々別々ニ比較シテ見タナラバ、婦人ノ中ニモ隨分男子ヨリ優レタル所ノ者ガアリマス、唐ノ則天武后ノ如キ、或ハ神功皇后ノ如キ漢ノ呂后ノ如キ、平ノ政子ノ如キ、或ハ「ジャンダーク」ノ如キ、「ガザリン」女帝ノ如キ、斯ウ云フヤウナ隨分歴史のニ「大キナ歴史」上ノ事實ヲ殘シタル所ノ人ガ女子ノ中ニモ澤山アリマス、又男子ノ中ニ於テモ隨分愚劣ナル人モ澤山アルデアリマス、個人ノ「ニ付テ此性ノ區別」ニ付テ女ト男ト云フモノ、考テ生理的ニ之ヲ論ジタナラバ、此問題ヲ正シク解決スルコトハ出來ナイと思フ、大體ニ於テ私ハ「ミル」ノ唱ヘタルガ如ク、今日ノ女子ノ劣等ナル状態、低能ナル状態、ガアリマスレバ、ソレハ多年ノ壓迫ト自由獨立ヲ奪ハレテ來タ所ノ其状態ガ斯ノ如ク長キ歲月ノ間ニ女子ヲ馴致シタルモノト思フデアリマス、第三ノ反對論者ハ、政治ハ男子ノ仕事デアツテ、婦人ノ携ハルベキ所ノモノデナイ、婦人ノ係ハルベキ問題デナイ、政治ニ這入ルコトニ於テ、婦人ノ生命トスル所ノ優美閑雅ナル性質ヲ失フノデアアル、故ニ婦人ハ政治ニ干與スベカラズト云フ所ノ議論ガアルノデアリマス、政治ハ婦人ノ携ハルベキ所ノ仕事デナク、男子ノ獨占スベキモノナリト云フ此思想ハ、曾テ政治ト云フモノガ貴族ノ獨占ノ事業デアツテ、百姓町人ハ政治ニ干與スベカラズト云ツタ舊キ思想ト同ジ系統ヲ持ツテ居ルモノデアラウト思フ、今日ノ政治ハ特殊階級ノ獨占スベキモノデハナイ、男性ノ獨リ占ムベキモノデハナクシテ、國民全體ノ干與スベキ問題デアツテ、所謂政治ハ國民生活其モノデアルト私ハ思フノデアアル、婦人ハ政治ニ生キナケレバ獨立自由ハ得ラレナイノデアアル、自由ト獨立トノ無イ處ニハ人格ハ存在シナイノデアアル、人格ノ無イ處ニハ理性モ無ク正義モ無ク、眞ノ愛ト云フモノモ無イノ

デアリマス、即チ女ハ人間トシテ認メラレナイカラ、人間トシテ認メラレナイ所ノ女ハ如何ニ優美デアツテモ、如何ニ閑雅デアツテモ、ソレハ唯美シキ奴隸美シキ人形ニ過ギナイノデアリマス、男女ノ關係ハ依然トシテ暴君ト奴隸トノ關係デアリマス、ドンナニ男ガ女ヲ愛シテモ、其愛シタルコトハ猫ヲ愛スルト同ジ心理ニ過ギナイノデアリマス、斯ル社會ニ於テ、眞ノ意味ニ於ケル良妻モ無ク、眞ノ意味ニ於ケル賢母モ生レナイノデアリマス、今迄政治ガ男性ノ獨占スベキ所ノ事業デアツタガ爲ニ、如何ニ政治ノ内容ガ腐敗シ荒ンデ來タカト云フコトハ、今日ノ政治ノ状態ヲ見テ明ニ分ルノデアリマス、政治ガ殘忍ニナリ、殺伐ニナリ、粗暴ニナリ、有ユル方面ニ於テ現代ノ政治ガ男子ノ弱點ヲ暴露シテ居ルノデアアル、婦人ノ特性デアアル優美ト閑雅、其優美ト閑雅並ニ平和ト慈愛ト云フ此特性ガ政治ノ中ニ流レ入ツテ、如何ニ其政治ガ改善セラレ美化セラレルカト云フコトハ疑ノナイ事實デアアル、既ニ婦人ガ參政權ヲ得テ政治上ノ大ナル力ヲ成シテ居ル所ノ先進國ニ於キマシテハ、其日尙ホ淺キニモ拘ラズ、其政治ガ非常ニ緩和的ニナリ、純潔ニナリ、又眞面目ニナツテ來テ居ルト云フコトハ明白ノ事實デ、諸君ノ知ラル、所デアアル、又人道ト正義ノ觀念ガ是等ノ先進國ノ政治ニ於テ著シク濃厚ニナツテ來タ事實モ、亦諸君ノ疑フコトノ出來ナイ所デアリマス、第四ノ反對論ニ付テ尙ホ一言ヲ辯ジテ置カナケレバナラヌノデアリマス、ソレハ婦人ニ參政權ヲ與ヘレバ、選舉ノ度毎ニ家庭ノ圓滿ヲ壞ル、夫婦ノ間ニ意見ノ衝突ヲ起シテ圓滿ナル家庭ガ破壞サレルト云コトニ因ツテ婦人ニ參政權ヲ與フルコトニ反對スル所ノ議論ガアリマス、今日ノ參政權ノ理想ハ國家ノ組織ノ最少ノ單位ノ各個人ノ人格ヲ尊重シ、之ヲ政治的ノ要素ニスルト云フコトガ參政權ノ理想デアリマス、總テノ人ノ意思ヲ國政ノ上ニ表現シテ、サウシテ有ユル人ノ考ト感情トヲ國ノ政治ノ上ニ現スト云フコトガ今日ノ參政權ノ理想デアアル、婦人ガ結婚ヲシテ家庭ヲ造ルト云フコトハ、婦人ノ人格ヲ失フモノデハナイ、今迄ハ婦人ガ家庭ヲ造ルト、婦人ト云フモノガ家庭ノ内若クハ良人ノ人格ニ没入サレテ居ッタ様ニ考ヘラレタノデアアルガ、是ハ婦人ノ人格及獨立ヲ認メナイ所ノ時代デアツテ、婦人ノ眞ノ自由ト獨立トヲ認メ、其人格ヲ尊重スルナラバ家庭ハ單ニ婦人ノ人格ノ没却デハナクシテ、尊重セラレタル認識セラレタ

ル所ノ女ノ人格ヲ現ス所ノ場所ニナラナケレバナラナイノデアリマス、故ニ夫婦ノ對等ノ人格ガ互ニ人格ヲ尊重シ、或ハ承認シ、何所迄モ個性ヲ維持シテ行クト云フ所ニ、其人格ノ自由ト獨立トガ實現スルノデアリマス、故ニ婦人參政權ハ何處迄モ此婦人ノ個性ト人格トヲ尊重シテ、ソレヲ承認スル所ニ意義ガ在ルト思フノデアリマス、婦人ニ參政權ヲ與ヘタナラバ、家庭ガ破壊サレルノデアラウトカ云フヤウナコトハ、全ク其眞ノ新シキ家庭ノ意義ヲ誤タルモノデアアツテ、眞ニ圓滿ノ家庭ガ起レバ夫婦ノ間ニ意見ノ衝突ノアルベキコトハナイ、ヨシソレガアツタ所ガ、其異レル政治的思想ガ政治ノ上ニ現ハレルコトニ依ツテ眞ノ參政權ノ理想ガ達セラレルノデアアル、ヨシソレバ其理想ガ夫婦ノ間ニ違ッテ居ツテ、若シソレガ苟合彌縫シテ現レズニ居ツタナラ、更ニ是ハ惡イコトデアアル、寧ロ意見ガ違フナラバ、違ッテ其意見ガ政治上ニ現ハレルコトガ眞ノ立憲政治ノ理想デナケレバナラヌ、此意見ガ違フ爲ニ選舉ノ度毎ニ夫婦ノ間ノ圓滿ヲ缺キ、或ハ家庭ガ破壊サレルト云フヤウナ薄弱ナル家庭ナラバ、他ノ理由他ノ色、ナ生活上ノ問題ニ於テ、疾ニ斯ノ如キ家庭ハ破壊サレルノガ當然デアリマシテ、獨リ政治ノ主義ノ異レルガ爲デハナイノデアリマス、是等ノ反對ノ議論ハ、私ハ婦人參政權ガ入道ト正義トノ理想ノ上ニ立脚地ヲ持ッテ居ル、此大ナル問題ニ對シテ、幾何ノ價値ヲモ有シテ居ルモノデハナイト信ズル者デアリマス、諸君平和ト愛ト支配スル太古ノ人類ノ社會ニ於テハ、曾テ女性ガ政治ノ中心デアツタ時代ガアリマス、是ハ信ズベキ理由ガアルノデアリマス、此時代ニ於テハ「コント」ガ言ツタ如クニ、婦人ガ神ノ最善ノ人格化デアアル、此時代ニ於テハ婦人ガ大ナル實在者ノ代表者デアツタ時代デアリマス、即チ政治ノ實權ガ婦人ノ掌ニ在ツタ、サウシテ女ガ尊クシテ男ハ全ク奴隸ノ状態デアツタ時代デアリマス、吾々ハ過去ニ於テ是ノ如キ時代ガ存在シテ居ツタ事ヲ信ゼザルヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ人類ガ増殖シテ生存競争ガ激シクナツテ、サウシテ腕力ガ世界ヲ支配スル時代ガ起ツテ來テ、茲ニ男性中心ノ世界ガ生レテ來テ、強者ノ力ガ即チ權利デアアル「マイト、イヅラ、イト」即チ力ガ權利デアアルト云フ、斯ノ如キ現代ノ社會ガ生レテ來テ、最モ弱キ婦人ハ長イ間虐ゲラレテ、サウシテ今日婦人ハ全ク顛倒シタル地位ニ至ツタノデアリマス、サウシテ男ハ尊クテ、女ハ卑

シク、男ハ專制君主デアアル、女ハ奴隸デアアルト云フ状態ガ、過去二千年ノ間人類ノ歴史ニ於テ續イテ來タ、併ナガラ斯ノ如キ状態ガ果シテ正シイモノデアルカ、私ハ婦人ガ非常ナル壓制ト暴虐ト下ニ屈服シテ來タト云フコトハ、男性ガ其力ニ依ツテ斯ノ如キ社會、法律制度ヲ作り上ゲタノデアアルガ、是ハ女性ノ不幸許リデハナイ、實ハ人類ノ大ナル不幸デアツタト思フノデアアル、吾々ハ人類ノ進歩ト幸福ノ爲ニ、更ニヨリ善キ所ノ社會ト、法律ヲ考ヘナケレバナラナイ時ガ來テ居ルノデアアル、ソレハ正義ト人道ヲ基礎トスル所ノ男女均等ノ社會デナケレバナラヌト信ズルノデアアル、男女兩性ガ均等協力ノ社會ニ於テノミ、眞ノ人類ノ進歩文明ガ培ハレルノデアアルト思ヒマス、婦人ガ參政權ヲ得テ政治ニ生キルト云フコトハ、即チ此時代ヲ開拓スベキ所ノ第一ノ關門デアアルト信ズルノデアリマス、今日ノ議會ガ果シテ此案ヲ容ル、ダケノ理想アリヤ否ヤハ私ノ知ラナイ所デアリマスガ、如何ニ此案ガ帝國議會ニ迎ヘラレ、如何ニ現代ノ婦人ノ力ガ政治的ニ改善サレルカト云フコトハ、即チ諸君ノ任務デアアルト思ヒマス、茲ニ此建議案ノ趣旨ヲ説明シテ諸君ノ御賛同ヲ得タク思フノデアリマス

次テ本案ハ濱田國松君外八名提出市制中改正法律案(三七)外五件委員ニ併セ付託スルニ決シ委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラザリキ

一四五 衆議院議員選舉法別表中改正ニ關スル建議案

岸和田市外十二箇市(左記)ハ衆議院議員選舉ニ關スル區域ヲ獨立セシムルヲ至當ナリト認ム依テ政府ハ速ニ選舉法別表ノ改正ヲ計ラレムコトヲ望ム

- 大阪府岸和田市
- 兵庫縣明石市
- 群馬縣桐生市
- 千葉縣千葉市

- 栃木縣足利市
- 愛媛縣今治市
- 北海道釧路市
- 愛知縣一宮市
- 愛媛縣宇和島市
- 長野縣上田市
- 山口縣宇部市
- 埼玉縣川越市
- 沖繩縣首里市

右建議ス

右ハ十二年二月二十九日木下甚三郎君外五名之ヲ提出ス三月十日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(木下甚三郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今議題ニナリマシタ私ノ建議案ハ、最モ最大必要ナル所ノ衆議院議員ヲ選舉致シマスル、其選舉區ノ別表ヲ改正シテ貫ハンナラヌ理由ガ出來マシテ、建議ヲ致シマスル次第デアリマス、其譯ハ大正八年此選舉法ガ出來マシテ以來、大阪府岸和田市、兵庫縣明石市、群馬縣桐生市、千葉縣千葉市、栃木縣足利市、愛知縣一宮市、長野縣上田市、山口縣宇部市、愛媛縣今治市、愛媛縣宇和島市、埼玉縣川越市、沖繩縣首里市、北海道釧路市、此十三ノ新ニ市ガ生レテ出デマシタノデアリマス、僅ニ四年ノ間ニ、全國ニ於テ十二ノ市ガ發達スルト云フコトハ、寔ニ御同様慶賀ニ堪ヘヌ次第デアリマス、此潑刺タル所ノ都市ガ、議員ノ選舉區ヲ持テ一人ノ選舉ノ出來ヌト云フコトハ甚ダ慨嘆スル事デアリマス、是マデ出來テ居ル市ニ於テハ、モウ一年、二年、三年モ出來ルト、出來ルト皆議員選舉區ヲ得テ議員ヲ送ッテ居ルノデアリマス、一市ナラズニ市ナラズ、十三市モカタマッテ居ルノデアリマスカラ、是非共之ヲ獨立サセテ貫ヒタイト思フノデアリマス、世人言フ人ガアリマス、此選舉法ノ別表ハ十年ガ間變ヘヌト云フ條文ガアル、斯ウ言ハレル、尤モ此別表ヲ十年ノ間變ヘヌト云フノハ拵ヘラレタ此別表デス、此十三市ハ別表ニ無イノデアアル、初テ出產

届ヲ致スノデゴザイマス、ソレダカラ是ハドウシテモ新ニ入レヌト云フト萬事ニ差支ガアルノデアリマス、何トナレバ、外國人ガ此處ヘ來マス、議會ヲ傍聽シマス、方々歩キマス、此處ハ明石、須磨ナンテ言ウテ見歩イタ所デ、此處デ選舉法ヲ繰ッテ見タラバ何處ニモ別表ニモ無イ、是ハ幽靈ノ明石市ヂヤト言ハレテハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘヌ、ソレダケハドウシテモセンケレバ吾ミノ義務ガ濟マスト思ヒマス、モウ是ダケデ理由ハ無イノデゴザイマスカラ、ドウカ満場ノ諸君御賛成アラントラ望ミマス

次テ本案ハ濱田國松君外八名提出市制中改正法律案(三七)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ハ本項(九九)參看)

一四六 府縣郡ノ廢合整理ニ關スル建議案

政府ハ地方行政釐革ノ實ヲ舉クルノ目的ヲ以テ府縣郡ノ廢合整理ヲ行ヒ事務ノ簡捷及政費ノ節約ヲ圖ルヘシ

右建議ス

右ハ十二年二月二十六日平野光雄君外四名之ヲ提出ス三月二十一日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ多木久次郎君外二名提出郡ノ併合ニ關スル建議案(四三)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

一四七 農業倉庫普及充實ニ關スル建議案

農業倉庫ハ農村ノ金融小農ノ保護米價ノ安定等ノ機關トシテ農村振興上必須ノ施設ナリ政府ハ宜シク農業倉庫ノ補助増額ヲ爲シ以テ其ノ普及充實ヲ圖ルヘシ

右建議ス

右ハ十二年二月二十六日齋藤宇一郎君外一名之ヲ提出シタルモ三月九日之ヲ撤回セリ

一四八 電氣事業供給區域撤廢ニ關スル建議案

近來電氣事業ノ發達ハ實ニ顯著ナルモノニシテ最早特ニ電氣ノ供給區域ヲ設定シテ此ノ獨占的
事業經營ノ資本家企業家ヲ保護スルノ必要ヲ認メス而シテ電氣事業ノ發達ヲ計リ其ノ普及ヲ期
シ低廉ナル電燈電力ノ供給ヲ講スルハ産業ノ發達ト國民生活ノ向上トヲ圖ル上ニ於テ最緊急ナ
ルモノト認ム依テ速ニ電氣供給區域ノ撤廢セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十六日植原悦二郎君之ヲ提出ス三月十五日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク
趣旨ヲ辯明セリ

只今議題ニ供セラレマシタ電氣事業供給區域撤廢ニ關スル建議案ノ提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲ
マス、今日ノ狀態ニ於キマシテ製造工業ノ立場カラ申シマシテモ、國民ノ日常生活ヨリ考ヘマシ
テモ、恐ラク電氣電力程重大ナルモノハアリマセヌ、仕合せニシテ我が國內ニハ澤山ノ河川ガア
リマス、此河川ヲ利用致シマスレバ、非常ナル所ノ電氣電力ノ供給ヲ得ラレルコトニ付テハ疑ガ
アリマセヌ、此天恵ノ水力ヲ我國ノ製造工業ノ將來ノ發達ニ付キマシテモ、極テ吾々國民ニ取
テ仕合せナルモノデアリマス、而シテ現在ニ於ケル所ノ電氣電力ヲ取扱ヒマス所ノ方法ヲ考慮
致シマスレバ、電氣電力ノ事業ヲ起シマスニ付キマシテハ、其企業家ニ對シテ一定ノ區劃ヲ定
メテ、其所ニ電氣電力ノ供給ヲ獨占致サセテ居リマス、只今ノ法律ハ明治四十四年ニ規定サレマ
シタモノデ、其當時ニ於ケル所ノ我國ノ電氣事業ナルモノハ極テ幼稚ナルモノデアリマシタ、殆
ド國民全體ガ電氣電力ニ付キマシテ、其使用方法スラモ能ク了解シテ居リマセヌデシタ、ソレ
故ニ我國ノ電氣電力ノ事業ノ發達ヲ圖リマスルニ付キマシテハ、此獨占的の事業ニ對シマシテモ、
特別ノ供給區域ヲ定メマシテ、其企業家ヲ擁護シ電氣電力事業ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ、已ム
ヲ得ザリシコト、私共ハ了解スルノデアリマス、併ナガラ今日ニ於キマシテハ、電氣電力ノ事業
ガ非常ニ盛ニナリマシタバカリデナク、國民一般ニ之ニ對スル所ノ知識モ非常ニ向上發展致シ
テ參ッテ居リマス、隨テ何レノ場所ニ於キマシテモ、其利用シ得ル所ノ水力ヲ利用致シマシテ、電
氣電力ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ、當ニ事業家ニ取ッテノミナラズ、國民全體ノ生活ニ取ッテ極テ
必要ナル事デアリマス、然ルニ此供給區域ノ設定ノ事實ガアリマスガ故ニ、殆ド電氣事業ハ日本

全國ヲ通ジテ極テ少數ナル所ノ資本家企業家ニ獨占サレテ居ルト申シテモ過言デアリマセヌ、電氣事業若クハ、瓦斯事業ノ如キモノハ事業其物が獨占的性質ヲ有シテ居リマス、一定ノ場所ニ於キマシテ其獨占權ヲ得マスレバ、電力ヲ供給スルト致シマシテモ、電燈ヲ供給スルト致シマシテモ、其價格ニ付キマシテモ其供給方法ニ付キマシテモ、需要者ノ立場ハ殆ド資本家企業家ノ自由自在ニサレマシテ、如何トモ之ニ對スル所ノ手段方法ノナイ所ノ特殊ノ事業デアアルコトハ、私ガ特ニ茲ニ説明ヲ要セザル事デアリマス、私ガ詳シク申上ゲンデモ御承知ノ事デアリマセウガ、今日ハ村營ニシテ若クハ産業組合ノ經營ニ依リマシテ、村ノ收入ノ爲ニ、或ハ村内ニ於ケル所ノ幾多ノ事業ヲ起スガ爲ニ、其地ニアリマスル所ノ水力ヲ利用シ、電氣電力ノ設備ヲ企テヤウト致シマシテモ、大部分ノ場所ハ極テ少數ノ資本家企業家ニ其區域ヲ設定サレテ許可サレテ居リマスルガ故ニ、如何トモスルコトノ出來ナイ状態デアリマス、ノミナラズ今日ニ於キマシテ日本全國到ル處ニ在ル事實ダト思ヒマスガ、一定ノ供給區域ニアリマスル所ノ電氣會社ハ、其地方ニ於キマスル所ノ一定ノ村或ハ町ニ電氣ヲ供給スル場合ニ於キマシテ、電柱ヲ寄附シロ、若クハ幾ラノ寄附金ヲシナケレバ電燈ヲ點ケテ與ヘナイ、又ハ夫ヲ幾ラ出シテ其電柱ノ設置ヲ爲ス所ノ計畫ヲ助ケナケレバ電力ヲ供給シナイト云フヤウナ事實ハ、國內到ル處ニアルノデアリマス、我國ノ如キ國ニ於キマシテハ、亞米利加ノヤウナ大規模ノ大仕掛ノ製造工業ノ發達ヲ圖ルコトハ容易ノコトデアアリマセヌガ、我ガ國民ハ極テ手先ノ器用ノ國民デアリマス、而シテ日本全國ニアリマスル所ノ水力ヲ利用シマシテ、電氣電力ノ供給ヲ自由競争ト爲シサウシテ到ル處ニ於テ此電力ヲ利用シマシテ製造工業ノ發達ヲ圖リ、日本人特殊ノ技能ヲ持ッテ産業ノ向上發展ヲ畫スレバ、今日屢々此議會ニ於テ問題トナリマスル所ノ農村振興ノ爲ニモ、多大ナル助トナルコトニ付テハ疑ナイト信ジテ居リマス、斯様ナル見地カラ致シマシテモ、此供給區域ヲ撤廢シテ、電力電氣ノ自由競争ヲセシメナケレバナラヌ、又大都會ニ於キマシテモ、電力ノ製造工業ニ用ヒル所ノ供給モ多少ノ自由ニナッテ居リマスケレドモ、小都會ナゾニ於キマシテハ、五十馬力以下ノモノニ對シテハ殆ド自由競争ノ途ガ絶對ニ杜絶サレテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ大資本ヲ有ス

ル所ノ製造工業家ハ極テ安價ナル電力ヲ使用シ得ルニモ拘ラズ、小規模ノ製造工業家ハ殆ド定價ノ電力ノ供給ヲ受ケル途モアリマセヌ、又電燈ニ付テ申シマスルナラバ、獨占事業ノ爲ニ一定ノ區域ニ於テハ、二十燭光ニ對シテ動モスルト十燭或ハ十五燭ノ燭光スラ供給セズシテ、サウシテ二十燭光ノ電燈料ヲ要求シ之ヲ徵收シテ居ルヤウナ事實ハ、國內到ル處ニ其實例擧ゲテ算フベカラザル状態デアリマス、故ニ日本國內ニ於ケル所ノ水力ヲ極テ有利ニ國民ニ普遍的ニ利用セシムル立場カラ申シマシテモ、亦日本國內ニ於テ到ル處ニ共通ナル低廉ナル電力電燈ヲ供給致シマシテ、製造工業ノ發達ヲ圖ル上カラ申シマシテモ、又國民ニ缺クベカラザル所ノ電燈ヲ共通のニ、極テ低廉ニ供給致シテ、國民ノ生活費ヲ節減セシムル點カラ考慮致シテモ、今日ノ場合電氣電力ノ供給區域ヲ撤廢スルコトハ、極テ重要ナル事デアリマシテ、茲ニ本案ヲ提出致シタノデアリマス、何分慎重審議御賛成アラントヲ希望致シマス

次テ本案ハ秦豊助君外七名提出電力政策實施ニ關スル建議案(一九二〇)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審查ノ末原案ヲ否決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出シタルモ議決ヲ經ルニ至ラザリキ

一四九 文官任用令ノ改正ニ關スル建議案

政府ハ速ニ文官任用令ニ適當ノ改正ヲ加ヘ以テ廣ク人材登用ノ途ヲ開クヘシ

右建議ス

右ハ十二年二月二十六日關直彦君外四名之ヲ提出ス 三月十四日本案ヲ院議ニ付シ賛成者(前川虎

造君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ政府ハ速ニ文官任用令ヲ適當ニ改正シ、以テ人材登用ノ途ヲ開クベシト云フ案デアリマス、是ハ嘗テ向井倭雄君外十二名ノ提出ニナツテ岩切君ニ依ツテ説明サレタ所ノ案ト同一ノ趣意ヲ持ツタモノデアリマス、唯私ハコ、デ一言申上ゲテ置キタイノハ、從來行政整理ト云フコトハ、院ノ内外ヲ通ジテ此必要ヲ適切ニ感ジテ、各黨各派ニ於テモ、行政整理ニ異論ハナイノデアリマス、行政整理ノ前提トシテハ、ドウシテモ此一部分ニハ現在ノ事務ノ簡捷ト云フコトハ、ソレカラ局課ノ廢合ト云フコトモ伴ハネバナラス、勢ヒ人員ノ減少ト云フコトヲ免レナイノデアリマス、人ヲ少クシテ事務ヲ舉ゲルト云フニハ、ドウシテモ適材ヲ必要トスルノデアリマス、既往ニ於テハ明治十八年ニ伊藤公ガ行ツタ所ノ行政整理ハ、一年ナラズシテ元ノ如ク相成ツタノデアリマス、最近デハアリマセヌガ、十年以前ニ於テ第二次西園寺内閣ニ於テ行ハレタ所ノ行政整理モ一二年經タズシテ元ノ如ク相成ツタノデアリマス、此原因ハ何處ニアルカト云フト、人材ヲ登用セズシテ窮窟ナル任用令ヲ以テ官吏ヲ得ント欲スル所ノ弊害カラ起ツタコトデアルト私ハ深ク信ズルノデアリマス、故ニ行政整理ノ前提ハ、文官任用令ニ改正ヲ加ヘテ、サウシテ何等カノ方法ニ依ツテ常識アル所ノ役人ヲ採用スルト云フ途ヲ採ラナケレバ、行政整理ノ目的ハ達セラレナイノデアリマス、此意味ニ於テ吾々ハ最モ適切ニ行政整理ニ先ンジテ、文官任用令ト云フモノヲ適當ニ改正セラレンコトヲ政府ニ建議セント欲スルモノデアリマスガ故ニ、滿場ノ諸君ノ御賛成アラントヲ望ミマス

次テ本案ハ床次竹二郎君外十一名提出行政及稅制ノ整理ニ關スル建議案(五〇)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末本案及(一二五)案ノ二案ヲ併合シテ一案ト爲シ表題ヲ「文官任用令改廢ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ三月二十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會ノ結果ハ(一二五)、議事ノ經過及結果ハ本項(九〇)參看)

一五〇 栃尾須原間鐵道敷設ニ關スル建議案

本鐵道ハ鐵道敷設法豫定線ノ小出柳津間沿線中新潟縣北魚沼郡須原ヨリ分岐シ古志郡栃尾輕便鐵道に聯絡スル約十三哩弱ノ線路ナリ而シテ同鐵道力敷設セラルルコトハ長岡若松兩市間ノ距離ヲ短縮スルノミナラス産業開發上極メテ必要ナリ依テ政府ハ速ニ其ノ計畫ヲ立テ之カ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十六日木村清三郎君外三名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(木村清三郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上程ニナリマシタ栃尾須原間鐵道敷設ニ關スル建議案、此趣旨ハ建議文ニ詳細盡シテアリマス、何レ詳細ノ事ハ委員會ニ於テ申上ゲルコトニ致シタイノデアリマス、ドウカ宜シク御賛成ヲ願ヒタイノデゴザイマス

次テ本案ハ中野寅吉君外三名提出柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(一)外十七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議

長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六六)參看)

一五一 和歌浦ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

和歌浦ヲ中心トスル國立公園ヲ設定セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十六日久下豊忠君外三名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(久下豊忠君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

近頃政府ハ國立公園設定ノ計畫ヲ立テラレテ著々調査セラレツ、アルノデアリマス、先月十三日ノ委員曾ニ於テ、政府委員ハ既ニ八箇所ノ候補地ヲ調査ヲ致シ、尙ホ數箇所ノ調査ヲスル筈デアリ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、私ノ提案ノ和歌浦ヲ中心トスル國立公園設定ト云フコトハ、和歌浦ヲ中心トシテ紀三井寺、根來、粉河、高野山若クハ加太、此地域ハ天下ノ名勝トシテモ既ニ知ラレテ居ル場所デアアルノミナラズ、國民ハ保健衛生ノ上カラ考ヘマシテモ、亦史蹟名勝天然記念物保存ノ上カラ考ヘマシテモ、又近ク大阪ヨリ僅ニ二時間ノ里程デ以テ幾百萬ノ人が遊ビ得ルニ最モ費用ト時間トノ經濟ノ上カラ申シマシテモ、國立公園トシテ最モ適當ナル場所デアルト云フ確信ヲ以テ本案ヲ提出シタ譯デアリマス政府ニ於テモ之ヲ國立公園ニ設立セラレマシテ、國立公園計畫ノ實行ノ場合ニハ、是非之ヲ國立公園ノ中ニ編入セラレンコトヲ希望致スノ

デアリマス、願ハクハ滿場ノ御賛成ヲ希望致シマス

次テ本案ハ日野辰次君外二名提出霧島山國立公園設置ニ關スル建議案(九)外十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(九)參看)

一五二 山陰鐵道局設置ニ關スル建議案

山陰道ニ於ケル鐵道ハ曩ニ敦鶴線ノ開通アリ山陰本線ノ工事亦大ニ進捗シ向後暮年ナラスシテ完了全通セムトシ更ニ伯備線因美線ノ兩橫斷線工事ノ著々歩武ヲ進ムルヲ始メ其ノ他ノ鐵道敷設法別表中ニ編入セラレタル線路逐次其ノ起工ヲ見ムトシ山陰線及陰陽連絡線ニ依ル鐵道網ノ實現將ニ近キニアラムトス而シテ鐵道ノ延長ハ現業及其ノ附帶ノ事務増加シ隨テ現在ノ如ク神戸鐵道局ニ於テ山陰道ニ於ケル鐵道事務ヲ管掌統轄スルハ敏捷圓滑ヲ主眼トスル本來ノ性質上不利不便尠ナカラサルナリ是レ朝野識者ノ間ニ山陰鐵道局設置ノ高唱セラル、所以ナルヘク山陰道ニ於ケル鐵道事業ノ發展ヨリ見テ當然ノ歸結ナリト信シテ疑ハサルナリ抑米子町ハ山陰道ノ中心ニ位シ且境港ヲ介シテ遙ニ滿鮮及西伯利ニ近接スルノミナラス八州無比ノ平野ニ自然ノ地利ヲ占ムルカ故ニ近時商工業ノ發展著シク將ニ市制ヲ施行スルノ日近カラ

ムトス加之山陰鐵道開始ノ地タル歴史ヲ有シ現ニ保線運輸建設各事務所及工場ノ所在地ニシテ事實上山陰鐵道ヲ統理シツツアリ故ニ此ノ地ニ新鐵道局ヲ設置セラルルニ於テハ監督統理ノ上ニ至便ナルノミナラス之ヲ經費ノ如キモ頗ル經濟的ナルヲ得ヘシ政府ハ速ニ案ヲ具シテ山陰鐵道局ヲ鳥取縣米子町ニ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十二年二月二十七日清瀨規矩雄君之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

近來山陰方面ニ於ケル所ノ鐵道建設ノ工事ガ著シク進捗致シマシタ爲ニ、山陰地方ニ鐵道局ヲ設置スルト云フヤウナ噂ガアルノデアリマス、是ハ鐵道ノ工事ノ進捗ニ伴ッテ當然ノ歸結デアラウト思フノデアリマス、若シ山陰鐵道方面ニ鐵道局ガ置カレルモノト致シマスナラバ、現在ノ米子ハ既ニ鐵道ノ建設事務所ガアリ、又運輸事務所ガアリ、工場ガアリ、其他鐵道ノ官廳ガ澤山アルノデアリマスカラ、當然米子ニ置カレルノガ經費節減ノ上カラ見マシテモ、利便ノ上カラ見マシテモ、至當ノ事デアラウト思フノデアリマス、ドウカ此鐵道局ヲ山陰道ノ米子町ニ置カレンコトヲ希望スルノガ本案ノ趣旨デアリマス、ドウカ皆様ノ御贊成ヲ得テ目的ヲ達シタイト思ヒマス

次テ本案ハ矢野丑乙君外三名提出八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案(一八)外十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ修正スヘキモノト決シ三月二十日報告書ヲ議長ニ提出セ

リ
(委員會ノ結果ハ本項(八五)、議事ノ經過及結果ハ本項(三七)參看)

一五三 小名濱港修築ニ關スル建議案

福島縣石城郡小名濱港ハ東京灣仙臺灣ノ中間ニ位シ古來ヨリ常磐海岸唯一ノ要港ニシテ無盡藏ナル常磐炭田ヲ控ヘ且其ノ附近一帶ノ地方ニハ各種ノ鑛物木石材薪炭農海產物等ノ產出又少カラス鐵道ハ西ニ本州ヲ橫斷スル磐越線アリ南北ヲ縱貫スル常磐海岸線アリテ後方聯絡ノ機關既ニ備ハリ眞ニ吞吐港タルノ勝地ヲ占ム一朝此ノ地ニ港灣ノ設備成リ海陸交通ノ連絡完成スルニ至ラムカ地方物資ノ集散スルモノ極メテ大ナルヘク實ニ良港タルノ價值ヲ發揮スヘシ大正七年縣ハ此ノ港ヲトシテ漁港ノ修築ヲ起工シ爾來順調ニ進捗シツツアリト雖是レ單ニ漁港タルノ施設ニ過キスシテ固ヨリ豊富ナル物資ノ運輸ニ適スヘキ航洋船ノ出入ニ適スルモノニ非ス依テ政府ハ速ニ同港ヲ重要港ニ指定シ其ノ修築ヲ完成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右八十二年二月二十七日白井博之君外五名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(白井

博之君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ初テ提案致シタノデアリマスルカラ、實ハ詳細ナル説明ヲ致シタイト思ヒマスルガ、本日ハ日程尙ホ五十有餘件ヲ殘シテ居リマスルノデ、極メテ簡單ニ説明ヲ致シタイト存シマス、本案ノ小名濱港ハ東京灣仙臺灣トノ中間ニ位シテ居リマシテ、古來ヨリ船舶ノ出入甚ダ多イ常磐海岸唯一ノ良港デアアルノデアリマス、常磐鐵道ノ常磐海岸線ノ開通以前ニアリマシテハ、磐城方面ノ物資ノ輸出入ノ總テ當港ヲ經由シタノデアリマス、今ヤ常磐海岸線ハ其南北ヲ縱貫シ、本州ヲ橫斷スル所ノ磐越線ハ西郡山若松等ヲ經マシテ、西海岸ノ新潟ニ達シテ居ルノデアリマス、港灣ヲ設置スル上ニ於キマシテ、最モ重大ナル條件タル後方連絡ノ設備ハ、既ニ略具ツタト云フテモ宜シイノデアリマス、此小名濱港ハ地勢ノ上カラ申シマシテモ、亦物資ノ上カラ申シマシテモ、後方連絡ノ機關ノ上カラ申シマシテモ、物資ノ吞吐港トシテノ完全ナル資格ヲ具ヘテ居ルモノデアルト私ハ確信スル者デアリマス、而シテ我國ノ本州唯一ノ炭田タル彼ノ常磐炭田ヨリ採掘致シマスル所ノ石炭ハ、一箇年數百萬噸ノ多キニ達シテ居リマス、而シテ其販路ハ東北一圓ハ勿論ノコト、京濱地方ニ於ケル所ノ大小ノ各工場ヲ初ト致シマシテ、南ハ名古屋方面ニマデ及ビ、西ハ兩毛信越北陸地方ヲ薙捲致シテ居ルノデアリマス、而モ其輸送力ハ採掘力ト伴ハズ、常ニ其輸送力ノ不足ヲ當業者ガ懇ヘツ、アルノデアリマス、若モ此小名濱港ガ港灣トシテノ設備ヲ完成致シマシテ、海陸連絡ノ設備ガ成リマシタナラバ、遠クハ北海道青森方面ヨリ、又京阪地方ヨリ、近クハ茨城方面ヨリ、西ニ致シマシテハ磐城、岩代、越後方面ノ物資ハ期セズシテ當港ノ吞吐スル所トナツ、眞ニ我國ノ有數ノ港灣タル實際ノ狀況トナルデアラウト私ハ信ズルモノデアリマス、而シテ常ニ輸送力ノ不足ヲ懇ヘツ、アル常磐炭、殆ド無盡藏トモ申スベキ所ノ常磐炭ハ、是ガ爲ニ全ク輸送上ノ圓滑ヲ得テ海陸運輸ノ便ヲ開キマシテ、此輸送ノ圓滑ハ申上ゲルマデモナク、供給ノ潤澤トナルノデアリマス、又供給ノ潤澤ハ直ニ價格ノ低廉トナルノデアリマス、石炭ノ價格ノ低廉ト云フコトハ、我國ノ工業經濟ノ上ニ重大ナル善良ナ影響ヲ與ヘルノデアリマス、隨テ當港ノ修築ト云フコトハ此石炭價格ノ低廉ヲ來シテ、サウシテ我國ノ工業ノ上ニ非常

ナル利益ヲ與ヘルモノデアルト確信スルモノデアリマス、之ヲ要スルニ小名濱港ノ修築ハ、我國ノ經濟、産業、貿易其他ノ總テノ點ニ於キマシテ、甚大ナル裨益ヲ與ヘルモノデアルト私ハ確信致シマス、蓋シ此提案ハ政府ノ港灣政策ニ必ズ一致スルコト、私ハ確信スルノデアリマス、希クハ諸君ノ御賛成ニ依リマシテ、本案ノ目的ヲ達シタイト考ヘルノデアリマス、尙ホ委細ハ委員會ニ於テ説明致シマス

次テ本案ハ大島實太郎君外二名提出舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方善後ニ關スル建議案(六)外七件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一五四 發明獎勵ニ關スル建議案

發明考案及其ノ實施ノ振興ハ國力ノ發展民福ノ増進上重要ナルノミナラス現時我カ國喫緊ノ時務タル物價勞銀ノ調節農村ノ振興工業ノ保持發展及國際競争上特ニ適切緊急ノ事項タリ依テ政府ハ周到確實ニ之ヲ實施スル爲速ニ適當ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年二月二十七日島田俊雄君外八名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ

趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ近藤達兒君提出科學研究機關統一ニ關スル建議案(一四一)委員ニ併セ付託スルニ決ス
委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十一日日本案及(一九五)案ノ二案ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長小阪順造君ハ委員會ノ經過及
結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

只今議題トナリマシタル發明獎勵ニ關スル建議案、化學工業獎勵ニ關スル建議案、此二案ノ委員
會ニ於ケル結果ヲ御報告致シマス、此兩案ハ各派一致ノ提案デアリマシテ、隨テ委員會ニ於キマ
シテハ成ルベク此建議案ノ趣旨ヲ速ニ實行出來ルヤウニト云フ意味ニ於キマシテ、質問應答ガ
重ネラレタヤウナ次第デアリマス、隨テ討議ニ入りマシテハ滿場一致ヲ以テ可決致シタ次第デ
アリマス、此段御報告致シマス

院議異議ナク各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一五五 旭川改修工事ニ關スル建議案

政府ハ河川改修第二期線ニ編入セラレタル岡山市旭川改修工事費ヲ明年度豫算ニ計上シ以テ速
ニ起工ニ著手スヘシ

右建議ス

右ハ十二年二月二十八日高草美代藏君外一名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(高
草美代藏君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上程ニナリマシタ旭川改修工事ニ關スル建議案デアリマス、是ハ岡山縣ニ於ケル高梁川ト
吉井川ト並ビ稱セラル、縣下ニ於キマスル三大川ノ一ツデアリマス、其源ヲ美作ニ發シテ居リ
マシテ、丁度岡山市ノ中央ヲ貫通致シマシテ、三幡港ト云フ所ノ港ニ注イデ居リマスル大キナ川
デアリマス、是ハ中國ノ大都會デアル所ノ岡山市ニ取リマシテハ、極メテ密接ニシテ而モ重大ナ
ル關係ヲ有シテ居ル河川デアリマス、然ルニ此旭川ハ往年ハ餘程水ガ深カッタノデアリマシテ、
大キナ船舶モ通ツテ居リマシタガ、近來ハ流域ノ關係ト堤防ノ不完全ナルガ、爲ニ年ト共ニ河床
ガ埋沒致シマシテ、而シテモウ今日ハ滿潮時ヲ利用致シマシテモ、小船ガ通フニ過ギヌノデアリ
マシテ殊ニ潮干時ニナリマス、魚船ノ小サイノガ僅ニ濤筋ヲ從ヒマシテ、サウシテ辛ウジテ往
來スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、左様ナ不都合ナ事ニナリマシタ故ニ、現ニ往年深
イトキニハ澤山ノ船舶ガ輻湊致シマシテ、商業上ノ物資ヲ持運ブコトニ於キマシテ、非常ナ便利
ヲ極メタモノデアリマスガ、近來ソレガ全ク今申上ゲマシタヤウナコトニナリマシテ、岡山市ノ
繁榮ニ多大ノ關係ヲ及ボシ、岡山市ノ産業ニ多大ノ打撃ヲ受ケテ居ルノデアリマス、而シテ斯ノ
如ク旭川ガ埋沒シテ居ルト申シマスルコトハ、單ニ岡山市ノ繁榮ニ關係スルノミナラズ、御承知
ノ通り近ク山陰ト山陽ノ鐵道モ連絡致シマスルシ、又四國ノ鐵道モ連絡ヲ致シマスレバ、隨テ物
資若クハ貨物ノ集散ガ非常ナ事ニナルノデアリマシテ、其故ニ先キニ申上ゲマスルヤウニ、ドウ
致シマシテモ此際河川ノ改修ヲ致サナケレバ、以上ノ如ク非常ナル種々ナル影響ガアルノデア
リマス、殊ニ單リ左様ナ大關係ガアルノミナラズ、此川ガ埋沒致シタルガ爲ニ、年々非常ナル慘
害ヲ受ケマスルノデアリマス、デ明治二十五年岡山市ガ非常ナル慘害ヲ受ケマシテ、一大湖水ト
相成リマシタル其悲惨當時ハ暫ク措キマシテ、近ク大正六年カラ大正十年ニ至ル僅ニ五箇年間
ニ於ケル災害ノ損失高ヲ申上ゲマスレバ、道路、橋梁、河川、其他耕作物ノ諸損害計六十三萬圓、

田畑建物其他ノ諸損害が八十二萬圓、合計百四十五萬六千餘圓デアリマシテ、尙ホ之ヲ一箇年ニ平均致シマシテモ、毎年三十幾萬圓ヅ、損害ヲ被ツテ居ルノデアリマス、ダカラ一縣ノ經濟ノ上カラ打算致シテ見マスレバ、實ニ多大ナル損害デアリマス、斯ウ云フ理由カラ致シマシテ、實ハ內務省ニ於テモ河川改修ノ第二期川ニハ入ツテ居ルノデアリマスガ、斯ル狀態ナルガ故ニ吾々ハ既ニ本年度ノ豫算ニ旭川ノ工事費ハ確カニ計上サレテ居ルコト、思フテ居リマシタ、所ガ左様ナ事モアリマセヌノデ、甚ダ遺憾千萬ニ存ズルノデアリマス、若シ是ガ延ビマスレバ岡山市モ近ク都市計畫ニ著手ヲ致サント致シテ居リマスル際デアリマシテ、此川ノ改修ヲセラレ、ト云フコトニ付キマシテハ、或ハ岡山市ノ中央ヲ貫通シテ居リマスルト其流域ノ變更ヲ來スカ、或ハ又擴張ヲセナケレバナラヌノデアラウト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、若シ左様ナ事ニナリマスルト、折角都市ノ計畫ヲ致シマシテモ、ソレガ駄目ニナルコトニナルノデアリマスカラ、是非トモ此際速ニ工事ニ著手ヲ願ハザレバ、此改修ハ非常ナル色々ナル關係ガアルノデアリマス、ソレ故ニドウカ滿場諸君ノ御賛成ヲ得マシテ、近ク來年度ニ於キマシテ豫算ヲ計上サレテ、速ニ工事ニ著手セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

次テ本案ハ津崎尙武君外二名提出肝屬川改修速成ニ關スル建議案(一六)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ハ本項(五八)參看)

一五六 中國鐵道買收ニ關スル建議案

政府ハ速ニ中國鐵道ヲ買收スヘシ

右建議ス

右ハ十二年二月二十八日高草美代藏君外一名之ヲ提出ス三月十五日日本案ヲ院議ニ付シ提出者(土居通憲君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今上程ニナリマシタ建議案ニ付キマシテ簡單ニ提案ノ理由ヲ說明致シマス、中國鐵道ハ美作國ヲ中心トシテ居リマス所ノ津山町カラ岡山市ニ通ズル唯一ノ交通機關デアリマシテ、之ニ依リマシテ山陰、山陽、四國ニ連絡シ、サウシテ物資需給ノ調節ヲ圖リ、産業ノ振興發達、文化ノ普及ガ行ハレテ居リマス所ノ、地方振興上必要缺クベカラザル鐵道デアリマス、而シテ今ヤ此津山町ヲ中心トシテ計畫サレテ居リマス所ノ、官線鐵道ノ因備線、並ニ作備線ノ敷設工事ハ著々トシテ進行シテ居ルノデアリマシテ、因備線ハ鳥取カラ用ケ瀬迄ハ既ニ開業ラシテ居リマシテ、用ケ瀬、智頭間ハ今ヤ工事ガ殆ド完成致シマシテ、本年ノ夏ニハ完成スルト云フコトデアリマス、而シテ智頭、津山間ハ是モ實測中デアリマシテ、兩三年ヲ出デズシテ開通スルコトデアラウト思フノデアリマス、而シテ此鐵道ガ開通致シマシタル曉ニハ、陰陽ノ連絡四國ノ連絡ハ中國鐵道ニ依ラナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、而シテ更ニ作備線ノ現狀ハドウデアアルカト申シマスナラバ、津山久世間、此工事ハ餘程進行シテ、居リマシテ第一期工事デアアル所ノ追分、津山間ハ既ニ「レール」ヲ敷キツ、アツテ、此夏ニハ開業スルコトニナルノデアリマス、斯ノ如ク官線鐵道ノ敷設工事ハ著々進行シテ居リマスガ故ニ、此官線鐵道ノ間ニハ私設鐵道ガ介在スルト云フコトハ、官民連帶事務ノ取扱上複雑デアリ、サウシテ不便ガ少クナイノデアリマス、尙ホ貨客輸送ノ上カラ申シマシテモ、非常ナル不便ガ多イノデアリマシテ、ドウシテモ統一上此私設鐵道ノ介在スルト云フコトハ許サナイノデアリマスガ故ニ、政府ハ速ニ此中國鐵道ヲ買收シテ、而シテ陰陽ノ連絡四國ノ連絡上、此輸送系統ヲ統一シテ地方産業ノ振興ニ資セラレンコトヲ望ンデ、此

第二章 議事

第四節 議案

第二款

議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

二千二百八十五

案ヲ提出シタ次第デアリマス、宜シク御審議ノ上御賛成アラシムコトヲ望ミマス

次テ本案ハ矢野丑乙君外三名提出八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案(一八)外十四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三七)參看)

一五七 中津下呂間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ岐阜縣中津ヨリ下呂ニ達スル鐵道ヲ速成シ以テ運輸交通ノ發達ヲ促進セラレシムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月一日牧野良三君外二名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ大島實太郎君外一名提出宮津河守間鐵道敷設ニ關スル建議案(七七)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(七七)參看)

一五八 三國港修築ニ關スル建議案

福井縣三國港ハ縣下三大河川ノ湊合セル九頭龍川及竹田川ノ河口ニ位シ往古ヨリ日本海ニ於ケル重要ノ港灣タリ現ニ陸ニハ三國支線ニ依リ北陸幹線ニ連絡シ海ヲ隔テ露領及朝鮮ニ對ス之ヲ修築シテ日本海沿岸海陸交通ノ良商港タラシムルコト極メテ緊要ナリ然ルニ近時九頭龍川改修ノ結果上流ヨリ流出スル無限ノ土砂ハ潮水ト風浪ノ關係ニ依テ漸次堆積シ其ノ河口ヲ填塞シ以テ水利ヲ沮害スルノミナラス著シク本港灣ノ機能ヲ減スルモノアリ依テ政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ九頭龍川河口ニ對スル適切ナル治水ノ施設ヲ實行スルト同時ニ少クモ二千噸以上ノ船舶ノ出入ニ支障ナカラシムル程度ニ於テ同港灣修築ノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月一日野村勘左衛門君外四名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ大島實太郎君外二名提出舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方善後ニ關スル建議案(六)外八件委員

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

二千二百八十七

ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一五九 京濱間ノ運輸交通政策確立ニ關スル建議案

政府ハ速ニ京濱間ノ運輸交通政策ヲ確立セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月一日若尾幾造君外四名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(若尾幾造君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ京濱間ニ運河ノ開發ヲ致シタイト云フ問題デアリマス、政府ハ速ニ京濱間ノ運輸交通政策ヲ確立セラレンコトヲ望ム、此問題デアリマス、理由書ハ御手許ニゴザイマスガ、大分多數ノ件ガ出テ居リマスカラ、是ハ申シマセヌカラドウゾ理由書ヲ御手許デ御覽下サイ、唯一應要旨ヲ申上ゲテ置キマスガ、此東京灣ニ於テ京濱間ノ是迄ノ運輸ノ交通ニ於キマシテ、非常ナル危険ト云フノハ、即チ羽田沖ノ事デアリマス、是ガ羽田沖ハ風雨ノ場合ハ危険ノ爲ニ船舶ノ交通ガ出來マセヌ、ソレニ付キマシテ、危険ヲ避ケル爲ニハ一ツノ運河ヲ開カンケレバナラヌト云フコトガ第一ノ事デアリマス、第二ニハ此京濱間ニ羽田沖ガゴザイマスノデ、船舶ノ往復ガ非常ニ手間取

リマス、之ヲ運河ヲ開發シマスナラバ、是マデノ時間ノ半分デ交通ガ出來マス、ソレカラ經濟ノ方ニ至ッテ此運賃ハ亞米利加ノ亞港カラ橫濱ヘ參リマス運賃ト、橫濱カラ東京マテ參リマス運賃ト稍同ジ事デアリマス、今日マデ——デ其運賃ノ輕減ヲシタイト云フ、是ガ第一デゴザイマス、第三ニハ京濱間ニ工場ヲ置キタイト云フコトデゴザイマスガ、其事ハ東京ニハモウ大工場ガ置カウト申シタ所ガ、餘地ガゴザイマセヌ、隨テ地價モ高ウゴザイマス致シマスカラ、此工場ヲ盛ナラシムルニハ、京濱間ニ運河ノ兩河岸ニ於キマシテ建設スルヤウノ工合ニ位置ヲ拵ヘテ置クガ極ク必要ナ事ト考ヘマス、ソレデ詰リ此事ハ國家經濟上ト貿易ノ發展ト、此理由ヲ以テ建議致シマシタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上御贊成アランコトヲ希望致シマス

次テ本案ハ本多貞次郎君外五名提出利根運河國有ニ關スル建議案(六二)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(六二)參看)

一六〇 比婆山熊野神社昇格ニ關スル建議案

備後國比婆山熊野神社ハ畏クモ 伊邪那美ノ大神ヲ祭祀セルトコロニシテ古典ノ以テ徵スヘキアリシ神境ハ依然トシテ其ノ尊嚴ヲ示セリ依テ此ノ神社ヲ官幣大社ニ昇格セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年三月二日永屋茂君外三名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(永屋茂君)ハ

左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ伊邪那美命ノ隠レマシタ比婆山熊野神社ヲ昇格シテ、官幣大社トセラレタイト云フコトヲ建議スルノデアリマス、我が大和民族ノ始祖ガ伊邪那伎、伊邪那美ニ柱ノ大神デアルト云フコトハ今更私ガ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、サウシテ報本反始、敬神崇祖ト云フコトガ我が日本國民道德ノ基調デアリ、我が帝國ノ精華デアルト云フコトモ、亦私ノ縷々ヲ要セザル事デアリマス、ソレ故ニ此我が大和民族ノ始祖デアリマス、伊邪那伎、伊邪那美ノ二神ヲ尊崇シ、嚴カニ之ヲ祀ルト云フコトノ必要ハ言フマデモナイ事ト存ズルノデアリマス、伊邪那伎命ハ淡路島ニ官幣大社トシテ祀ラレテアルノデアリマス、然ルニ伊邪那美ノ神ノ隠レラレタル此比婆山ノ熊野神社ハ、今果シテ如何ニナッテ居ルカト申シマス、僅ニ山村ノ神社タルニ過ギヌノデアリマス、伊邪那伎ノ神ヲ淡路ニ祀リマシタノハ申ス迄モナク、日本紀ニ左ノ如キ記事ガアルノニ存スルノデアリマス、即チ伊弉諾尊神功既ニ畢ンヌ云々ト、是ヲ以テ幽宮ヲ淡路ノ洲ニ構ヘ、寂然長ヘニ隱シマツリヌト云フノカ日本書紀ニアツテ、之ニ基イテ官幣大社トシテ伊邪那伎ノ神ヲ終焉ノ地ヲ長ヘニ祀ッテアル譯ナノデアリマス、所ガ伊邪那美ノ神ノ終焉ノ地ハ何處デアアルカト言ヒマスルト、古事記ニハ故ニ神遊リマシ、伊邪那美ノ神ハ出雲ノ國ト伯伎ノ國トノ境比婆之山ニ葬ル也トアツテ、明ニ此本建議案ニ提出シテ居リマス、比婆山ニ熊野神社ガアル、ソレデアアルノデアリマス、此熊野神社ハ嘉祥元年マデハ比婆山比婆大神ト稱ヘ奉ッテ居ッタノデアリマスガ、嘉祥元年ニ熊野社ト名ヲ改メテ居ル、其點ノ由緒モ洵ニ顯著ナルモノガアルノデアリマス、サウシテ我が國學ノ大家デアアル我が國體ヲ擁護シタル所ノ有名ナル學者木居宣長、加茂真淵、是等ノ諸先輩モ比婆ノ山ニ伊邪那美ノ神ヲ祀ッテアルノデアアルカラ、其終焉ノ地デアアル比婆山ト云フモノヲ嚴カニ祭ラナケレバナラヌト云フコトヲ唱ヘテ居ッタノデアリマス、我が皇室ニ於カレマシテハ、皇祖皇宗ヲ厚ク御祭リニナッテ居ラレル其趣旨ニ基キマシテモ此比婆山熊野神社ハ是非トモ昇格シテ官幣大社ト爲サナケレバナラヌト云フコトヲ、切ニ感ズルノデアリマス、殊ニ近時思想ガ動搖致シテ、我國ノ道德ノ基調ガ將ニ搖ルガントシテ居ル、國體ノ精華モ亦益安ニ強キヲ加ヘル所以

ノ途ヲ總テ講ジナケシバナラヌ現時デアリマスルノデ、願ハクバ其最モ主ナル施設ノ一ツト相成ル事デアリマスカラ、本案ハ滿場諸君ニ於カレテ御賛成下サルコトヲ願ヒマスル次第デアリマス

次テ本案ハ中村清造君外二名提出官幣小社竈門神社境域擴張ニ關スル建議案(一一三)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(一一三)參看)

一六一 開墾助成法施行ニ關スル建議案

開墾助成法ヲ速ニ北海道ニ施行セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月二日伊藤廣幾君外七名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(岡田伊太郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

開墾助成法施行ニ關スル建議デゴザイマス、今ヤ我が國民ハ食糧ノ自給自足ト云フコトニ付キマシテハ、最モ重大ナル事柄デアリマシテ、國家ハ此問題ハ實ニ今日慎重ナ方法ヲ以テ攻究シテ

居ルノデアリマスガ、其中デモ耕地整理法デアルトカ、或ハ開墾助成法ノ施行等ニ付キマシテ、我が耕地面積ノ成ベク擴張ヲ圖ツテ居リマスケレドモ、如何セン未ダ望ム如キ補足ヲスルコトガ出来ナイノデアリマス、我國ハ年々二百萬乃至三百萬ノ輸入ヲ仰ガナケレバナラヌト云フ現狀デアリマシテ、我國ト致シマシテハ實ニ遺憾ノ事柄デアリマス、此時ニ當リマシテ我國ニハ之ヲ補ハントスル途ハ、北海道ニ於テ開墾ヲ獎勵スル、即チ北海道ノ開拓ヲ爲スト云フコトガ、最モ捷徑デアルト老ヘルノデゴザイマス、故ニ常ニ北海道トシテ、常ニ此食糧問題ニ島民ハ意ヲ注イデ、内地食糧及海外ニ向ッテ輸出スル所ノ菜豆類迄モ研究シテヤツテ居リマスルガ、今日ノ經濟狀態ハ、到底北海道島民ノミノカニ依ッテハ、之ヲ思フ如キ進歩ヲ見ルコトガ出来ナイノデゴザイマス、北海道ニハ現在尙ホ百萬町歩以上ノ未開地ガゴザイマシテ、是ハ頗ル豊饒ナル土地デゴザイマス、又概ネ是ハ平坦ナ土地デアリマシテ、水田ニモ畑ニモ何レニモ最モ良イ收穫ヲ得ル土地柄デゴザイマシテ、之ヲ開拓致シマシテ豊饒ヲ收ムルト云フコトハ、至テ容易ナ業デアリマスケレドモ、前段ノ如ク此儘ニ島民ノミニ委ネテ置キマシテハ、遺憾ナガラ遅々トシテ進ミ方薄イノデアリマス、故ニ北海道ニ速ニ開墾助成法ヲ施行サレマシテ、我が國家國民ノ最モ憂慮シテ居ル所ノ食糧問題ノ安定ヲ與ヘル一助トシタイト云フ建議デアリマス、尙ホ之ヲ施行スル上ニ於キマシテハ、細カク説明ヲ申上ゲル必要モゴザイマスケレドモ何レ委員會ニ盡シタイト考ヘルノデアリマス、ドウカ滿場ノ御賛同ヲ仰ギマス

次テ本案ハ阿部武智雄君外八名提出北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(六五)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

一六二 宮河内谷川改修國庫補助ニ關スル建議案

政府ハ宮河内谷川改修ヲ國庫補助ヲ以テ實施セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月二日岡順次君外三名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(岡順次君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ第四十三議會以來毎回滿場一致ノ下ニ議決サレタル問題デアリマス、隨テ此大體ノ趣旨ハ理由書並ニ每議會ノ速記録ニ明カデアリマスカラ之ヲ省略致シマス、此河ハ頗ル形ヲ異ニ致シテ居ル河デアリマシテ、上流ガ頗ル廣クシテ下流ガ頗ル狭小ナノデアリマス、隨テ其水害ヲ彼ルコトガ頻々デアリマス、ドウカ一日モ速ニ國庫補助ヲ以テ此改修ノ速成ヲ致シマシテ、住民ノ困厄ヲ救済シタイト云フ考デアリマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

次テ本案ハ津崎尙武君外二名提出肝屬川改修速成ニ關スル建議案(一六)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(五八)參看)

一六三 京若鐵道速成ニ關スル建議案

京若鐵道即チ京都府殿田ヨリ福井縣小濱ニ至ル線ハ軍事上産業上最必要ニシテ沿線各地ノ交通文化ノ促進等地方開發上最急速敷設ヲ要スル線路ナリ依テ之ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

一六四 園部篠山間鐵道速成ニ關スル建議案

京郡府園部ヨリ兵庫縣篠山ニ至ル鐵道ハ第四十四回帝國議會ニ於テ政府ヨリ提出セル鐵道敷設法案別表中ニ加ヘラレタル線路ニシテ京若鐵道線ト姉妹線タリ而シテ北海ノ低廉ナル物資ヲ京阪神地方ニ供給シ且其ノ沿道數百萬噸ノ生産物ヲ都會ニ輸送シ又北海ト太平洋ノ交通ヲ他線ニ比シ數十里減少セシムル等京若線ト相俟テ實ニ産業上軍事上最急速敷設ヲ要スル線路ナリ依テ速ニ之ヲ建設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一六五 花園宮島間鐵道敷設ニ關スル建議案

本線ハ京都府花園驛ヨリ梅ヶ畑、小野郷、細野、周山ヲ經テ京若鐵道線ノ宮島ニ達スル線ニシテ京若鐵道敷設ニ關スル建議案ヲ第四十三回帝國議會ニ提出シ全會一致ノ通過ヲ見タルハ實ニ此ノ花園驛ヨリ宮島ニ至リ宮島ヨリ小濱ニ達スルノ線ナリシナリ然ルニ第四十四回帝國議會ニ於テ政府提出鐵道敷設法案中ノ京若線ヲ見ルニ殿田小濱間ノ線路ヲ以テ京若線ト看做サルルニ至リ第四十三回議會ニ提出シタル建議ノ最要點ヲ脫漏サレタルハ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ

古來京都ヲ中心トシテ若狹國ノ中部ニ至ルニハ必ス周山村ヲ經テ小濱ニ出ルヲ最捷徑トセシモノニシテ且同地方ハ丹波國中林産物ノ主要地ト稱セラレ殊ニ近時京都帝國大學ハ知井村ニ五千町歩ノ實習林ヲ設置シタルニ見ルモ周山村附近ト京都市トノ交通上必要缺クヘカラサルハ明ナリ依テ速ニ本線敷設ノ計ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右第一案ハ十二年三月二日風間八左衛門君外二名、第二、第三ノ兩案ハ孰レモ同日風間八左衛門君外四名之ヲ提出ス三月十四日三案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者(竹上藤次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

京若鐵道速成ニ關スル建議案、園部篠山間鐵道速成ニ關スル建議案及花園宮島間鐵道敷設ニ關スル建議案ハ、相關聯致シマスル議案デアリマスルガ故ニ、簡單ニ一括致シマシテ説明ヲ申上ゲマス、本二案ノ骨子ハ即チ近畿地方ニ於キマシテ、日本海沿岸、太平洋沿岸等既設鐵道ニ比較致シマシテ、約四十哩程ノ距離ノ短縮ガ出來ル案デアリマス、之ヲ軍事上ヨリ見マシテモ甚ダ喫緊ヲ要スル問題デアリマスルシ、又經濟上ヨリ或ハ社會政策上ヨリ之ヲ見マシテモ、日本海沿岸ノ安キ物資ヲ太平洋沿岸ノ即チ京阪神ノ多クノ都會民ニ供給シ得ルコト、及生活費ヲ節減シ得ル最モ捷徑デアアルト考ヘマシテ、此案ヲ提出シタ次第アルノデアリマス、既ニ京若線並ニ園部篠山間ノ線ニ付キマシテハ、鐵道網ニ加ヘラレテ居リマスガ故ニ是ガ速成ヲ希望スル、又花園宮島間ニ至リマシテハ、初メ四十四議會ニ於キマシテ、吾々ハ此京若線ノ出發點ガ京都ノ花園ヨリ起

點トサレルコトヲ希望シテ居リマシタニ拘ラズ、京若線ガ他ノ地點ヲ以テ起點トサレマシタガ故ニ、其吾々ノ希望ヲ容レラレナカッタモノデアリマスカラ、補足ト致シマシテ花園宮島間ノ鐵道敷設ノ建議案ヲ茲ニ提出シタ次第デアリマス、ドウカ三案共ニ諸君ノ御賛成ヲ得タイト思ヒマス

次テ三案ハ大島實太郎君外一名提出宮津河守間鐵道敷設ニ關スル建議案(七七)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(七七)參看)

一六六 高等師範學校設置ニ關スル建議案

高等師範學校ヲ速ニ北海道ニ設置シ優秀ナル中等教員ヲ養成シ以テ中等學校ニ教員ヲ供給セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月二日伊藤廣幾君外七名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ阿部武智雄君外八名提出北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(六五)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(六五)參看)

一六七 借地法借家法並借地借家調停法施行ニ關スル建議案

政府ハ速ニ左記ノ各地ニ借地法、借家法及借地借家調停法ヲ施行セラレムコトヲ望ム

福岡縣

門司市

小倉市

八幡市

若松市

企救郡ノ内

足立村、板櫃村

遠賀郡ノ内

黒崎町、戸畑町

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

右建議ス

右八十二年三月二日吉田磯吉君外四名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

横山勝太郎君ハ質疑ヲ爲シ山内政府委員之ニ應答ス

本案ニ關聯シテ極メテ簡單ニ質問ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、第一ハ此借地法ノ第四條及借家法ノ第五條、此兩法ニ於キマシテ借地法ニ於テハ、借地權消滅ノ場合ニ於テ土地ニ附著セシメタル工作物ノ買取ヲ要求スル權利ヲ借地人ニ認メテ居リマス、又借家法ノ第五條ハ借家契約消滅ノ場合ニ於キマシテ、其家主ノ承諾ヲ經テ附著セシメテ居ル造作ノ買取ヲ要求スルノ權利ヲ借家人ニ認メラレテ居リマス、此二法律ノ適用ニ關シテ承リタイノデアリマスルガ、吾々ハ第四十四議會ニ於テ本案成立ノ際ニ、矢張此造作家屋ノ外ニ營業權ト云フモノヲ買取シテヤルノ必要ガアル、借地權消滅ノ場合或ハ借家權消滅ノ場合ニ於テ、營業權ノ買取ト云フコトヲ爲サナイナラバ、借家人ト云フモノハ何等ノ保護ヲ受ケナイト云フ結果ニナルカラシテ、此修正ヲ希望致シタノデアリマスルガ、當時政府當局モ之ニ對シテハ贊成ヲシナカッタノデアリマス、大正十年以來既ニ二年間此法律ヲ運用致シマシタ結果、司法當局ハ此吾々人民ノ側ノ要求ニ係ル營業權ノ買取ト云フコトノ必要ヲ認メタリヤ否ヤト云フコトニ質問ハ歸著スルノデアリマス、御承知ノ如ク今日ハ地所家屋ノ價ヨリモ、營業權ノ價ノ方ガ時ニ依リマシテハ數倍若クハ數十倍ノ價値ヲ持ッテ居ルノデアリマス、一例ヲ申上ダレバ淺草ノ仲見世或ハ銀座通或ハ神田ノ小川町ノ通或ハ中澁谷ノ道玄坂ノ如キ處ハ、地所家屋ノ時價ヨリモ營業權ノ方ガ遙ニ莫大ナル價値ヲ持ッテ居ルノデアリマス、淺草ノ仲見世ノ如キ家賃ハ二十圓カ二十圓ノ範圍デアリマシテ、之ヲ又賃

ヲスレバ優ニ百圓ノ家賃ヲ取ルコトガ出來ル、而シテ權利金ト云フモノモ最モ甚ダシイノニナリマス、五千圓乃至一萬圓ノ價値ヲ持ッテ居ルノデアリマス、中澁谷ノ道玄坂ノ如キ、銀座ノ如キ、神田ノ如キ、斯クマデ極端ニ參リマセケレドモ、營業權ガ重大ナル借家人ノ權利デアル事柄ハ、今日何人モ疑フ者ガナイノデアリマス、ソコデ實際此裁判所ノ此二ツノ法律ヲ運用スル有様カラ申シマス、現ニ法律ヲ適用シテ借地人若クハ地主ニ對シテ敗訴ノ言渡ヲ爲ス場合ニ於テ、其地上ニ存在シテ居ル家屋ノ賃借人ニ對スル營業權ヲ認メナイト云フコトニ付テ、非常ニ躊躇逡巡ヲ致シテ居ル狀況ヲ吾々ハ見ルノデアリマス、又或ル裁判所ノ判事ノ如キハ、東京市ニハ營業權ヲ買收スル習慣ガアルト云フコトヲ判決ニ於テ示シタ裁判官スラアル今日デアリマス、司法當局者ハ借地法及借家法制定ノ際ニ於キマシテハ、營業權買收ヲ認メナカッタノデアリマス、ガ既ニ本法ヲ適用シテ二年ノ今日ニナリマスル以上ハ、營業權ヲ認メタ方ガ宜シイト云フコトヲ認メルニ至ッタノデアラウト私ハ想像スルノデアリマスガ、其點ニ對スル當局ノ意見ハ如何デアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二ニ承リタイノハ、此借地借家調停法案ノ運用ニ付テ承リタイノデアリマスルガ、本案ハ政府當局ニモ御意嚮ガアッタノデアリマスルガ、是ハ政友會諸君ノ發意ニ依ッテ、衆議院ニ於テハ全會一致ヲ以テ借地法及借家法ノ適用ト同時ニ、特殊ノ裁判機關ヲ設ケタラドウカト云フコトノ要求ガアッテ、政府ガ此要求ニ聽イテ此法律ヲ作ッタノデアリマス、然ルニ此調停法ノ實際ノ運用ヲ見マスルト云フコト、此重大ナル法律ヲ五大都市ニ適用致シタルニモ拘ラズ、裁判所ハ殆ド何等ノ設備ヲ致シテ居ナイ、唯應接所其他ノ場所ニ調停室ト云フ一ツノ法廷ノ如キ室ヲ設ケタト云フ位ガ準備ノ主ナルモノデアリマシテ、之ガ爲ニ特ニ裁判官ヲ任命シタルコトモナク、之ガ爲ニ特ニ書記雇ト云フ補助機關ヲ設置致シタルコトモ無いノデアリマス、此故ニ東京區裁判所ノ判事ハ四十五件乃至六十件ノ事件ヲ扱ッテ居リマスガ、其事件ノ終ルノハ大抵一時カ一時半頃デアリマス、一時ヨリ早クハ濟マナイ、其四十五件乃至六十件ノ多數ノ事件ヲ扱ッテ既ニ疲勞シテ居ル所ノ判事裁判官ト云フモノガ、午後ノ二時頃カラポツポツ關係者ヲ喚ンデ、重大ナル事件ノ調停ニ著手スルト云フ有様デアリマス、此故ニ裁判官ト雖

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

モ人間デアリマスカラシテ、既ニ午前中カラ午後ニ互ッテ數十件ノ事件ヲ裁判シテ、若クハ書記ノ如キ者ニモ數時間法廷ニ在ッテ、而シテ又二時三時頃カラ調停ニ著手スルト云フヤウナ事柄ハ殆ド無理ヲ裁判官及書記ニ強ユルト同様デアルト考ヘマス、吾々ハ本案運用ノ初ニ當ッテ非公式ニ承ル所ニ依レバ、特別ニ調停ニ關スル官吏ヲ置イテ、サウシテ此調停法ノ運用ニ付テ遺憾ナカラシムル方針デアルト云フコトノ聲明ガアッタノデアリマスケレドモ、今日實際ノ運用ヲ見ルト何等ノ設備ヲ致シテ居ナイト私ハ見テ居リマス、之ガ爲ニ本案實行以來殆ド半年ニナッテ居リマスルガ、東京區裁判所ノ如キハ僅ニ百件ノ事件ヲ扱ッテ居ルニ過ギナイ、而シテ調停ニナッテ居リノミデハナイ、法律ノ缺點モアルノデアリマセウガ、折角地方裁判所ニ調停ノ場所ヲ設ケタケレドモ、未ダ一件モ之ヲ扱ハナイト云フ狀勢デアリマス、而シテ當該官吏ノ此調停事件ニ對スル取扱振ハドウデアアルカト申シマス、先ヅ裁判所ノ受付カラ、之ヲ運ブ人カラ、是ガ審理ノ任ニ當ル調停ノ判事、總テ調停法ノ運用ニ關シテ、殆ド形式的ニ訓示ヲ受ケテ居ルノミデアッテ精神的ニ進ンデ借地借家ノ紛争ヲ調停シテヤラウト云フ態度ヲ持ッテ居ラナイ、洵ニ本員等ハ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、司法當局ハ此調停法ノ運用ニ開シテ、如何ナル類字ヲ持ッテ居ルノデアリマス、又今後「ウ」云フ取扱ヲシテ本案ノ適用ヲ完全ナラシムル考デアリマス、之ヲ第二點トシテ承リタイ、第三トシテ承リタイノハ諸君モ御承知ノ通りニ、借地法及借家法ハ、東京及京都、名古屋、大阪、神戸、横濱ノ六大都市ニ先ヅ實施ヲ致シタイト云フコトハ、司法當局ガ帝國議會ニ於テ聲明セラレテ居ル所デアッタノデアリマス、所ガ今日ニ至ルマデ名古屋ノ裁判所ニ於テハ借地法モ借家法モ適用ニナッテ居リマセウ、即チ法律ヲ制定スルニ當ッテハ名古屋市及名古屋ノ隣接町村ニ對シテモ借地法及借家法ヲ施行致シテ、サウシテ借地人及借家人ヲ保護スルト云フ事柄ヲ政府ハ聲明シナガラ、何ガ故ニ名古屋市ニ限ッテ借地法及借家法ヲ適用シナイノデアルカ、洵ニ私ハ不可思議ニ堪エナイノデアリマス、是モ併セテ司法當局ノ辯明ヲ承ッテ置キタイ、是ダケヲ質問致シマス

山内政府委員ノ應答

御答致シマス、造作買収ノ關係ニ於テ、營業權ノ買取ノ義務ヲ地主家主ニ認メル意思ハ昔ハ無カッタガ、今ハ有ルカト云フ御尋デアリマス、此營業權ノ買収問題ハ色ニ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、借地人又ハ借家人ガ其借家ニ於テ、借地ニ於テ營業ヲ營ンデ居ッタ、其後借地權借家權ガ消滅シタ場合ニ他ニ移轉スルト云フコトニナルト、其處デ營ンデ居ッタ利益ヲ失フ、此事實ノアルコトハ私ハ認メル、併ナガラ之ヲ地主家主ニ買取ラシムルト云フコトニナリマス、地主家主ガ之ヲ買取ルニ付テノ利益ヲ持タナケレバナラヌト云フコトニナル、例ヘバ是ハ前ニモ申シマシタガ假ニ私ガ家主ト假定シマセウ、誰ニカ家ヲ貸シテ居ッテ其處デ營業ヲシテ居ッタ、サウシテ其處デ老舗ヲ得テ非常ニ利益ヲ得テ居ッタ、然ルニ借家權ガ消滅シタト云フコトニ付テ、私ガ營業ノ利益ヲ受ケルト云フコトハナイ、家主ガ地主ガ其時ニ造作ニ關スル利益ヲ受クベキ場合モアル、即チ其造作權ヲ又後デ他ノ借地人借家人ニ賣ッテ利益ヲ得テ居ルト云フ例ハ大分アル、サウ云フ場合ニ於テハ、矢張買取ノ義務ヲ認メルト云フコトガ適當ノヤウデアアル、併ナガラ是ハ東京全體ニ通ジタコトデハナイ、東京ノ一部ニ於ケル事デアアル、ソコデ此造作ニ關スル權利買取ノ義務ヲ五大都市ノ地主家主ニ一般ニ認ムルト云フコトガ善イカ惡イカト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナリマセウ、勿論東京ノ一部ニ於テ一般ニサウ云フ利益、詰リ買取ノ利益ノアルコトヲ認ムル、而シテ裁判所ニ於テモ所々ニ依ッテ其慣習ヲ認メテ居ル所モアルト考ヘルノデアリマスケレドモ、サウ云フコトニナルト、ソレヲ法律デ一括シテ規定スルトハ困難デアアル、故ニ或ハ慣習ニ基キ、又慣習ノマダ定ッテ居ナイ場所デアアルナラバ、是ハ調停ニ依ッテ各場合々々ニ依ッテ之ヲ審査スル方ガ適當デアアルマイカト考ヘマス、此借地法借家法ノ適用地域ト云フモノヲ日本橋ノ何所々ニ施行スルトカ、淺草ノ何所々ニ施行スルトカ、甚ダ困難デアリマス、之ヲ東京市全體或ハ大阪市全體ニ付テ適用スルト云フコトデナケレバ、法律ニ書クコトガ困難デアリマス、御問ノ趣旨ニ反對デアルト云フコトハナイガ、餘程ソコニ立法上ノ困難ガアルト云フコトヲ以テ御考ヲ願ヒタイ、ソレカラ其次ハ調停法律用ノ關係デアリマスガ、是ハ裁判官ハ熱心ガア

ルノデアリマス、唯今調停ノミト言ハズ、裁判官ノ數ガ事件ノ増加ニ伴ッテ増加シテ居ナイガ爲ニ裁判官ガ非常ニ忙シイト云フコトニナッテ居ルノハ事實デアリマス、併ナガラ是ハ東京大阪ノ大都市ニ限ツタコトデ、田舎ノ方ニ參リマスト云フト事件ガ少クテ、裁判官ガ閑デ困ルト云フ場所モアル、此點ニ付キマシテハ判事檢事ヲ都會ニ集中シテ、比較的閑散ノ場所ニハ英吉利ノヤウナ完全ナル巡回裁判デアリマセズガ、巡回的ニ仕事ヲサセテ以テ人員ノ整理ヲシヤウト云フコトデ、今ソレヲ攻究中デアリマス、サウシテ忙シイ都會ニハ多クノ判事ヲ置イテ、此調節ヲ圖リタイト思ッテ居リマス、サウナリマスレバ此點ニ於テ強テ裁判官ヲ殖サナイデモ、相當ニ事務ヲ執ル餘地ハ出來ルデアラウト考ヘマスガ、建物ノ問題デス、實ハ建物ニ困ッテ居ルノデス、今度ノ豫算デ東京ハ相當ニ建増ヲスルコトニ致シテアリマスケレドモ、差當リ建物ノ狹隘ナルガ爲ニ、而シテ訟廷等ニ於テヤルノハ調停ト云フコトカラ面白クナイ、ソレデ應接室等デヤッテ居ルノデアリマスガ、是モ適當ナ建物ヲ設ケタイト考ヘテ居リマス、併ナガラ之レアルガ爲ニ裁判官ニ熱ガ無イト云フノデハナイ、熱心ニナッテ居リマス、又ソレガ爲ニ當事者カラ調停ノ申立ヲ遠慮スルト云フヤウナコトモナカラウト思ヒマス、調停申出ノ數ハ五大都市ニ對シテ二百二十四ノ申立ガアッテ、其中調停ノ成立致シタモノガ百十五、不成立ノモノガ一、取下ガ二十七、而シテマダ未濟ノモノガ八十一、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、調停ノ結果ハ極メテ好イノデアリマス、ソレカラ名古屋市ニ借地法借家法及調停法ヲ何故ニ施行セザルヤト云フ御尋、是ハ其當時色ニ評議ヲシタノデス、名古屋市ニ於テハ借地借家法ヲ適用スルコトガ可ナリト云フ人ト、不可ナリト云フ人ガアリマシタ、又裁判官ノ方ニ於テモ當時名古屋市ニ借地借家法ヲ適用スルコトハ暫ク考ヘテ貫ヒタイ、斯ウ云フコトデ實施セズニ居ルノデアリマス、併シ是ハ今日ニ於テハ適當トスルト云フ意見ノ方ニ、裁判官ノ方ハ段々傾イテ居リマス、調査ノ上ニ適當ノ時期ニ於テハ實行シタイ、借地借家法ヲ施行スルノハ是ハ費用ガ要リマス、調停法ヲ施行スルニハ費用ガ要リマスカラ、適當ノ時期ニ於テ費用ヲ要求シテ之ヲ實施シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、獨リ名古屋ノミナラズ、其他マダ順次此施行ノ範圍ヲ經驗ノ結果トシテ擴張スベキ場所ハ他ニモアルト考ヘテ居リマス、是ダケノ事ヲ御答シテ置キマス

横山勝太郎君ノ再質疑

只今山内政府委員ノ最後ノ答辯ニ關シ、今一言質問ヲ致シテ置キタイト思ヒマスガ、名古屋市ニ借地法及借家法ヲ行ハナイ理由ハ、政府當局ニ於テ御意見ガアッタト云フヤウニ承リマス、ソレハ其通りデアリマセウ、唯私ノ質問セントスル事柄ハ司法省ノ内部ニ於テ此兩法案ヲ名古屋市ニ實行スルノガ宜シイカ、惡イカト云フコトノ議論ノ起リシ原因ヲ、或責任アル人ノ答アル所ニ依レバ、司法省内部ニ於テ議論ノ起ル以前ニ、即チ司法省ニ於テハ當然名古屋市ニモ此兩法案ヲ實行スルト云フ意見デアッタノデアリマスルガ、愛知縣ノ某貴族院議員ノ一人ガ、司法當局ニ名古屋ニハ斷ジテ此法律ヲ實行シテ吳レテハ困ルト云フコトノ抗議ガ持出サレタ、而シテ後ニ司法省内部ニ於テ、其議論デニツニ較レルヤウニナッタヤウニ承ッテ居リマスガ、果シテ然ルヤ否ヤ、果シテサウデアルトスルナラバ、司法當局ハ四十四議會ニ於テ帝國議會ニ聲明シタル事ヲ裏切ッテ、殊ニ民意ニ依ッテ作ラレタル此兩法案ニ對スル司法當局ノ態度ガ、甚ダ曖昧デアルト云フコトヲ言ハネバナラヌ、又名古屋ト云フ一地方ニ於テ一ノ貴族政治ヲ行フモノデアルト、斯ウ云フ事ニナルト私ハ考ヘル、而シテ此兩法及調停法ヲ同時ニ適用スル事ニ付テハ、同地方ノ要求ハ誠ニ熾烈ナルモノガアリマス、故ニ實行スルコトニ近ヅキツ、アルト云フヤウナ要領ヲ得ナイ答辯デナクシテ、何年度カラ之ヲ行フト云フ事柄ヲ、的確正明ニ此席ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイト考ヘマス

山内政府委員ノ應答

御答致シマスガ、法律施行ノ評議ヲ爲ス際ニ、名古屋ノ貴族院議員ガ抗議ヲ申込ダト云フコトハアリマセヌ、但シ貴族院ニ於テ之ヲ議スル際ニ、其意見ノアッタコトハ私ハ知ッテ居リマス、併ナガラソレハ意見トシテ私ハ聽イテ居リマシタケレドモ、此一人ノ意見ニ基イテ貴族政治ヲ施

クト云フ考ハ私ハ持チマセヌ、爾來各地ニ就テ調ベマシタ際ニモ、例ヘバ例ヲ引クト福岡縣邊リモ、裁判官等ニ於テ少シク躊躇ヲシテ居ル、ソコデサウ云フ風ニ躊躇シタ例ト云フモノハ所々ニアル、殊ニ借地法、借家法ニ區別シテソレハ議論ノアル所ダカラ、暫ク調査ヲシタ上費用ノ關係ヲ考ヘテ、之ヲ實施シヤウト云フ事ニ相成ッテ居ルノデアリマス、來年度カラトカ、或ハ年度ヲ定メテ、何時實施スルト云フコトヲ竝ニ斷言セヨト言ハレマスガ、斷言ハ致シマセヌ

六テ本案ハ横山勝太郎君外二名提出借家法中改正法律案(一四)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十六日本案ヲ院議ニ付シ委員長北井波治目君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス極テ簡單デアリマスカラ此席カラ御許ヲ願ヒマス、此案ハ借地法借家法並其調停法ヲ福岡縣ノ小倉或ハ若松ノヤウナ樞要ノ地ニ施行シテ貫ヒタイト云フ趣旨デアリマス、其理由ハ、同地方ハ近來非常ニ發達シテ、地主ト家主トガ多クナッタ故ニ、其間ニ於テ借地借家ニ對スル紛争ガ多イノデアリマス、故ニ之ヲ此地方ニ施行シテ貫ヒタイト云フ趣旨デアリマス、政府ハ此建議案ニ付キマシテ此趣旨ニ贊成サレテ居リマスガ、唯實行上ハ他ニモ同様ノ地方ガ多イノデアッテ、財政ノ都合モアルカラ之ヲ直グ行フコトニ付テハ考慮ヲ要スルケレドモ、此趣旨ニ適フヤウニ成ベク努メルト云フコトデアリマシタ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

院議異議ナク原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一六八 土浦江戸崎間鐵道速成並江戸崎郡間鐵道敷設ニ關スル建議案

曩ニ阿見海軍飛行場ノ設置セラレタル以來土浦江戸崎間ノ交通ハ日ヲ追フテ頻繁トナリ鐵道ノ要求ハ一日モ緩ウスヘカラサルニ至レリ依テ政府ハ軍事上經濟上ノ見地ヨリ速ニ本鐵道ヲ速成シ次テ江戸崎郡間ノ新線ヲ敷設シ常總兩國ノ連絡ヲ遂行シ本鐵道ノ機能ヲ全ウセラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月二日高野毅君外一名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(高野毅君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今日程ニ上リマシタル土浦江戸崎間ノ鐵道速成並江戸崎郡間ノ新線敷設ノ建議案ニ付テ簡單ニ理由ヲ説明致シマス、江戸崎土浦間ハ是ハ鐵道網ニ入ッテ居リマシテ、何等カノ時代ニハ敷設サレルコトニナルダラウト思フノデアリマスガ、此間ニ於キマシテ阿見飛行場、即チ海軍ノ大規模ノ飛行場ガ設置サレマシテ以來、交通運輸ノ必要ヲ感ジマシテ、只今ノ所デハ之ナキガ爲ニ非常ニ其地方ニ於ケル困難ト云フモノハ大ナルモノデアリマス、第二ニハ此我國ノ第二ノ淡水湖タル霞ヶ浦ノ水産物ト云フモノガアリマシテ、此産額ト云フモノモ亦多大ナモノデアリマスケレドモ、今日ノ場合ハ是モ未ダ利益ヲ得ルコトニ付テ、交通ノ便ガナイ爲ニ非常ニ困憊シテ居ル次第デアリマス、此江戸崎郡間ト云フモノハ矢張土浦江戸崎間ノヨリ以上ニ、農産物及水産物ト云フモノハ多額ノ産出ガアリマス、ケレドモ是モ交通ノ不便ノ爲ニ今日願ミラズシテ、其利益ヲ放擲シテアルヤウナ始末デゴザイマス、此外ニ於テ若シ此鐵道ガ敷設サレマシタナラバ、我國ノ最モ舊キ即チ神代ヨリ東國ノ鎮守トシテ在シマス所ノ鹿島、香取ノ兩神社、此參拜者ニ非常ナ

便益ヲ與フル線デアリマス、殊ニ此線ハ一方ハ土浦ガ常磐線ノ大停車場デアリマス、郡ハ佐原線ニナツテ居リマシテ、此間ガ出來マシタナラバ、常磐線ト兩國線トノ聯絡ガ付キマシテ、非常ニ緊要ノ線路ニナツテ居ルデアリマスカラ、詳細ノ事ハ何レ委員會デ申上ゲマスケレドモ、大體説明ヲ致シテ置キマスガ、御審議ノ上ニ御賛成アランコトヲ希望致ス次第デアリマス
次テ本案ハ中野寅吉君外三名提出柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(一)外十八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六六)參看)

一六九 四國大學設置ニ關スル建議案

四國ニ一ノ大學ヲ設ケテ同地方ニ於ケル文化ノ發展ニ資シ併テ一般最高教育ノ便宜ヲ増進スルコトハ極メテ必要ナリト認ム故ニ政府ハ此ノ方針ヲ以テ適當ノ措置ヲ執リ其ノ實現ニ努メラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月二日蓮井藤吉君外十七名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣

旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ有島秀雄君外三名提出東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(五四)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五四)參看)

一七〇 二條三宅間鐵道敷設ニ關スル建議案

京都府二條ヨリ福井縣三宅驛ニ至ル間ニ鐵道ヲ敷設スルハ刻下ノ急務ナリト認ム依テ政府ハ速ニ之ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月二日安原仁兵衛君外一名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(安原仁兵衛君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本建議ノ線路ハ京都ノ二條驛ヲ起點ト致シマシテ、福井縣ノ三宅ニ通ジマスル線路デアリマス、其間ニ於キマシテハ陸軍ノ大演習地アリ又絹織物ノ大ナル産地ガアル譯デアリマス、産業上又

軍事上重要ノ線路デアル譯デアリマス、ドウカ御審議ノ上御賛成アラシテ希望シマス
次テ本案ハ大島實太郎君外一名提出宮津河守間鐵道敷設ニ關スル建議案(七七)外五件委員ニ併セ
付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セ
リ

(議事ノ經過及結果ハ本項(七七)參看)

一七一 中等教育機關擴張ニ關スル建議案

中等教育機關ノ擴張ハ我カ國刻下ノ急務ナリト信ス政府ハ速ニ案ヲ具シテ本期議會ニ提出セラ
レムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年三月三日押川方義君之ヲ提出ス三月十五日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ
省略ス

次テ本案ハ荒川五郎君外四名提出入學難緩和ニ關スル建議案(五二)委員ニ併セ付託スルニ決ス委
員ハ審査ノ末(五二)案ト併合シテ一案ト爲シ表題ヲ『入學難緩和ニ關スル建議』ニ改メ修正スヘキモノ

ト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會並議事ノ經過及結果ハ本項(五二)參看)

一七二 漢學振興ニ關スル建議案

本院ハ曩ニ全院一致ヲ以テ漢學振興ヲ刻下ノ急務トシ政府ニ適當ナル方法ヲ施サムコトヲ再度
建議シタリ此ノ趣旨ニ基キ政府ハ速ニ追加豫算案ヲ提出シ其ノ施設ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年三月三日木下成太郎君外十八名之ヲ提出ス三月五日本案ヲ院議ニ付シ提出者(木下成
太郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ四十四議會及四十五議會、此ノ兩度ノ議會ニ於キマシテ、政黨政派ヲ超越シタル所ノ問題
トシテ取扱ハレタ案デアリマス、而シテ四十四議會ニ於ケル所ノ漢學振興ニ關スル建議案ノ理
由ハ、戸水博士ガ説明サレタノデアリマス、四十五議會ニ於キマシテハ、山本悌二郎君ガ説明ヲ
シ、副島博士ガソレニ賛成ノ説明ヲシタト云フ都合デアリマシテ、本案ニ付キマシテハ勿論説明
ノ要ハ無イノデアリマス、左リナガラ其以來政府ハ何等カノ施設ヲ致シマシテ此建議案ノ趣旨
ニ副フベク直ニ實現センケレバナラヌ答デアリマス、然ルニ今尙ホ政府ガ此建議案ノ
趣意ニ副ヒマシテ施設ヲ致サレヌノデアリマスガ故ニ、三たび此建議案ノ提出ト云フ都合ニナッ

タノデアリマス、蓋シ本案ヲ提出シマスル理由、而シテ最モ急ヲ要スルト云フコトハ、是ハ申スマデモゴザイマセヌ、各政黨各派ニ於キマシテモ、現代世界文明ニ貢獻致スベキコトハ何デアルカト申シマスレバ、詮ジ詰メレバ即チ漢學ヲ振興スルト云フ事ヨリ外ニハ途ガナイト思ッテ居リマス、而已ナラズ古典ヲ研究致シマシテ、而シテ東洋文明ノ淵源ヲ討究致シ、ソレニ依ッテ胚胎シ來ル所ノモノガ我國ノ國民性ト云フモノヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ歐羅巴ニ於キマシテモ、希臘古典ノ如キ是ガ「クラシック」トナッテ居ルノデアリマス、今日ノ物質文明ニ走ッテ居リマス此世ニ於キマシテハ、尙更一面ニ於テ精神文明ノ開拓ト云フモノガ必要アルコトハ申スマデモナイノデアリマス、所謂易ノ賁ノ卦ヲ御覽ニナルト分リマスガ、世界ガ物質文明ニ走ッタ其場合ニハ、必キ精神文明ノ唱道ト云フモノガナクテハナラヌノデアリマス、ソレ故ニ六四ノ卦ニ於テハ、御承知ノ如ク饒如タリ、賁如タリ、或ハ白馬、斯ウ云フ言葉ガアル、是ハ詳シク申上ゲマスルト長クナリマスカラ、先ヅ其邊ニ止メテ置キマスガ、天文ヲ觀テ時變ヲ識リ、人文ヲ觀テ天下ヲ化成ス、是カラ即チ現在行ハレテ居リマス所ノ文化ト云フ言葉ガ出テ來テ居ルノデア、決シテ文化ト云フ言葉ハ新シイ言葉デナイノデアアッテ、三千年以前カラアル、古イ言葉デアアルノデアアル、故ニ吾々ガ唱道ヲ致シテ居リマス所ノ此漢學ヲ振興シヤウト云フノハ、新シイ人ミガ唱ヘテ居ル所ノモノハソレハ古イモノデアアル、吾々ガ唱ヘルノガ即チ新シイモノデアアル、此事ガ能ク徹底致シマシタナラバ、今ノ各方面ニ漲ッテ居ル所ノ社會ノ惡風ト云フモノハ、根柢カラ或ハ芟除セラレハシナイカ、況ヤ最高理想ノ點ニ向ッテ進ンテ參ル時分ニナリマスレバ、勿論精神方面ノ教育、之ヲ要スルコトハ申スマデモナイノデアリマス、吾々ハ大處高處ニ立ッテ、而シテ高キ高キ靈處ニ大ナル炬火ヲ點ジテ居ルノデアアル、其高キ處ニ燃エテ居ル所ノ火、ソレヲ目的トシテ御互ニ進ンデ居ルノデアリマス、去リナガラ精神方面ノ教育ガ足リマセヌ爲ニ、所謂大理想ヲ實現スルコトガ出來ナイノデアリマス、故ニ社會ヲシテ秩序アラシメ、又人文ノ上ニ於キマシテ、社會ガ所謂平和、所謂世界ガ正義人道、此事ノ實現ヲ致サウト云フノニハ、申スマデモゴザイマセヌ、庄百ノ禮三千ノ威儀、是ガ行ハレテ始メテ世界ノ平和、人道正義ト云フモノガ行ハレルノ

デアリマス、平和、人道、此内容精神ハ申スマデモアリマセヌガ、忠孝仁義ト云フコトニナル、此内容精神方面ノ事ガ、我國ニ於テハ所謂國體ニ醇化シタ所ノ儒教デアリマスガ、此事ガ我國カラシテ能ク唱道セラレ、高唱セラレ、又世界ノ人ミニ理解ガ出來マシタナラバ、我國ト云フモノハ必シモ軍國主義デナイト云フコトガ能ク分ルノミナラズ、我國ノ皇道ト云フモノヨリ世界ニ宣明スルコトガ出來、皇室中心主義トシテ吾々ガ高唱シテ居ルコトモ能ク分ル次第デアリマス、然ルニ現代是等ノ事柄ガ動モスレバ閑却セラレントスル傾ガアルノハ、頗ル遺憾ノ至リデアリマス、殊ニ御案内ノ如ク山鹿素行ノ中朝實錄デアリマストカ、或ハ會澤先生ノ一心錄トカ、乃至藤田東湖ノ常陸帶デアリマストカ、此方面ノ本ヲ調べマス、所謂忠孝仁義ノ事ハ固ヨリ、正義人道ト云フコトモ皆能ク分ッテ參ルノデアリマス、去リナガラ是等ノ事ヲ調べマスルニ當リマシテモ、今日ノ國民教育ノ此程度ニ於テハ、到底此本ガ讀メナイト云フコトニナル、隨テ是等ノモノヲ讀マセルヤウニスルノニハ、教育制度モ變ヘンケレバナリマセヌ點モ出テ參リマセウシ、隨ッテソレ等ヲ教ヘル所ノ教師其者自身ニ於テ、精神的ニ彼等ヲ教ヘ得ラレルカドウデアアルカト言ヒマスレバ、私共カラ見レバ、今日ノ教師其者ガ精神ニ於テ既ニ萎靡致シテ居ルノデアリマス、故ニ此建議案ヲシテ具體化シ、又之ヲ實現致シマシタ場合ニハ、必ズ精神アル所ノ教師ト云フモノヲ養成スルコトガ出來マシテサウシテ、世界ノ文化ニ向ッテ大ニ貢獻スベキ所ノ子弟ト云フ者ガ多ク出ララウ、我國ノ又國民性ト云フモノヲ涵養スルコトガ出來ルノデアラウ、所謂口ノ先デ言ウテ居ル所ノ皇室中心許リデナシニ、實際ノ皇室中心主義ト云フモノモ是モ了解出來、所謂東洋ノ永遠ノ平和ト云フモノモ之ニ依ッテ把持スルコトガ出來、又我國古來ノ古典ト云フモノヲ研究致シマスレバ、我國ノ美風良俗ト云フモノモ之ヲ維持スルコトガ出來ル、多クノ廣イ意味ニ於キマシテ世界ノ文化ニ貢獻ヲ致シタイ、此爲ニ此建議案ヲ之ヲ數回出シテ居ル次第デアリマスカラ、ドウゾ其邊ニ付キマシテハ十二分ノ御同情ヲ願ヒマシテ、サウシテ御賛成アラントトヲ希望致ス次第デアリマス。

次テ本案ハ議長指名(九名)ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌六日委員會ヲ開

キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月八日議事日程ヲ變更シ本案ヲ院議ニ付シ理事吉良元夫君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

只今上程ニ相成リマシタ漢字振興ニ關スル建議案ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此建議案ノ委員會ハ去ル六日ニ委員會ヲ致シマシテ、多少ノ質問應答ガゴザイマシタガ、要スルニ今日漢學ト申シマスルト、大變耳障リニナルカハ存ジマセヌケレドモ、兎ニ角東洋固有ノ文化、今日ハ全ク日本學ト云ウテ宜シイ、唯、漢文ヲ以テ傳ヘラレタル所ノ儒教ノ精華及東洋傳來ノ古典ヲ研究保存ヲ致シテ、サウシテ大ニ此一大真髓ヲ發揮セネバナラヌト云フコトニ付テ、佐久間啓莊君、有森新吉君、其他ヨリ色々當局ニ質問應答ガゴザイマシタガ、之ニ對スル質問應答ノ經過ハ、委員會ノ速記ニ依ッテ御覽ヲ下サルヤウニ願ヒマスガ、大體ニ於キマシテハ當局文部大臣モ大ニ御贊成デアリマシテ、此案ハ即チ政黨政派ヲ超越シタ問題デアッテ、四十四議會、四十五議會共ニ全會一致デ通過シテ居リマス、デ此度モ遂ニ大藏當局モ之ヲ可決ニナレバ、相當ナル之ヲ實現スルニ對スル所ノ費用ノ支出ト云フコトモ致スト云フ御言明デアリマシタ、就テハ滿場一致之ヲ可決シタ次第デアリマス、願クバ本會議ニ於テモ御贊成アラシコトヲ希望致シマス

院議異議ナク原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一七三 地租過納金下付ニ關スル建議案

政府ハ速ニ改正地租金ト地租改正著手中舊貢額ニ依リ收入シタル金額トノ過不足ヲ決算シ過納

ニ屬スル金額ハ之ヲ下付スヘキ法律案ヲ制定セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月三日日野辰次君外九名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(日野辰次君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

我國ノ地租改正ハ明治ノ初年ニ行ハレタノデアリマシテ、其當時政府ハ地租改正ニ著手中デアッテ、マダ地租金額ガ確定セザル年度ノ分ハ、舊稅額ニ依ッテ稅ヲ納メテ居ルノデアリマス、仍テ其他地租改正事業ガ完了致シマシタ後ニ於テ、舊稅額ト新稅額トノ過不足ヲ決算シテ、過納ニ屬スル金額ハ一般ニ之ヲ下付シテ居ルノデアリマス、然ルニ獨リ鹿兒島縣ニ於キマシテハ、明治七年ニ地租改正ニ著手シタノデアリマスルガ、明治十年戰亂ガ起リマシタ爲ニ、之ヲ中止スルノ已ムヲ得ザルニ至ッテ、漸ク十二年ニ此事業ハ完成シタノデアリマス、其間ノ租稅ハ依然トシテ舊稅額ニ依ッテ納メテ居ッタノデアリマス、仍テ明治七年以降ノ舊稅ト改正時ノ稅額トノ差引ヲシテ他府縣同様其過納金ヲ下付相成ルベキ筈デアリマスニモ拘ラズ、此事ナクシテ今日マデ立至ッテ居ルノデアリマス、是ハ縣民ガ非常ニ遺憾トスル所デアリマシテ、絶エズ大藏省ニモ懇ヘ、又本院ニ請願書ヲ差出シマスルシ、又以前ノ四十五議會ニ於テハ建議案ヲ提出致シマシテ、本院ニ於テ皆様ノ御同情ヲ以テ可決セラレテ居ルノデアリマス、仍テ政府ハ速ニ此過納金ノ下付ニ付テ法律案ヲ制定シテ戴キタイト云フノガ、此建議案ノ要旨デアリマス、ドウゾ重ネテ諸君ノ御同情ヲ祈リマス

次テ本案ハ林田龜太郎君外一名提出明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(三)外十件委員ニ

併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十三日本案ヲ院議ニ付シ委員日野辰次君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

此席カラ申上ゲマス、此建議案ニ對シテ政府委員ガ反對サレマシタケレドモ、委員會ハ建議案ノ主張スル所ヲ正當ナリト認メテ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決致シマシタ、詳シイコトハ速記録ヲ御承知ヲ願ヒマス、此段御報告申上ゲマス

院議異議ナク原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一七四 日本海沿岸鐵道完成ニ關スル建議案

新潟市ハ古來我カ國五大開港ノ一タリシノミナラス輒近市勢ノ發展著シク商工業ノ振興亦見ルヘキアリ殊ニ築港工事ハ今將ニ完了ヲ見ルニ至ラムトス又上越鐵道ノ敷設ニ依テ關東地方ニ近邇シ羽越鐵道ノ全通ト阪町、米澤間分岐線ノ開通トニ依テ奥羽東北及北海道地方ニ接近セムトスルノ状態ニ在リ是等諸種ノ事業ニシテ實現セムカ新潟市ハ實ニ日本海沿岸ニ於ケル一大要港トシテ交通機關ノ中心トナルニ至ルヘシ然ルニ北陸線ヨリ羽越線ニ連絡スル鐵道幹線ニ於テ新潟市ハ新津驛ヨリ往復一時間ヲ要スル分岐線ニ在リ之レ交通機關ノ整備海陸連絡ノ上ニ於ケル一大缺點ナリト謂ハサルヘカラス此ノ際政府ハ速ニ新潟新發田間ニ直通鐵道ヲ敷設シ同時ニ

柏崎ヨリ新潟ニ至ル越後鐵道ノ一部ヲ買收スルノ計ヲ立テ以テ日本海沿岸鐵道ノ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月三日高橋金治郎君外四名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(丸山嵯峨一郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今日程ニ上リマシタ日本海沿岸鐵道完成ニ關スル建議案、是ハ憲政會ノ諸君ニモ御同情ヲ辱フシテ居リマス、昨年モ是ハ通過致シテ居ッタ建議案デアリマスルノデ、至ッテ簡單ニ其理由ヲ申述ベル次第デアリマス、新潟縣下ニ通ズル各鐵道ハ新潟港ヲ中心トシテ主ニ建設セラレテアルノデアリマス、所ガ近頃ニ至リマシテ其交通系統ノ上カラ見マスルト、尙ホ遺憾ニ堪ヘナイ點モアルノデアリマス、ソレ故ニ此交通系統ヲ改良スル爲ニ、本建議案ヲ提出シタヤウナ次第デアリマス、日本海沿岸鐵道ヲ完成スルト云フ事柄ハ新潟縣柏崎カラ新潟市マデノ間ニハ、既成ノ私設會社越後鐵道ト云フモノガアリマス、之ヲ買收致シマシテ、更ニ新潟市ヨリ十七哩延長致シマシテ、新發田驛ニ之ヲ達セシムル、サウスレバ此日本海ノ沿岸鐵道ガ寔ニ系統好ク連絡ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトデアリマス、詰リ北陸線ガズット羽越線ト通ジテ、青森マデ達スルコトガ出哩アリマス、此所ヲ往復シテサウシテ僅カニ運轉ヲヤッテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、自然此不便ト云フモノヲ改良セネバナラヌ、本建議案ハ詰リ此一ツノ不便ヲ改良スルト同時ニ、又御承知ノ通り新潟港ト云フモノモ近キ日ニ於テ完成ヲ致シマス、サウシテ又此沿岸ニ於キマシテ、昨日モ建議ニナッテ居リマシタ寺泊築港ガ出來マシタナラバ、新潟港ノ副港トシテ更ニ海陸ノ連絡

ヲ完備スルコトガ出來ルノデアリマス、旁此沿岸鐵道ハ目下必要ニ迫ッテ居ルノデアリマス、是非共諸君ノ滿場一致ノ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス、

次テ本案ハ中野寅吉君外三名提出柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(一)外十九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(六六)參看)

一七五 國有林野法中改正ニ關スル建議案

國有林野法第十八條第一項及第二項ヲ左ノ如ク改正セラレムコトヲ望ム

國有林野ニシテ保護上必要ナル場合又ハ市町村若ハ其ノ一部ノ産業上必要ナル場合ニ於テハ市町村若ハ其ノ一部ニ保護ヲ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ受託者ニ林野產物ヲ讓與シ又ハ其ノ主產物賣拂代金ノ十分ノ三ヲ讓與スルコトヲ得

右建議ス

右ハ十二年三月三日八田宗吉君外三名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ安達謙藏君外四名提出農村振興ニ關スル建議案(四七)外十三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

一七六 廣尾港修築速成ニ關スル建議案

十勝國廣尾港ヲ速ニ修築セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一七七 根室港修築工事ニ關スル建議案

根室港修築工事ノ設計ヲ改訂擴張シ之カ修築ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一七八 上士幌ルベシベ間鐵道速成ニ關スル建議案

十勝國上士幌ヨリ石狩國ルベシベニ至ル鐵道ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一七九 厚床斜里間鐵道速成ニ關スル建議案

根室線厚床驛附近ヨリ分岐シ標津ヲ經北見國斜里ニ至ル鐵道ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一八〇 釧路相生間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路國釧路ヨリ北見國相生ニ至ル鐵道ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一八一 芽室トムラウシ間鐵道速成ニ關スル建議案

十勝國芽室ヨリ「トムラウシ」附近ニ至ル鐵道ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

一八二 釧路網走間鐵道工事速成ニ關スル建議案

釧路網走線鐵道工事ヲ釧路方面ヨリモ起工シ其ノ速成ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右七案ハ孰レモ十二年三月三日小池仁郎君外六名之ヲ提出ス三月十四日七案ヲ一括シテ院議ニ付シ提出者(小池仁郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今議題トナリマシタ建議案ノ説明ヲ致シマス、港灣ノ修築ガニツ、即チ廣尾港修築速成ニ關スル建議案、根室港修築工事ニ關スル建議案、他ノ五件ハ鐵道ノ速成ニ關スル建議案デアリマシテ、上土幌「ルベシベ」間鐵道速成ニ關スルモノ、厚床斜里間鐵道速成ニ關スルモノ、釧路相生間鐵道速成ニ關スルモノ、芽室「トムラウシ」間鐵道速成ニ關スルモノ、釧路網走間鐵道工事速成ニ關スルモノ、斯様ニ相岐レルノデアリマス、而シテ是等ノ諸案ヲ各案毎ニ辯明致シマスルト大分時間ヲ費シマスカラ、一括シテ説明ヲ試ミタイト考ヘテ居リマス、是等ノ諸案ハ北海道ノ東ノ方面ノ開拓ヲ促進スルニ必要ナル仕事デアアル、斯様ナル趣意ニ歸著致シマス、北海道ハ御承知ノ如ク六千三百方里ノ廣大ナル面積ヲ有シ、其半バ三千餘平方里ガ北海道ノ東ニ屬シマス、然ルニ今日開拓ノ狀況ハ人口ヲ以テ申シマスレバ、約四分ノ一北海道全道二百四十萬ノ中六十萬ハ東ノ方面ニ居ル人口デアリマス、土地ハ北海道ノ半分ヲ持テ、而シテ人口ハ四分ノ一ヨリ無イト致シマスルナラバ、東ノ方面ガ如何ニ開拓ガ遅レテ居ルカ、是ハ事實ガ證明シテ居リマス、故ニ是等ノ未開ニ屬スル土地ノ開拓ヲ促進スルノ方法トシテハ、幾多ノ事業ガアリマスケレドモ、先ヅ鐵道、港灣治水等ノ各種ノ事業ノ必要ナルコトハ、私ノ喋々ヲ要セナイ事デゴザイマス、故ニ茲ニ此本案ヲ提出シ、諸君ノ御贊同ヲ得テ、此事業設備ヲ完成シ、北海拓殖ノ實ヲ促進スルト云フ趣意ニ外ナリマセヌ、各案ニ對スル特殊ノ關係若クハ其各案ノ使命テ付テノ大要ハ、理由書ニ明記シテゴザ

イマス、若シ皆サンノ中ニ御尋ヲ爲サリタイ事ゴザイマスレバ、出來ルダケ御質問ニ答ヘル積リデアリマス、願クバ御賛成アラシムコトヲ希望シマス

次テ本案ハ阿部武智雄君外八名提出北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(六五)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員曾ハ審査ニ著手シタルモ孰レモ報告ヲ經ルニ至ラザリキ

一八三 僧侶其ノ他諸宗教師ニ被選舉權付與ニ關スル建議案

僧侶其ノ他諸宗教師ハ國法上他ノ國民ト等シク國家ノ各種ノ義務ヲ負擔スルニ拘ラス一般國民ノ享有スル各種ノ被選舉權ヲ付與セラレサルハ立憲治下ニ於テ遺憾トスルトコロナリ故ニ現行制度ヲ改正シテ總テノ議員被選舉權ヲ僧侶其ノ他諸宗教師ニ付與スヘク政府ハ速ニ適當ノ方法ヲ講スヘシ

右建議ス

一八四 航空輸送補助ニ關スル建議案

政府ハ速ニ民間航空輸送補助法ヲ制定シ以テ本邦航空事業ノ發達ヲ計ルヘシ

右建議ス

一八五 航空路設置ニ關スル建議案

政府ハ速ニ重要都市間ニ航空路ヲ整備シ以テ本邦航空界發達ノ基礎ヲ確立スヘシ

右建議ス

右第一案ハ十二年三月二日安藤正純君外一名第二、第三案ノ一案ハ同日安藤正純君之ヲ提出ス二月十五日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ第一案ハ濱田國松君外八名提出市制中改正法律案(三七)外七件委員ニ、第二、第三案ノ二案ハ近藤達兒君提出科學研究機關統一ニ關スル建議案(一四一)外四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末第二、第三案ハ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(第二(八四)、第三案(八五)ニ對スル議事ノ經過及結果ハ本項(二〇四)參看)
第一案(一八三)ハ報告ヲ經ルニ至ラザリキ

一八六 津居山港修築ニ關スル建議案

政府ハ宜シク丸山川改修工事ト同時ニ津居山港ヲ修築スヘシ

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第六項 上奏案及建議案

右建議ス

右ハ十二年三月三日松山常次郎君外一名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(松山常次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ノ説明ハ簡單デアリマスカラ、本席ニ於テ説明ヲ爲スコトノ御許可ヲ願ヒマス、津居山港ハ但馬國山川ノ河口ニ在ル要港デアリマス、阪神地方ヨリ日本海ニ達スル最短距離ニ在リマシテ、山陰地方ヨリ朝鮮、滿洲、西伯利方面ニ連絡スル要衝ニ當ッテ居リマス、圓山川ノ改修工事ハ既ニ著手セラレテ居リマスルガ、河口ニ於テ堆砂ヲ除却スル工事ヲ必要ト致シマス、本修築工事ハ其除却工事ト關聯致シマシテ、相倚リ相助ケテ必要ナルモノト思フノデアリマス、故ニ此圓山川改修工事ノ效果ヲ完全ニスル爲ニ、是非此本工事ハ行ハナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、ドウカ諸君ノ御贊同ヲ願ヒマス

次テ本案ハ大島實太郎君外二名提出舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方善後ニ關スル建議案(六)外九件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

一八七 高知新居濱間鐵道敷設ニ關スル建議案

高知縣高知ヨリ土佐郡鏡及長岡郡太井ヲ經テ愛媛縣新居濱ニ至ル鐵道ノ敷設ハ單ニ四國三縣ノ聯絡中心線ノ一トシテ必要ナルノミナラス中國九州ノ聯絡上重大ナル意義ヲ有シ之カ敷設ハ交通運輸上將又産業上實ニ重要且急務ナルヲ認ム依テ速ニ該鐵道ヲ敷設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月五日大石大君外六名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ矢野丑乙君外三名提出八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案(一八)外十二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(三七)參看)

一八八 大垣、大野、金澤間鐵道速成ニ關スル建議案

一 岐阜縣大垣ヨリ福井縣大野ヲ經テ石川縣金澤ニ至ル間百三哩ノ鐵道

右ハ本邦中部ニ於ケル橫斷鐵道トシテ産業開發ノ爲急設ノ必要アルモノト認ム政府ハ速ニ計畫

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第六項 上奏案及建議案 二千三百二十三

ヲ立テ之カ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム開闢ノ發念雖ハ急要マシキモ、
右建議ス

右ハ十二年三月五日川村數郎君外四名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(木村作次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

大要ノ説明ヲ此席ヨリ爲スヲ御許ヲ願ヒマス、東海道線ノ主要驛タル大垣ヨリ越前ノ大野町、加賀ノ金澤ニ達スル百二哩ノ鐵道ヲ速ニ著手セラレタイト云フ趣意デアリマス、本鐵道ガ出來ル曉ハ、既ニ出來テ居ル所ノ公私ノ線ヲ利用致シマシテ、北ハ七尾伏木ノ日本海諸港、太平洋四日市港ニ連絡シテ、其ノ間ニ於ケル山林鑛山ヨリ新ニ産ミ來ル利害ハ莫大デアルト信ジテ居リマスカラ、滿堂ノ御贊同ヲ請ヒマス

次テ本案ハ大島實太郎君外一名提出宮津河守間鐵道敷設ニ關スル建議案(七七)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セ

出リ
(議事ノ經過及結果ハ本項(七七)參看)

一八九 支笏湖及俱多樂湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

北海道膽振國支笏湖及俱多樂湖ヲ中心トスル國立公園ヲ設定セラレムコトヲ望ム
右建議ス

一九〇 室蘭港灣設備速成ニ關スル建議案

北海道室蘭港ハ北海道ノ礦產物及工業品ノ輸出港トシテ最緊要ナル港灣ナリバナマ運河開通以來外國船ノ出入年ヲ追フテ増加スルニ拘ラス港灣トシテ水陸ノ設備極メテ不完全ナリ政府ハ速ニ其ノ設備ノ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十二年三月五日小池仁郎君外六名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(小池仁郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

第四十三、支笏湖及俱多樂湖ヲ中心トシテ國立ノ公園設定ニ關スル建議案ハ、是ハ現今國立公園設置ノ調査ヲ進メラレテ居ル場合デアリマスカラ、北海道ニ於キマシテモ、山紫水明ノ地ヲ選ンデ其中ニ加ヘル必要ヲ認メマシテ、其地方ノ景色ノ絶佳デアル所カラ、雄大デアアル所カラ、此必要ヲ感ジテ本案ヲ提出致シタノデアリマス、次ニ室蘭港灣設備速成ニ關スル建議案、是ハ既ニ工事著手中デアリマスルガ、本港灣ハ石炭並ニ木材ノ輸出港トシテ最モ重要ナル位置ニ居ルノデアリマス、隨テ其設備ノ完成ヲ見ルト見ナイトハ、産業發展、北海道拓殖ノ上ニ重大ナル關係ヲ

持チマスカラ、此設備ヲ速成シテ貫ハナケレバナラナイ、斯様ナル目的ヲ以テ本案ヲ提出シタノ
デアリマス、願クバ御賛成アラシムコトヲ切望致シマス

次テ兩案ハ阿部武智雄君外八名提出北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(六五)外十二件委員ニ併
セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ孰レモ報告ヲ經ルニ至ラザリキ

一九一 朝鮮ニ於ケル水利事業資金充實ニ關スル建議案

朝鮮ニ於ケル水利事業資金ハ現状ノ儘ニテハ不足ヲ告ケ事業ノ發達ヲ阻害スルコト尠カラズ政
府ハ速ニ之カ充實ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月五日松山常次郎君外一名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(松山常
次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ノ説明ハ簡單デアリマスカラ、本席ニ於テ之ヲ爲スコトヲ御許可ヲ願ヒマス、朝鮮ニ於
ケル土地改良事業ガ我國食糧問題ノ解決上極メテ重要ナル意義ヲ有スルコトハ、同目的ノ爲ニ
特殊會社ヲ造ラウト云フ問題ガ二度此帝國議會ニ現レマシタカラシテ、既ニ諸君ハ十分此事ヲ
御了解ノ事ト思ヒマス、朝鮮ニ於キマシテ一方民間ニ水利組合ヲ起シテ、水利事業ヲ促進スルト
云ヒ、一方特殊會社ヲ造ラテ之ヲ進メヤウト云フコトニナツテ居リマスルガ、此特殊會社ガ今日其

成立ガ惱ンデ居リマスル時ニ特ニ、民間ノ水利事業ヲ促進スルコトガ必要デアルト考ヘルノデ
アリマス、然ルニ今日ノ現状ニ於キマシテハ、其水利事業資金ノ準備ニ於テ遺憾ノ點ガ多イノデ
アリマス、是レ本案ヲ提出スル所以デアリマス、詳細ノ理由ハ委員會ニ於テ之ヲ説明ヲ致シタイ
ト思ヒマス、御賛成アラシムコトヲ願ヒマス

次テ本案ハ阪上貞信君外四名提出植民政策確立ニ關スル建議案(三三)外十一件委員ニ併セ付託ス
ルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ノ本項(二八)參看)

一九二 電力政策實施ニ關スル建議案

我カ國産業ノ發展ヲ助長シ且國民生活上ノ必要ニ對應スル爲電力ノ供給ヲ豊富低廉ニシ且其ノ
配給ヲ圓滑ナラシムルハ目下ノ急務ナリ政府ハ電力統一ニ關スル國策ヲ速ニ且適切ニ實施ス
ヘシ

右建議ス

右ハ十二年三月五日秦豊助君外七名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯
明ヲ省略ス

次テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ決シ即日議長之ヲ指名ス委員ハ翌十五日委員會ヲ開キ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十六日議事日程ヲ變更シ本案及(二五二)案ノ二案ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長渡邊修君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

委員會ノ報告ヲ致シマス、先ヅ此電力政策實施ニ關スル建議案、我國ノ電氣事業ハ近來長足ノ進歩ヲ爲シマシテ、現ニ開業致シテ居リマスルモノガ百五十萬「キロ」、只今開業ヲ致シマセヌデモ、出願ヲシテ工事ニ著手致シテ居リマスモノモ殆ド百五十萬「キロ」アリマスノデ、今日約三百萬「キロ」ノ電氣ガ出來テ居ルノデアリマス、之ニ投下致シテ居リマスル所ノ資本モ約二十三億圓ニ達シテ居ルト云フ非常ナル發達ヲ爲シテ居ルノデアリマス、電氣事業ガ國民生活ニ交渉ヲ持チ、又産業ノ發達ノ上及交通ノ上即チ電化交通ノ上ニモ、此電氣事業ガ非常ナ關係ヲ有テ來テ居ルノデアリマスガ故ニ、成ベク此電力ヲ豊富低廉ニ致シマシテ、國民生活ノ上ニ幸福ヲ與ヘ、且ツ産業ヲ發達セシメ、又交通ノ上ニ之ヲ利用スルト云フコトガ必要デアルト云フノデアリマス、故ニ政府ハ電力ヲ豊富低廉ニスルト云フ政策ヲ速ニ實行シテ貫ヒタイト云フノガ此建議ノ趣意デアリマス、理想カラ申シマスレバ、水力電氣ノ如キハ之ヲ國營ト致シマスノガ宜カラウト云フ考デアリマスケレドモ、之ヲ國營ニ致シマスルニ付テハ種々ナル調査ヲ要シ研究ヲ要スルノデアリマス、又財政上ノ關係モアルノデアリマスカラ、遊ニ此國營ヲ實現スルト云フコトハ困難ナ事デアラウト思ヒマスケレドモ、此電氣事業ヲ統一一致シマシテ、成ベク經濟的ニ此電氣事業ヲ發達セシムルコトノ必要ガアルト思フノデアリマス、曩ニ原内閣ノ時代ニ於キマシテ、電氣ニ關スル國策ヲ樹立サレテ居ルト云フコトデアリマス、故ニ此電氣ニ關スル國策ヲ速ニ實施ス

ル必要ガアルト思フノデアリマス、政府ノ當局ノ意見ヲ聽キマスレバ、至極此建議案ニハ同感デアアル、又現内閣トシテモ原内閣時分ニ決定サレタル所ノ電氣ニ關スル方針ヲ踏襲シテ、之ヲ實行スル積リデアルト云フ答ヲ得タノデアリマス、仍テ委員會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ本建議案ハ可決致シマシタ、ソレカラ次ニ石炭及含油頁岩低溫乾餾事業振興ニ關スル建議案、是ハ政府ノ各關係者、農商務省海軍省、ソレカラ製鐵所長官、又參考ノ爲ニ農商務省ノ燃料研究所長等ノ出席ヲ求メマシテ、之ニ付テ意見ヲ聽イタノデアリマス、政府ニ於テモ、是ハ成ベク實行シタ、大ニ是カラ獎勵シタイト云フ意嚮デアリマシタ、デ委員會ニ於キマシテ少シ之ヲ修正致シマシタ、御手許ニ廻ッテ居ルデアリマセウガ、末文ニ於キマシテ「仍テ政府ハ速ニ」以下終ヒマデ削除致シマシテ「政府ハ大ニ該事業ヲ獎勵シ其ノ振興ヲ圖ルヘシ」斯ウ云フコトニ修正ヲ致シタノデアリマス、原案ハ餘リ具體的ニ出來テ居リマスルカラ、モット抽象的ニシテ總テノ裁量ヲ政府ニ委ス、斯ウ云フコトニシタ方ガ宜カラウト云フノデ、今申上ゲタル通りニ修正ヲ致シマシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段報告申上ゲマス

院議異議ナク(二五二)案ハ委員會報告ノ通修正議決ヲ爲シ本案ハ原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

一九三 官幣大社三島神社修繕並境內整理擴張速進ニ關スル建議案

官幣大社三島神社ノ修繕並境內整理擴張ノ爲政府ハ相當ノ經費ヲ增加繼續支出シ以テ其ノ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月五日岩崎勳君外一名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略セリ
次テ本案ハ中村清造君外二名提出官幣小社竈門神社境域擴張ニ關スル建議案(一一三)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(一一三)參看)

一九四 中京大學設置ニ關スル建議案

名古屋市又ハ其ノ附近ニ中京帝國大學ヲ設置シ現ニ同地ニ設置シアル愛知縣立愛知醫科大學並文部省直轄ノ名古屋高等工業及名古屋高等商業ノ諸學校ヲ併合統一シ之ヲ基礎トシテ更ニ法文學部及農學部ヲ併置シ綜合大學ト爲シ中京ヲ以テ中部日本文教ノ府タラシムルコトハ同地方ノ現勢ニ鑑ミ極メテ必要ナリト認ム故ニ政府ハ此ノ方針ニ基キ適當ノ措置ヲ執ラレムコトヲ望ム右建議ス

右ハ十二年三月六日三輪市太郎君外九名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(三輪市太郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ要スルニ名古屋市若クハ其附近ニ綜合大學ヲ設立致シタイト云フノ建議デゴザイマス、其理由ハ添附ノ理由書ニ審カデゴザイマスガ、尙ホ一言申上ゲテ置キタイトハ、現在ノ名古屋ガ經濟的ニ發展シ又文教上ニ於テモ著シキ向上ヲ認メラレルコトハ、政府或ハ各位ニ於テモ御了承ノコト、信ジマスガ、現在名古屋ニハ第八高等學校アリ、愛知縣立ノ醫科大學アリ、文部省直屬ノ高等工業學校アリ、又同ジク文部省直屬ノ高等商業學校モアリマシテ、是等ヲ統一シテ何レモ昇格ラシ、之ニ文科若クハ法科農科等ヲ併立致シ綜合大學トシタイト云フノデゴザイマシテ、殊ニ諸君ノ一層御注意ヲ願ヒタイトハ、醫科大學ノ如キハ只今縣立デアルト雖モ、是ハ古イ歴史ヲ持ッテ居リマシテ、殊ニ醫科大學トシテ必要缺クベカラザル解剖ニ要スル屍體等ノ關係モ、名古屋市ノ如キハ今日既設ノ大學ヨリモ優勝ナル便宜ナ土地デゴザイマシテ、又農科大學ノ如キモ濃尾ノ大平野ヲ控エマシテ、眞ニ適當ノ地デアル、又斯ル發展ヲ致シマシタノハ、言フ迄モナク交通機關等モ備リ或ハ物資モ廉價デゴザイマシテ、氣候ノ點ニ於テモ何レノ點カラ見マシテモ、適當ナル土地デアルト云フコトハ、何レモ決シテ異論ノ無イ所デアラウト思ヒマス、此問題ハ多年愛知縣民ハ勿論、近縣ノ人モ何レモ名古屋ニ綜合大學ノ設立スルコトヲ熱望致シテ居ルノデゴザイマシテ、是ガ幸ヒ政府ニ容レラレテ實現スル場合ニハ、名古屋市ハ固ヨリ、愛知縣ニ於テモ相當ノ負擔ヲ覺悟致シテ居ルノデゴザイマシテ、又是マデ大學ヲ卒業致シタ結果ハ兎角東京邊リヨリ地方ニ歸ルノヲ厭フ傾向モアリ、之ヲ防グ政策トシテ政府ニ於テモ文教ノ事ハ地方ニ分布シ宜シク配置ノ公平ヲ保タウト云フ方針ナルコトハ屢伺ッテ居ル議論デゴザイマス、トウシテモ東京ト云ヒ、若クハ京都ト云ヒ距離關係上地方ノ配置トシテモ、名古屋ヘ今日マデ此設立ヲ見ナイノハ、全クドウ云フモノデアッタカ不可解デス、矢張地方縣民ノ冷淡ノ爲デアッタカ、甚ダ私ハ遺憾ト致シテ居ル所デアリマス、トウカ是ハ一般的ノ御土産案ト違ヒマシテ、愛

知縣若シクハ其附近ノ各縣舉ツテ熱望致シテ居リマス問題デゴザイマスカラ、速ニ政府ニ於テモ採用セラレンコトヲ望ミマス

三輪市太郎君ハ右趣旨辯明中發言ノ一部ニ對シ左ノ如ク陳述シテ取消ヲ爲シタリ

實ハ只今私ガ説明ヲ致シタ中ニ失言ガアリマシタノデ、此際其一部ヲ取消シタイト思ヒマス、并ハ外ナラヌ御土産案ト違ッテ此案ハ云々ト申シマシタ、全ク此問題ハ私ハ衷心ヨリ希望致シテ居リ努力致シテ居ル問題デ熱誠ガ溢レテ、ツヒア、云フ失言ヲ致シマシタ、其御土産案云々ノ一句ダケヲ此場合取消シマス

次テ本案ハ有島秀雄君外三名提出東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(五四)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五四)參看)

一九五 化學工業獎勵ニ關スル建議案

我カ邦産業發展ノ基礎ハ須ラク化學工業ノ上ニ置カサルヘカラサルハ今更敍説スルヲ要セサル所ナリ然ルニ一旦歐州戰亂ノ爲ニ誘導セラレ急速ノ進歩ヲ遂ケタル我カ化學工業モ戰後外品ノ競争ニ堪ヘス氣息奄々タルノ悲境ニ陥リ殆ト其ノ跡ヲ絶タムトス今ニシテ救濟ノ途ヲ講スルニ非スムハ遂ニ國家百年ノ大計ヲ誤ルノ虞ナシトセス依テ政府ハ速ニ適當ナル之カ獎勵策ヲ立テ

ラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月六日鈴木錠藏君外三名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(鈴木錠藏君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ各派聯合ノ建議案デアリマス爲ニ、謹デ茲ニ暫時説明ヲ致シマス、我國ノ工業ヲ分チマシテ纖維工業、機械工業、化學工業等ト致シマスガ、將來我ガ産業ノ基礎ハ如何ニシテモ化學工業ノ上ニ置カナケレバナラヌト信ズルデアリマス、殊ニ軍事上ニ於テ吾々ハ化學工業ノ一日モ棄テ置クベカラザルコトヲ深ク信ズルデアリマス、歐洲戰争ノ爲ニ一時我國ニ勃興致シマシタ所ノ化學工業モ、戰後外來品ノ競争ニ堪ヘズシテ、今ヤ殆ド衰滅ニ歸スルヤウナ有様デアリマス、實ニ國家ノ爲ニ憂慮ニ堪ヘナイ次第デアリマス、故ニ吾々ハ關稅政策ニ依ッテ、或ハ「ライセンス」制度ニ依リマシテ、速ニ之ヲ保護獎勵スル必要ガアルト信ズルデアリマス、故ニ各派共通ノ意見ヲ纏メマシテ、此建議案ヲ提出致シマシタ次第デアリマスカラ、ドウカ滿場一致ノ御賛成ノ下ニ可決アラランコトヲ希望致シマス

次テ本案ハ近藤達兒君提出科學研究機關統一ニ關スル建議案(一四一)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十五日報告書ヲ議長ニ提出セリ(議事ノ經過及結果ハ本項(一五四)參看)

一九六 森四日市間鐵道敷設ニ關スル建議案

本鐵道ハ鐵道敷設法中別表豫定線肥後限府ヨリ豊後森ニ至ル線ヲ更ニ延長シテ豊前四日市ニ至ラシメムトスルモノニシテ九州橫斷線トシテ人文開發上甚々重要ナル路線ナリト認ム依テ政府ハ速ニ其ノ敷設ニ著手セラムレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年三月六日一宮房治郎君外三名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ陣軍吉君外一名提出宮崎縣中央山手線鐵道敷設ニ關スル建議案(一三七)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ二月十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(一三七)參看)

一九七 柏原梁瀬間鐵道敷設ニ關スル建議案

政府ハ宜シク柏原梁瀬間ノ鐵道ヲ敷設スヘシ

右建議ス

右ハ十二年三月六日松山常次郎君外六名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(松山常次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案ハ簡單デアリマスカラ、此席ニ於テ之ヲ説明スルコトヲ御許可願ヒトス、柏原梁瀬間鐵道敷設デアリマスガ、是ニ依ッテ山陰本線ニ於テ距離十哩、時間ハ一時間餘ヲ短縮スルコトガ出來マスルノミナラズ、物産豊富ナル同地方ノ開發上極メテ重要ナル線デアルト考ヘマスカラ、諸君ノ御協賛ヲ願ヒマス

次テ本案ハ矢野丑乙君外三名提出八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案(一八)外十三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ハ本項(三七)參看)

一九八 都市計畫促進ニ關スル建議案

都市ハ文化ノ中心ニシテ其ノ整備ハ國運ノ振興ニ關スルトコロ頗ル大ナリトス惟フニ近世ニ於ケル都市發展ノ趨勢ハ世界共通ノ一大現象ニシテ歐米ノ諸國皆法制ヲ定メ技術ヲ竭シテ都市改

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

二千三百三十五

善ノ對策ヲ講セサルハナシ翻テ我カ國都市ノ現狀ヲ見ルニ其ノ交通衛生保安經濟等ニ關スル施設殆ト混亂ノ狀ヲ呈シ都市生活ノ不快ト不安ハ到底一日モ之ヲ看過スルヲ許ササルトコロナリトス政府ハ曩ニ都市計畫ノ基準タル都市計畫法及市街地建築物法ノ二大法律ヲ制定セラレ都市改善ノ方針ヲ示サルルトコロアリシモ同法施行以來之カ實行ハ尙國民ノ輿望ニ副ハサルモノ多ク今ヤ大都市ニ在リテハ都市計畫事業遂行ノ資源ニ窮シ其ノ他ノ中小都市ニ至リテハ同法施行ノ希望切ナルニ拘ラス政府ハ未タ之カ指定ヲ爲サス法制完備シテ實行之ニ伴ハサルノ憾頗ル大ナリ政府ハ宜シク世界ノ趨勢ニ照シ我カ國ノ現狀ニ顧ミ最重要ナル文化事業ノ一タル都市計畫ノ促進ト普及トヲ計ラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月六日山口義一君外六名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(山口義一君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デアリマスカラ此席カラ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ昨年モ當議會ニ於キマシテ大多數ノ御賛成ヲ得テ通過致シテ居ル所ノ建議案デアリマス、即チ政府ハ先年都市計畫法ヲ制定致シマシテ六大都市ニ對シテハ既ニ之ヲ實施致シテ居ルノデアリマスガ、其他ノ三十有餘ノ中小都市ニ對シマシテハ、之ヲマダ實施致シテ居ラヌノデアリマス、故ニ其法律ヲ是等ノ中小都市ニ對シ

マシテ、速ニ實施ヲシテサウシテ、其都市計畫ノ促進ト普及トヲ圖ラレタイト云フノガ其要旨デアリマス、詳細ハ委員會ニ於テ説明ヲ致シマス、ドウカ御賛成アランコトヲ願ヒマス

次テ本案ハ濱田國松君外八名提出市制中改正法律案(三七)外六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(九九)參看)

一九九 中湧別網走間鐵道速成ニ關スル建議案

北海道名寄線中湧別ヨリ分岐シ常呂ヲ經テ網走ニ至ル鐵道ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月六日小池仁郎君外六名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(小池仁郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

中湧別網走間鐵道速成ニ關スル建議案モ、先ニ日程第三十五乃至第三十九ノ時ニ申上ゲマシタ如ク、北海道ノ拓殖ノ上ニ於キマシテ、其開拓ヲ促進シタイト云フ趣意ヲ以チマシテ本建議案ヲ提出シタノデアリマス、此鐵道ガ出來マスレバ北海道ノ北沿岸線ガ漸次完成スルノデアリマシテ、其通過スル所ノ各沿線ニ多大ナル開拓ノ效果ヲ及ボスコトヲ信ジマス故ニ提出シタノデアリマス、願ハクバ御賛成アランコトヲ希望致シマス

次テ本案ハ阿部武智雄君外八名提出北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(六五)外十四件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラザリキ

二〇〇 水力電氣國有ニ關スル建議案

文化ノ開發ト産業ノ振興ニ資スル爲政府ハ速ニ水力電氣國有ヲ斷行セラレムコトヲ望ム
右建議ス

右ハ十二年二月七日林田龜太郎君外四名之ヲ提出ス 三月十四日本案ヲ院議ニ付シ 提出者(鈴木久次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

此問題ハ極メテ重大ナル問題デアリマスケレドモ、併シナガラ説明ハ極ク簡單デ諸君ノ御了解ヲ得ルコトガ出來ルト信ズルノデアリマス、況ヤ御手許ニ配付シテアリマスル理由書ニ其大要ヲ盡シテアルモノデアリマスカラ、極メテ簡單ニ此席ヨリ申上ゲルコトニ致シマス、國家産業ノ發展ト國民生活ノ安定トハ、國策ノ最モ重要ナルモノデアリマシテ、爲政家ノ深甚ナル注意ヲ拂ハナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、而シテ此重要ナル國策ヲ遂行致シマスル所ノ、根本基礎トナルベキ方策、若クハ考察ハ多クアリマセウケレドモ、吾々ハ此電力此水力電氣ヲ適當ニ利用スルト云フコトガ、國策ノ遂行上極メテ緊要ノ事デアルト信ズルノデアリマス、我國ノ地勢ハ今更申ス迄モゴザイマセヌガ、總面積ノ八割以上ハ山岳デアツテ、耕地ハ僅ニ一割四五分ニ止ツテ居ルノデアリマス、常ニ此議場ニ於テモ食糧問題等ノ出ルコトハ、洵ニ餘儀ナイ所ノ次第デアリ

マス、併ナガラ幸カ不幸カ此地勢ハ水力電氣ノ上カラ見マスト、極メテ豊富ナルモノデアルト云フ譯デアリマシテ、之ヲ世界各國ノ上カラ見マシテモ、我國ノ水力電氣ノ豊富ナルコトハ、世界ニ於テモ殆ド四五位ヲ占メテ居ル所ノモノデアリマシテ、此利用ガ十分ニ參リマスレバ、我が國策ヲ遂行スル上ニ於テモ極メテ有利ナルコト、信ズルノデアリマス、併ナガラ今日ノ狀態ハ如何デアリマスルカト申シマスレバ、逶信省ノ調査ニ依リマスト、大正十年マデニ許可ヲ受ケタ所ノ數ハ、二千三百餘箇所デアツテ、馬力ハ殆ド四百八十萬馬力ヲ算シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此中ニ於キマシテ現ニ事業ヲ開始致シテ居リマスル所ノ數ハ七百餘デアツテ、馬力ノ數ハ百四五十萬ヨリ外ナイノデアリマス、即チ全體ノ許可ヲ受ケテアル數ノ半分、若クハ三分ノ一ニ足ラヌ所ノ數ニナツテ居リマス、之ヲ此現狀ノ儘ニ放任致シテ置キマシテ、所謂個々ノ民間ノ經營ニ委ネテ放任シテ置キマスト云フコトハ、是ハ國家産業ノ發展上カラ見マシテモ、國民生活ノ安定ノ上カラ見マシテモ、決シテ此儘ニ放任シテ行クコトヲ許サヌ所ノ狀態デアルト信ズルノデアリマス、是ニ於テ吾々ハ此水力電氣ノ事業ヲ國家ニ統一一致シマシテ、國營トシテ其未ダ開發ニ著手セザル所ノ水力ノ企業ヲ致シ、電力ヲ豊富ニ致シテ、一ハ以テ低廉ナル所ノ電力ヲ一般ニ供給ヲ致シ、サウシテ此産業ノ大發展ヲ致シ、一ハ以テ國民生活ノ安定ヲ圖ラントスルコトガ、本案提出ノ要旨デゴザイマス、政府ハ曩ニ鐵道電化ノ政策ヲ樹テラレマシテ、東京ヲ中心ト致シマシテ、此東海方面、日本ノ幹線デアアル所ノ東海方面ニモ此電化ノ政策ヲ樹テラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ今日ノ狀態デアリマスト云フト、此實行ハ甚ダ困難ヲ感ズルヤウニ思フノデアリマス、既ニ先月先々月等ニ於テハ、東京ニ於キマシテモ、此電力ノ現在ノ供給デスラ甚ダ不足ヲ感ジテ、或ハ市内電車ノ運轉ニモ支障ヲ來スト云フヤウナル風説サヘ起ツタノデアリマス、斯ウ云フ電力ノ不足ナル場合ニ於キマシテ、鐵道電化ノ政策ヲ實行スルト云フコトハ、甚ダ難イ事デアアルカト信ズルノデアリマス、斯様ナル場合デゴザイマスカラ、今日デハ電力モ非常ニ高イ、供給モ不十分デアアル、産業ノ發展上是ハ一日モ忽ニスルコトハ出來ナイト確信スル所ノ者デアリマス、ドウカ委シイコトハ又委員會等ニ於テモ御相談ヲ申上ゲルコトニ致シマシテ、此案ハ

滿場一致ノ御賛成ヲ偏ニ希望スル次第デアリマス

次テ本案ハ奏豊助君外七名提出電力政策實施ニ關スル建議案(一九二)委員ニ併セ付託スルニ決ス
委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

二〇一 興部濱頓別間鐵道速成ニ關スル建議案

名寄線興部驛ヨリ分岐シ雄武、幌内、乙忠部、枝幸ノ各地ヲ經テ宗谷線濱頓別ニ至ル鐵道ヲ速成

セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月七日小池仁郎君外六名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(小池仁郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

當席ヨリ簡單ニ説明ヲ致シマス、本建議案ハ曩ニ説明致シマシタ北海道北沿岸線ノ一部分デアリマス、是ガ完成致シマスレバ北沿岸ハ全部完成スル譯デアリマス、而シテ此鐵道ニ關係スル地方ハ、北見國枝幸郡及狩別郡ノ一部デアリマシテ、海岸線約二十五里デアリマス、是ハ最モ開拓ノ遅レタ處ニ屬シテ居リマス、故ニ本鐵道ノ敷設ニ依ッテ、此遅レタル開拓ヲ促進シタイト云フ
斯様ナ趣意ヲ以テ提出致シマシタ、願ハクバ御賛成ヲ希望致シマス

次テ本案ハ阿部武智雄君外八名提出北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(六五)外十五件委員ニ併

セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

二〇二 琵琶湖ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案

琵琶湖ヲ中心トスル國立公園ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月七日吉村鉄之助君外一名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ日野辰次君外三名提出霧島山國立公園設置ニ關スル建議案(九)外十二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ
(議事ノ經過及結果ハ本項(九)參看)

二〇三 北海道拓殖促進ノ爲鐵道速成ニ關スル建議案

北海道拓殖促進ノ爲鐵道敷設法第一條ニ定メタル別表中第二百二十八號以下(大正十二年度新計畫ヲ除ク)ノ各線ニ對シ速ニ計畫年度ヲ定メ且其ノ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月八日一柳仲次郎君外六名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(一柳仲次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

只今御上程ニナリマシタ北海道拓殖促進ノ爲鐵道速成ノ建議案デゴザイマスルガ、彼ノ北海道ノ拓殖ヲ促進スルト云フコトハ、即チ鐵道ノ速成ニ在ルノデアリマス、是ハ喋々ト申上ゲルマデモゴザイマセヌ、大體諸君ノ御手許ニ配付サレマシタ理由書ニ盡シテ居リマス、尙ホ委員會ニ於テ詳細ヲ述ベルコトニ致シマス、諸君ノ御賛成ヲ願フ次第デゴザイマス

次テ本案ハ阿部武智雄君外八名提出北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(六五)外十六件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

二〇四 函根山ニ航空氣象觀測所設置ニ關スル建議案

航空事業ノ發達益急ヲ要スルハ論ヲ俟タサルトコロ願ルニ我カ國航空事業ノ實際ハ列國ノ現狀ニ比シ未タ甚タ幼稚ナル國防上交通上誠ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ而シテ其ノ發達遲々タル原因ヲ探究スルハ幾多ノ障礙アルヘシト雖危險豫防ニ對スル設備ノ不充分モ又主要ノ一因タルヲ疑ハス現ニ航空路ニ山嶽重疊トシテ横ハリ氣流ノ急變ヲ現出スルカ爲ニ遭難セルモノ多クアルニ

鑑ミ是等ノ航空路ニハ氣流觀測ノ設備ヲ施シ以テ危險ヲ未然ニ豫防シ航空ノ安全ヲ期スルコトモ其ノ發達ヲ計ル一方法タルヘシト信ス即チ關東關西ノ航空路ヲ遮キル函根ノ山上ニ地ヲ相シ氣流觀測所ヲ設備スルハ航空事業ノ發達ニ資スルコト尠カラズ依テ政府ハ速ニ之カ設備ヲ爲サムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月八日森恪君之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ近藤達兒君提出科學研究機關統一ニ關スル建議案(一四一)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ
三月二十三日本案及(一八四)、(一八五)、(二一九)案ノ四案ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長小坂順造君ハ委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

簡單デアリマスカラ當席カラ發言ノ御許ヲ願ヒマス、函根山ニ航空氣象觀測所設置ニ關スル建議案外三件トモ、頗ル重要ナル案件トシテ委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、即チ政府當局モ熱心ニ賛成ノ旨ヲ言明セラレマシタ、染料工業保護ニ關シテハ、其趣旨ニ於テハ農商務省當局トシテハ賛意ヲ表シ、又其内容ニ付テモ大藏當局モ賛意ヲ表シマシタ、委員會ハ滿場一致ヲ以

テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス
院議異議ナク各原案ノ通可決シ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

二〇五 長野縣南安曇郡ニ特用作物試驗場設置ニ關スル建議案

山葵ハ古來本邦各地ニ於テ栽培セラレ其ノ産額ノ大輕視スヘカラサルモノアリ其ノ需要年々増加スルノミナラス特ニ近時該植物カ歐米人ノ嗜好ニ投シ漸次海外ニ輸出セラルルニ至リ其ノ栽培逐年増加ノ傾向アルハ寔ニ喜フヘキ現象ナリトス然レトモ其ノ栽培及利用ニ關シテハ未タ何等ノ組織的研究ヲ爲ス者ナキカ爲農家ニテハ從來ノ經驗ヲ基礎トシテ栽培スルニ止マリ斯業ノ進歩改善殆ト見ルヘキモノナキハ痛嘆ニ堪ヘス長野縣南北安曇郡ハ其ノ地質頗ル山葵ノ栽培ニ適シ現下當業者約四百名年産額百萬圓ヲ算シ斯業ノ將來ニ關シ最有望ナル地ナリトス依テ政府ハ此ノ適地ニ該特用作物ノ試驗場ヲ設置シ其ノ栽培及製造ニ關スル組織的試驗研究ヲ爲シ當業者ヲ指導シテ以テ斯業ノ改良發達ニ資スヘシ
右建議ス

右ハ十二年三月八日春日俊文君外五名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(春日俊文

君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デゴザイマスカラ當席カラ御許ヲ願ヒマス、問題ハ極メテ簡單デアリマス、即チ山葵ヲ栽培スル試驗場ヲ長野縣南安曇郡即チ日本「アルプス」ノ東南部ニ置キタイト云フノ建議案デアリマス、御承知ノ如ク、山葵ノ需要ハ近來極メテ多クナツテ參リマシテ、常ニ不足ヲ告ゲテ居ル次第デアリマス、隨テ價モ高ウゴザイマス、殊ニ海外ニマデ今日デハ輸出サレル狀況デアリマスルガ、此栽培ノ仕方ハ極ク簡單ノ如クニシテ實ハムツカシイノデアリマス、山葵ハ礫石ノ土地ニ栽培スルコトガ極メテ適當デアリマシテ、現ニ天城若ハ此問題ノ場所ニナツテ居リマスル南安曇郡等カラ産スルモノガ極ク優秀ナ品物ニナツテ居リマスガ、其他ノ土地ニ於テモ全國到ル處何處デモ出來ルノデアリマス、是ハ礫石ノ土地ニシテ、上水ノ通ラヌ下水ノ通ル處ニハ極ク適スルノデアリマスガ、下水ノ通ル處ニハマダ多ク栽培サレテ居リマセヌ、上水ノ通ル處ハドウカト云ヘバ、此作物ハ極メテ粘土ヲ嫌フノデアリマスカラ、雨が一遍降ッテモ其爲ニ折角出來上リマシタモノガイケナクナツテシマフ、是ハ一年デ出來上ルモノデハナクシテ、五年七年ヲ要スルモノデアリマスカラ、特殊ノ栽培ノ仕方ヲシナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、之ヲ地方ノ農事試驗場ニ託スルト云フコトハ第一經費ノ點デ許サヌ、第二ニハ全國的ノモノデアリマスカラ、一地方ノ府縣農事試驗場ガ之ヲスルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、隨テ之ヲ國家ノ費用即チ國庫ノ支辨ニシテ此試驗場ヲ置キタイト云フノガ此建議案ノ趣旨デアリマス尙ホ詳細ノコトハ委員ニ於テ御求ガアレバ説明ヲ致シマス

次テ本案ハ近藤達見君提出科學研究機關統一ニ關スル建議案(一四一)外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末表題ヲ「特用作物試驗場設置ニ關スル建議」ニ改メ修正スヘキモノト決シ二月二十三日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

(小字及——ハ委員會修正)

第二章 議事 第四節 議案 第二款 議案ノ討議 第五項 上奏案及建議案

長野縣南安曇郡ニ特用作物試驗場設置ニ關スル建議

山葵ノ如キハ古來本邦各地ニ於テ栽培セラレ其ノ産額ノ大輕視スヘカラサルモノアリ其ノ需要年々増スルノミナラス特ニ近時該植物カ歐米人ノ嗜好ニ投シ漸次海外ニ輸出セラルルニ至リ其ノ栽培逐年増加ノ傾向アルハ寔ニ喜フヘキ現象ナリトス然レトモ其ノ栽培及利用ニ關シテハ未タ何等ノ組織的研究ヲ爲ス者ナキカ爲農家ニテハ從來ノ經驗ヲ基礎トシテ栽培スルニ止マリ斯業ノ進歩改善殆ト見ルヘキモノナキハ痛嘆ニ堪ヘス長野縣南北安曇郡ノ如キハ其ノ地質頗ル山葵ノ栽培ニ適シ現下當業者約四百名年産額百萬圓ヲ算シ斯業ノ將來ニ關シ最有望ナル地ナリトス依テ政府ハ此〇等ノ適地ニ該特用作物ノ試驗場ヲ設置シ其ノ栽培及製造ニ關スル組織的試驗研究ヲ爲シ當業者ヲ指導シテ以テ斯業ノ改良發達ニ資スヘシ

右建議ス

(議事ノ經過及結果ハ本項(一四一)參看)

二〇六 伏木港擴築ニ關スル建議案

政府ハ速ニ富山縣伏木港ノ擴築ニ關スル案ヲ立テ之カ實現ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

二〇七 常願寺川改修速成ニ關スル建議案

政府ハ速ニ案ヲ立テ富山縣常願寺川改修ヲ大正十三年度ヨリ實施セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右兩案ハ孰レモ十二年三月八日上桮安太郎君外六名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ第一案ハ大島實太郎君外二名提出舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方善後ニ關スル建議案(六)外十件委員ニ、第二案ハ本多貞次郎君外五名提出利根運河國有ニ關スル建議案(六二)外五件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末各原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日(第一案)、三月二十一日(第二案)報告書ヲ議長ニ提出セリ

(第一案(二〇六)ニ對スル議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

(第二案(二〇七)ニ對スル議事ノ經過及結果ハ本項(六二)參看)

二〇八 議院制度調査委員會設置ニ關スル建議案

時勢ノ進運ニ伴ヒ我カ國立憲政治ノ運用ヲ一層圓滑ナラシムルノ緊要ナルニ鑑ミ議院ニ關スル諸般ノ法令慣行ノ改廢ヲ要スルモノニ就テ調査審議セシムル爲議院制度調査委員會ヲ設置スヘシ

右建議ス

右ハ十二年三月八日山口義一君外七名之ヲ提出ス三月二十六日本案ヲ院議ニ付シ提出者(山口義一君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

議院制度調査委員會設置ニ關スル建議案ニ付キマシテ、極ク簡單ニ說明ヲ致シマス、只今ノ議院制度ハ官僚萬能ノ時代ニ於キマシテ、官尊民卑ノ思想ノ強イ時ニ於キマシテ作ラレタル所ノ制度デアリマス、故ニ政府ノ力ハ出來ルダケ大キク、議會ノ權能ハ出來ルダケ小サイヤウニ仕組マレテ作ラレテ居ルノデアリマス、然ルニソレヨリ三十年ノ歲月ヲ經ッテ居リマス今日ニ於キマシテハ、世間ノ事情ガ一變致シテ居リマスカラシテ、此議會ノ制度ハ今日ノ此實際ノ實情ニ適合シナイト云フコトハ一見シテ明カデアリマス、故ニ今日ニ於キマシテハ憲政ノ名ハアッテ其實之ニ伴ハナイト云フ形デアリマス、故ニ是等ノ制度ニ對シテ根本的ニ改革ヲ加ヘ、サウシテ眞ニ國民ノ負託ニ副ヒタイ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ此議會制度ヲ調査スル所ノ委員會ヲ、殊ニ貴衆兩院議員及政府ノ代表者ヨリ成ル所ノ大委員會ヲ設ケタイト云フノガ、此建議案ノ趣旨デアリマス、如何ナル點ニ付テ改良ヲ加フベキカト云フ點ニ付テハ、調査委員會ノ出來タル上ニ於テ之ヲ研究審議スベキ問題デアリマスルガ、提案者ト致シマシテ極ク簡單ニ一二ノ點ニ付テ申上ゲタイ

ト思ヒマス、議會ノ力ヲ付ケルト云フコトガ其主眼デゴザイマスカラシテ、此點ニ付キマシテ一言申上ゲマスガ、議會ノ權能ト云フモノハ議會ノ開會中ニ發揮サレルノデゴザイマスカラ、議會ノ會期ガ長ケレバ長イ程此議會ノ力ガ強イ譯デアル、現在ノ日本ノヤウニ一年ニ三箇月、ソレモ二箇月ヨリ議會ガ開ケテ居ナイト云フヤウナ状態ニ於キマシテハ、議會ノ權能ハ小ナラザルヲ得ナイ、行政ノ監督モ實際ニ於テ行フコトガ出來ナイ、豫算ノ審議モ十分ニスルコトガ出來ナイ例ハ豫算ニ付テ申シマスルト云フト、議會ノ開會中ニ於キマシテハ、假令百圓ノ金モ十分ニ審議ヲ致スノデゴザイマスケレドモ、議會ガ開ケテ居ル所ノ會期ガ短イモノデアリマスカラシテ、跡ノ十箇月ノ間ニ於キマシテハ、政府ハ責任支出ノ制度ニ依ッテ何百萬圓ノ金デモ出シテ行ク、之ハ必シモ政府ガ惡イノデハゴザイマセヌガ、議會ノ會期ガ短イカラ已ムヲ得ナイ、斯ノ如ク國民ヲ代表スル所ノ租稅ヲ負擔スル所ノ國民ヲ代表スル所ノ此議會ノ協賛ヲ經ズシテ、責任サヘ持テバ政府ハ幾ラデモ金ヲ出スコトガ出來ルト云フコトハ、是ハ制度ノ上ノ大ナル缺陷デアラウト思フノデアリマス、其他ノ點ニ於キマシテモ、會期ヲ延長シナケレバナラヌト云フコトハ色ミゴザイマスケレドモ、ソレハ申上ゲマセヌケレドモ、ソレハ申上ゲマセヌ其他貴族院ノ組織、貴族院ト衆議院ト對等平等ノ權限ヲ持ッテ居ル、而シテ其組織ハ何等國民的ニ背景ヲ持ッテ居ナイ此貴族院ノ權限ヲ改革スルト云フコトハ、是ハ憲法上ノ問題デアリマスカラシテ私ハ申上ゲナイ、併ナガラ其組織ヲ根本的ニハ行カナクテモ、大改革ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ憲法ノ範圍内ニ於テ出來ルコトデアル、故ニ此貴族院ノ組織ニ大ナル改革ヲ加ヘテ、サウシテ之ニ國民的ノ色彩ヲモウ一段ト持タセタイト斯ウ云フ風ナ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ、私ハ此建議案ヲ提出致シタノデゴザイマスルガ要スルニ、普通選舉ヲ明日カラ實行致シマシテモ、此議會制度ヲ根本的ニ改革シナケレバ、國民ノ意思ハ十分ニ政治ノ上ニ於テ現レテ來ナイ、即チ國民ノ意思ハ議會ヲ通シテ國ノ政治ノ上ニ現レテ來ルノデアルカラシテ、肝腎ノ此議會ノ制度ノ不完全デアリマスルナラバ、幾ラ普通選舉ヲ實行致シマシテモ、是ハ決シテ國民ノ意思ガ徹底的ニ發表出來ルモノデナイ、故ニ私ハ國民ニ對シテ單ニ形式的ニ普通選舉ヲ行ッテ選

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案

右建議ス

右ハ十二年三月八日松本君平君外五名之ヲ提出ス三月十五日日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ荒川五郎君外四名提出入學難緩和ニ關スル建議案(五二)外二件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ着手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラザリキ

二一一 三角港海陸連絡速成ニ關スル建議案

三角港ハ明治二十年富岡縣令時代三十萬圓ノ巨費ヲ投シテ修築セラレ當時九州ニ於ケル有數ノ港灣ナリシカ九州鐵道三角線開通ニ際シ其ノ終點ヲ三角本港ヨリ約一哩ヲ隔ツル際崎ニ止メタル爲折角巨費ヲ投シテ設備ヲ完成セル三角本港ト鐵道線路トハ一小丘ヲ隔テテ船車ノ聯絡中斷セラレ爲ニ本港ニ出入スル貨物ハ際崎迄舢舨積取ノ手數ヲ要シ其ノ間少カラサル失費ヲ來シツツアリ故ニ此ノ不便利ヲ除去シ三角港ヲシテ西九州ニ於ケル中央貿易港トシテノ眞價ヲ發揮セシムル爲際崎ヨリ三角港ニ至ル貨物引込線ヲ延長シ速ニ海陸連絡ノ設備ヲ完成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月八日上塚司君外五名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ大島實太郎君外二名提出舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方善後ニ關スル建議案(六)外十一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

二一二 養老國立公園設置ニ關スル建議案

岐阜縣養老郡所在ノ養老瀑布ハ元正聖武兩帝ノ行幸在ラセラレ孝子感應ノ瑞祥ニ依リ養老ト曰元ノ聖詔ヲ下サレタル靈地ニシテ飛流直下十數丈實ニ壯觀ヲ極ム殊ニ其ノ附近ニハ關ケ原古戰場大垣城長良川鶉飼等名勝舊蹟舉テ數フヘカラス政府ハ宜シク此ノ附近一帶ヲ包容スル國立公園ヲ設置シ一大樂天地タラシムルト同時ニ國民思想善導ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月八日大道寺慶男君外二名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(木村作次郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

此席ヨリ説明致シマス、養老公園ハ既ニ養老ノ瀑布ニ依ッテ其名ヲ天下ニ擅ニシテ居リマスガ、殊ニ畏クモ元正帝ノ御代ニ於カセラレテハ孝子感應ノ瑞祥ニ依リ、地中ヨリ芳醇ナル酒ガ出タト云フ理由デ養老ト御改元ニナッタト云フ由緒アル公園デアリマス、嘗テハ郡ニ於テ經營シツ、アリマシタガ、今ハ縣ノ經營ニ移ッタデアリマスガ、更ニ此養老公園ヲ中心トシテ、右ニハ徳川三百年ノ礎ヲ築キタル關ヶ原ノ大古戰場ヲ有シ、左ニハ彼ノ有名ナル長良川ノ鵜飼ヲ有シテ居リマスルガ故ニ、速ニ之ヲ國立公園ニサレタイト云フ趣意デアリマス

次テ本案ハ日野辰次君外三名提出霧島山國立公園設置ニ關スル建議案(九)外十四件委員ニ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十六日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(九)參看)

二二三 煙草專賣法中改正ニ關スル建議案

葉煙草ノ品位鑑定ハ專ラ肉眼鑑定ニ依ル爲鑑定者ノ眼識、鑑定場所ノ適否、天候ノ晴曇等外部ノ影響ニ依リ誤差ヲ生スル場合尠シトセサルモ耕作者ハ煩雜ナル再鑑定ノ手續ヲ履行スルノ外一言ノ意見ヲ陳述スルヲ得ス隨テ評價ノ公平ヲ期スル能ハサルノ嫌アリ又葉煙草ノ賠償價額ハ往々其ノ生産費ヲ償フニ足ラスシテ耕作者ノ損失ヲ招ク場合尠シトセス是レ蓋複雜ナル耕作行為ト錯雜セル農家經濟ノ真相ヲ窮ムル能ハスシテ獨斷專行ノ結果ニ外ナラス故ニ葉煙草賠償價額ヲ體現スル標本葉煙草ノ査定ニ審査員ヲ參與セシメ價額ノ公正ヲ期スル爲(一)葉煙草ノ鑑定ニハ煙草耕作者ノ選舉シタル代表者ヲ立會セシメ(二)標本葉煙草ノ査定ニハ政府ノ命シタル官吏ト耕作者ノ選舉シタル審査員トヲ以テ之ヲ決スルノ條項ヲ加フコトニ改正セラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月八日樋渡次右衛門君外三名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(樋渡次右衛門君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デアリマスカラ、當席ヨリ發言ノ御許ヲ願ヒマス、本案ハ昨年四十五議會ニ於キマシテ既ニ皆様ノ御協賛ヲ經テ居ル問題デアリマス、本案ノ趣旨ハ葉煙草賠償價額ヲ定ムル基準トナルベキ所ノ標本葉煙草ノ査定ト、葉煙草ノ鑑定トハ、所謂陪審法ニ依ッテ其價額ノ公正ヲ期シタイト云フノデアリマス、委細ハ委員會ニ於テ盡シタイト思ヒマスカラ、皆サンノ御協賛ヲ願ヒマス次テ本案ハ高田耘平君提出煙草專賣法中改正法律案(四一)外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員會ハ審査ニ著手シタルモ報告ヲ經ルニ至ラザリキ

二一四 醫育充實ニ關スル建議案

醫育ノ充實ハ研究材料ノ豊富ナルヲ要シ特ニ醫學萬般ノ知識ノ基礎ヲ爲スモノハ解剖ニ在ルヲ以テ解剖材料ノ多少ハ醫育ノ向上進歩ニ至大ノ關係ヲ有スル歟々ヲ要セサルナリ近年大學昇格校舍ノ増築ニ依リ外觀ノ備ハレルコト昔日ノ比ニ非スト雖學生ノ増加ニ伴フ研究材料ノ不足著シク特ニ解剖材料ニ供スヘキ屍體ノ不足ハ外觀ノ整備ニ逆行スルノ事實アリ各學校當事者ハ數年來凡ユル手段ヲ盡シ材料ノ收集ニカムルモ到底所期ノ一部ヲモ充タスニ足ラス又其ノ費用尠カラスシテ小額ノ豫算ヲ以テ支フヘキニ非ス爲ニ醫育ノ基礎ヲ爲ス解剖教育ハ著シク退歩ヲ示シツツアリ此ノ狀勢ニ放任セハ本邦醫育ノ缺陷甚シキヲ致シ國民保健ノ上ニ由々シキ影響ヲ及ボスニ至ラム政府ハ是等ノ實際ニ鑑ミ適當ナル方策ニ依リ速ニ醫育完備ノ實ヲ舉ケラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月八日中原德太郎君外十一名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者(中原德太郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

極ク簡單ニ 醫學ノ教育ノ充實ヲ圖リマスル上ニ於キマシテ、是ガ研究材料ガ不十分デア

ト云フコトハ、極テ遺憾ナ事デゴザイマス、殊ニ其醫學ノ基礎トナリマスル所ノ解剖材料ガ、近時極テ缺乏ヲ告ゲテ居ルノデゴザイマス、是ハ學校ノ昇格デアリマスルトカ、或ハ又醫育機關ガ増設サレマシタ結果ト致シマシテ、學生ノ數モ増シテ參リマスルシ、隨テ其材料トナリマスル所ノ屍體解剖ニ供シマスル材料ガ極テ少イコトニナッタ次第デゴザイマス、是ガ充實ヲ圖リマスル爲ニハ、現在ノ法律規定デハドウシテモ是レ以上ニ之ヲ充實サスコトガ困難デアルノデゴザイマス、現ニ各帝國大學或ハ各醫學校等ニ於キマシテモ、大正七年カラ大正九年マデ三年ヲ較ベテ見マスルト、漸次解剖材料ノ數ヲ増シテ居リマス、先刻三輪市太郎君ノ御話ニナリマシタ、愛知醫科大學、如キモノデアリマシテモ、是ハ屍體解剖ノ數ガ非常ニ多イト云フ御話ガアリマシタガ、現ニ大正七年ニ於キマシテハ學生ガ八十八ニ對シマシテ愛知醫科大學ハ七十名デアリマス、大正九年ニハ四十二名ニ下ツテ居リマス、斯ノ如キ割合デアリマシテ、解剖材料ノ多イト言ハレル學校ニ於キマシテモ、斯ノ如ク漸次其數ヲ減ジテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、此事ニ向ッテハ、ドウカ然ルベク法律ノ改正ヲ致シマシテ、十分ナル材料ヲ供給スルヤウニ政府ニ提案ヲ希望スル次第デアリマスカラ、滿場ノ諸君ニ於カセラレマシテモドウカ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス

次テ本案ハ河上哲太君外五名提出藥劑師法制定ニ關スル建議案(一一五)委員ニ併セ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十一日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(一一五)參看)

二一五 熊本縣牛深港修築ニ關スル建議案

熊本縣牛深港ハ地勢上長崎港ト鹿兒島灣トヲ左右ニ控ヘ琉球列島ヨリ近クハ甕島附近迄廣大ナ

ル漁場ヲ有シ年産額數百萬圓ニ達シ筑紫海ト不知火海トニ往來スル船舶ハ殆ト全部本港ニ避難スル關係上自他漁船ノ出入頻繁ニ漁港ト避難港トヲ併用スル良港ニシテ附近ニハ本港ノ外適當ナル良港灣ナキコトハ一般ノ認識スル所ナリ而シテ人口一萬二千ヲ算シ鄰接村魚貫久玉兩村ヲ加フレハ二萬以上ヲ數フル商業地ナルニ拘ラス漁港トシテノ設備甚タ不完全ニシテ貨客ノ出入不便尠カラス故ニ政府ハ速ニ同港ヲ漁港ニ指定シテ修築ノ案ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月九日池田泰親君外二名之ヲ提出ス三月十四日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ大島實太郎君外二名提出舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方善後ニ關スル建議案(六)外十二件委員ニ併セテ付託スルニ決ス委員ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(五)參看)

二一六 都制調査會設置ニ關スル建議案

政府ハ都制調査會ヲ設置シ朝野ノ衆智ヲ集メテ適切ノ制度實施ニ資シ來期議會迄ニ具體案提出ノ運ニ至ラムコトヲ望ム

右建議ス

右ハ十二年三月九日砂田重政君之ヲ提出ス三月十五日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

簡單デアリマスカラ此席カラ申上ゲマス、此提案ノ趣旨ハ、政府ハ都制調査會ヲ設置シ朝野ノ衆智ヲ集メテ適切ノ制度實施ニ資シ、來期議會迄ニ具體案提出ノ運ニ至ランコトヲ望ム、此趣旨デアリマス、本年ノ議會ニ東京市ヲ始メ大阪市、京都市等六大都市ヨリ都制ニ關スル多數ノ法律案ガ提案サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ其内容ハ必シモ同一デハナイ、殊ニ東京市ノ都制案ノ如キハ、他ノ郡部ノ方々ヨリ非常ナル反對ノ聲ガアルト云フコトヲ耳ニスルノデアリマス、併ナガラ文化ノ發展ニ伴ヒマシテ現在ノ市制ノ下ニ於テ此大都市ヲ將來此儘持續シテ行クコトノ許スベカラザルコトハ言フヲ俟タナイコトデアリマスカラ、六大都市ニ對スル都制ヲ制定スベク、十分ノ調査ヲ爲スベキ茲ニ機關ヲ造リ、其調査會ノ機關ニ依ッテ、速ニ調査ヲ爲シテ、來ルベキ即チ大正十三年ノ議會ニ、政府ニ其提案ヲ要求スルト云フ趣旨ニ於テ、此建議案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、御審議ノ上御賛成ヲ希望シテ已マナイ者デアリマス

近藤達兒君ハ質疑ヲ爲シ塚本政府委員之ニ應答ス

近藤達兒君ノ質疑

第二章 議事

第四節 議案

第二款

議案ノ討議

第五項

上奏案及建議案

簡單デアリマスカラ此席カラ申上ゲマス、只今砂田君ノ提案ニ對シマシテハ、私共モ同意ヲ致ス者デアリマスガ、此特別市制ノ執行ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシモ致々調査ハ、致シテ居ラ
ル、ヤウナ様子デアリマス、然ルニ昨年東京市ノ特別市制ニ對シテハ、内務省ノ内部ニ於テ拵ヘ
ラレタ所ノ都制案ナル法律ノ成案ヲモ公表サレテ居ルノデアリマス、又一昨年ノ議會ニ於キマ
シテハ、政府ヨリ成案ナルモノヲ提出セラレテ、特別市制ノ第一歩トシテ之ヲ執行スル考デア
ト云フヤウナ御意思モ漏ラサレテ居ルノデアリマス、其後此區制案ハ昨年ノ議會ニモ本年
ノ議會ニモ提出セラレズ、又特別市制ノ問題ニ對シマシテモ政府ヨリハ何等御提案ガナイノデ
アリマルガ、只今砂田君ノ御話ノ如ク、本年ハ各都市ヨリ特別市制ノ促進ニ對シマシテ、法律案
ヲ提出致シテ居ルノデアリマス、殊ニ東京市ノ如キハ此問題ニ付キマシテハ、三十年來當局ニ
向ッテ促進ヲ希望致シテ居ルノデアリマス、然ルニ當局ハ何故ニ今年ノ議會ニ於テ提案ヲ爲サレ
ナイノデアルカ、又無論此事ニ付キマシテハ東京市ニ於キマシテ問題ニナツテ居ル所ノ地域ノ問
題等モ、關聯致シテ居ル結果ト考ヘラレルノデアリマス、然ラバ此際此建議案ノ如キ調査會ヲ設
クルト云フコトハ、最モ機宜ニ適シタルモノト考ヘルノデアリマス、政府ハ果シテ此案ニ同
意ヲシテ直ニ此調査會ヲ設クル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

塚本政府委員ノ應答

只今ノ御質問ノ終リニ臨ンデ出マシタヤウナコトデ、或ハ是カラ御答スルコトガ當ラ得ナイカ
モ知レマセヌ、若シサウ云フコトデアリマシタナラバ、御迷惑デスケレドモ更ニ御尋ヲ願ヒタウ
ゴザイマス、只今ノ御尋ハ都制若クハ特別市制ニ關スル調査會ヲ設クル意思アリヤ否ヤト云フ
コト、承リマシテゴザイマス、政府ニ於キマシテハ市ニ關スル一般制度ノ市制ノ外ニ、或ル
市ニ關スル特別制度ニ付テ十分ナル調査ヲ致シタイト存ジマシテ、之ニ要スル經費ヲ追加豫算
トシテ要求致シタイト云フ希望ヲ以テ、目下調査中テゴザイマス

近藤達兒君ノ質疑

只今デ大體ノ御意思ハ承致シマシタガ、此度ノ議會ニ御提出ニナルコトノ運ニ至リマセウカド
ウカ、其邊ヲ明確ニ御尋致シタイノデアリマス

塚本政府委員ノ應答

御答致シマス、其積リデ調査致シテ居リマス、何レ極ク最近ニ何レカニ決定ニナラウト存ジマ
ス

次テ本案ハ濱田國松君外八名提出市制中改正法律案(三七)外八件委員ニ併セ付託スルニ決ス委員
ハ審査ノ末原案ヲ可決スヘキモノト決シ三月二十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(議事ノ經過及結果ハ本項(九九)參看)

二二七 關東州ノ裁判制度ニ關スル建議案

政府ハ速ニ關東州ノ裁判ヲ三審制ト爲スヘシ

右建議ス

右ハ十二年三月九日齋藤鷲太郎君外一名之ヲ提出ス三月十五日本案ヲ院議ニ付シ提出者ハ其ノ趣
旨辯明ヲ省略ス

次テ本案ハ阪上貞信君外四名提出植民政政策確立ニ關スル建議案(三三)外十二件委員ニ付託スルニ

第二章 議事

第四節 議案

第二款 議案ノ討議

第五項 上奏案及建議案